

ISSN 0386-5304

No. 28 Dec. 2010

Bulletin of
The Hiroshima Botanical Garden

Published by

The Hiroshima Botanical Garden
(Municipal)
Kurashige, Saeki-ku, Hiroshima
Japan

CONTENTS

Sera, T., Tsubota, H., Matsui, K., Hamada, N. & Yoshino, Y. : Supplement to the vascular plant flora confirmed for Hiroshima Prefecture, SW Japan	1-74
--	------

目 次

世羅徹哉・坪田博美・松井健一・浜田展也・吉野由紀夫：広島県植物誌補遺	1-74
--	------

広島県植物誌補遺 *

世羅徹哉¹⁾・坪田博美²⁾・松井健一³⁾・浜田展也⁴⁾・吉野由紀夫⁵⁾

Supplement to the vascular plant flora confirmed for Hiroshima Prefecture, SW Japan*

Tetsuya Sera ¹⁾, Hiromi Tsubota ²⁾, Kenichi Matsui ³⁾, Nobuya Hamada ⁴⁾ & Yukio Yoshino ⁵⁾

はじめに

広島県の植物相をまとめた文献としては、広島県植物誌（広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会（編）1997）がある。これには、植物目録の他に、広島県の植物相の概観と植生、広島県における植物研究史、県内の天然記念物や自然公園、維管束植物に関する文献目録が掲載されている。植物目録では、種子植物、シダ植物、コケ植物、地衣植物、淡水藻類の分類群ごとに、それまで県内で記録された種が挙げられている。これらのうち種子植物とシダ植物は、原則として証拠標本を引用し、2,206種の種子植物（亜種、変種は1種とし、品種は重要なもの以外は除く）と、301種のシダ植物を採録しており、広島県における維管束植物相のほぼ全容が明らかにされたといえる。

しかし、広島県植物誌（以下本編と呼ぶ）の刊行後13年を経過し、県内の植物に関する調査が多数行われた結果、新しい知見が蓄積された。このような状況で広島県の植物相をより正確に把握するためには、県内に生育する植物をまとめて収録することが必要なため、広島県植物誌の補遺を作成することとした。

補遺版の作成は、次の要領でおこなった。

1. 対象は、種子植物及びシダ植物とした。
2. 収録した種の分類学的な取り扱い、学名、環境省コード番号の付加は、原則として本編に従った。
3. 広島県植物誌補遺版維管束植物目録には、主に本編刊行後に行われた調査結果、公表された文献、提供された情報をもとに、本編に収録されていない種（亜種、変種、品種、自然交雑種を含む）及び本編で未確認種とされた種の自生状況を調査し、標本と文献を引用して採録した。この際、本編ではあえて取り上げなかった品種や変種についても、正確な標本を引用できる場合は採録した。
- また、文献上の記録のみで標本を引用できなかった種は、本編同様に未確認種として別に記載した。
4. 本編では標本が1～2点しか引用されていない種で、新たに別の生育地が確認されたものを希産種リストとして列記した。
5. 本編と補遺版に採録された種をまとめて広島県植物誌和名索引を付した。

なお、引用文献等の資料は、著者の一人、吉野が1997年以降独自に収集・作成した文献目録をもとにした。

1997年以降の調査・研究活動

広島県植物誌刊行後に行われた広島県内の植物相に関する調査・研究を抜粋すると次のものが挙げられる。
芸北町の種子植物調査（斉藤ほか 1997）、神之瀬峡とその周辺の調査（関・渡辺 1997、松村 1997）、高野町

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No.91

1) 広島市植物公園
2) 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所
3) 広島城北学園
4) 広島県立尾道東高等学校
5) 東和環境科学（株）

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden No. 28: 1-74, 2010.

の種子植物調査（渡辺ほか 1998）、蒲刈町の調査（中越・内藤 1998）、呉市植物誌の刊行（太刀掛 1999）、広島市の生物調査（広島市環境局環境企画課（編）2000）、細見谷の調査（原（編）2002）、黒瀬町の調査（下田 2003）、大崎上島の調査（太刀掛・久藤 2003）、東城町植物誌の刊行（広島県東城町植物誌編纂委員会（編）2004）、広島県レッドデータブックの見直し（広島県版レッドデータブック見直し検討会（編）2004）、湯来町の維管束植物調査（世羅ほか 2007）などが行われた。また、高木リスト（広島市植物公園（編）2004）は、故高木哲雄氏が広島高等師範学校、広島文理科大学在職中に研究していた広島県の植物相のリストで、被爆し、未完成のまま残されていた「広島県高等植物目録」と題した遺稿を上梓したものである。これには本編で取り上げられなかった種が多数記録されている。ただこの目録に使われた標本の一部は広島大学植物標本庫（HIROMY）に保管されているが、ほとんどは原爆により焼失したと思われる、現在では確認するすべがない。

広島県の植物を研究材料に用いた種生物学的な研究も行われつつある。代表的なものは、テングシデ（吉野 1998）、モロコシソウ（向井ほか 1999）、ホンシャクナゲ（Kameyama et al. 1999）、アキイトスゲ（清水 2003）、アラゲナツハゼ（平井ほか 2005）、サクラソウ（本城ほか 2006）、ミチノクフクジュソウ（池田ほか 2006）、シロシャクジョウ（向井ほか 2007）、アオモジ（久保ほか 2008）などである。今後より多くの種が研究対象になり、この分野の研究が広島県の植物相研究の新たなステップになることが期待される。

以上のほか、新産種や個々の種の新分布を記録した報告も多い。広島県版レッドデータブック見直し検討会は、広島県の絶滅危惧種の調査を行う過程で、広島県植物誌には採録されていない新産種を記録している。窪田正彦は、カラハナソウの再発見以来（窪田 1998）、広島県植物誌資料として比婆科学に断続的に報告している。真鍋節夫は自然観察指導員として自然観察会を開催し、県新産のコウツギやサンカヨウの新産地をホームページで最初に紹介した。また、文献上の報告はほとんどないが、精力的に調査を行い、広島県の植物相解明に貢献した個人も多い（協力者として後掲）。このように個人レベルの調査活動が多くなったのは、広島県植物誌の刊行によって県内の植物相に興味を持つ市民が増えたためと考えられるが、一方で科学的に確かな知識に基づいた観察会の機会が増えたことも要因の一つであろう。広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所と広島大学大学院理学研究科生物科学専攻植物生物学講座植物分類・生態学研究室内ヒコビア会が共催するヒコビア植物観察会は 2010 年 9 月に 500 回を迎えた。日本スゲの会会員の斉藤隆登が世話役を務めるスゲ植物の観察会は 5 回を数え、さらにタケ・ササやアザミの観察会を、それぞれの専門家を招いて実施している。戦前の高木哲雄らが行っていたものと同様の形で、現代では異例かも知れないが、より高度で正確な知識を得ることができる貴重な機会として参加者も増えている。

広島県の植物に関する文献調査は、吉野が「広島県の維管束植物に関する文献目録」（吉野 1996）の補遺と追加の形で継続して行い、2008 年末までに発表された文献として 3,143 点を挙げている（吉野 1999b, 2002a, b, 2004, 2006a, 2008, 2010）。

補遺版に収録した植物の概要

広島県植物誌補遺版の維管束植物目録には、新たに県内での自生を確認したものとして、シダ植物 5 種と、種子植物 218 種を採録した（種内分類群については便宜上種として数えた。以下同じ）。シダ植物 5 種のうち、アオハリガネワラビ、オオバシナミズニラ、ナチシダは本編に収録されていないもので、コウザキシダとハマハナヤスリは、本編で未確認種とされたものを標本で確認したものである。これらはすべて本来の自生と考えられた。種子植物 218 種のうち、アンペライ、ハクウンラン、ヒロハノハネガヤなど 171 種は本編に収録されていないもので、イブキヌカボ、ウスバアザミなど 35 種は本編で未確認種とされ、今回再確認したものである。残りの 12 種には、本編で取り上げられたが自生種とされなかったマンサクやナナカマドが含まれる。また、167 種は本来の自生と考えられるが、51 種は外来、逸出など人為的な分布と考えられるものであった。以上の結果と、本編に自生するとして取り上げられた種をまとめると、県内には種子植物が 2,465 種（本来の自生と考えられるもの 2,069 種、人為的な分布と思われるもの 396 種）とシダ植物 306 種が自生していることになる。しかし、依然として 121 種の種子植物と 16 種のシダ植物は未確認種とされており、今後も調査を継続する必要がある。

今回新たに追加されたヒナノシャクジョウとシロシャクジョウは、ともにヒナノシャクジョウ科の種である。

ヒナノシャクジョウ科は、広島県内ではこれまで全く知られていなかった分類群であり、南方系のシロシャクジョウの自生が確認されたことは興味深い。本種の発見の経緯については、向井ほか(2007)が紹介しているが、長年詳細な植物調査が行われてきた地域で全く新しい科が発見されたことは驚きに値する。ただ、これらは微小な腐生植物(菌従属栄養植物)で、発生時期も限られているためこれまで発見されなかったのであろう。このことは、同じく微小なホンゴウソウの新産地が相次いで発見されていることや、ハクウンランの発見についてもあてはまる。

一方、灌がい用のため池でムジナモを栽培している例が明らかになった(桑田 2006)。この栽培者は、他のため池でも外来のオオバナイトタヌキモ、ミミカキグサの2種、Xylis 属の1種、モウセンゴケ属の1種などを試験的に栽培したことを述べている。これらは、植え付け後数年経過した2008年でもすべての種が生存し、大部分は増殖しているようであった。以上の行為は、違法とは言えないまでも、放水などによって域外に逸出し、在来種に悪影響を及ぼす可能性が非常に大きいので、厳に慎むべきである。

本編では1または2ヶ所の産地しか知られていなかった種で、新たな産地が確認された種は177種あった。とくにハルトラノオとタチネコノメソウの2種の産地は本編では1産地しか記録されていなかったが今回新たに4産地が確認され、両種とも県内の比較的広範囲に分布していることが明らかになった。その他、これまで県の東部でしか記録されていなかったトウゴクサバノオ、カジカエデ、キガンビ、マネキグサ、メタカラコウ、トンボソウが県の西部にも自生しており、反対にキンセイランとヒメフタバランは県東部にも生育地があることが明らかになった。以上の他に植物分布上興味深い知見として、サンカヨウが県西部のブナ林域で発見され、本種の南限を更新したこと、南方系のシロシャクジョウ、タシロラン、ササバランと、北方系のオオカサモチ、エゾアオイスマレ、グレーンスゲなどの種が新たに広島県の自生植物として加わったことが挙げられる。

今回収録した種の中で、次の9種は、広島県産の植物を正基準標本として記載されたものである。タイシャクカラマツ、(*Thalictrum kubotae* Kadota)、ビンゴムグラ(*Galium pseudo-asprellum* Makino var. *bingoense* Murata et Ezuka)、アキノハイルリソウ(*Omphalodes akiensis* Kadota)、セトエゴマ(*Perilla setoyensis* G.Honda)、ゲイホクアザミ(*Cirsium akimontanum* Kadota)、タイシャクトウヒレン(*Saussurea kubotae* Kadota)、ゲイホクスゲ、(*Carex geihokuensis* K.Okamoto)、アキイトスゲ(*Carex kamagariensis* K.Okamoto)、セトウチコアオスゲ(*Carex leucochlora* Bunge var. *setouchiensis* K.Okamoto)。その他、オオハルトラノオ(*Bistorta tenuicaulis* (Bisset et S. Moore) Nakai var. *chionophila* Yonek. et H.Ohashi)、ミチノクフクジュソウ(*Adonis multiflora* Nishikawa et Koji Ito)、サイコククロヅル(*Tripterygium regelii* Sprague et Takeda var. *occidentale* Yamazaki)は、それぞれ県内産の植物に対して分類学的取り扱いの変更により新名が与えられたものである。

また、県内には分類学的な位置が不明な種があることが明らかになった。補遺版の目録中に掲載したシロカネカラマツとテリハナツノタムラソウ(いずれも仮称)は新分類群である可能性が高く、今後の調査研究が期待される。さらに、ネコノメソウ属やタツナミソウ属にも不明な植物が見出されている。これらは、新しい分類学的取扱いを検討しながら調査する必要がある。今後の改訂においては、できるだけ最新の知見に従った改訂を行う必要がある。

なお、いくつかの調査研究や個人の調査には証拠標本を伴わないものがある。報告の正確性を担保し以後の研究に寄与するという点で証拠標本を作製し適切に保管することが望まれる。しかし、広島県内で採集された標本は個人が保管しているほか、多くは広島大学大学院理学研究科および同附属宮島自然植物実験所、広島市植物公園、庄原市立比和自然科学博物館、広島県緑化センターなどに分散収蔵されている。このことによって県内産の植物に関する情報が集約されないため、正確な同定に必要な比較検討作業が困難なうえ、専門家の研究資料として利用されにくいなど、広島県の維管束植物研究の発展に障害を来していることが危惧される。このような状況を改め貴重な標本を活用するためには、博物館に相当する施設の、人的な整備が必要である。

摘 要

1. 広島県の植物相に関する新知見を明らかにする目的で、広島県に自生する維管束植物に関する文献、標本および自生地調査を行った。
2. 広島県植物誌に収録されていないシダ植物3種、種子植物171種が、広島県内に自生することを確認した。

3. 広島県植物誌では未確認種とされた 157 種のうち 37 種の自生を確認した。
4. 今回の調査により、広島県内には 306 種のシダ植物と 2,465 種の種子植物（内 396 種は人為的分布）が自生していることを認めた。

Summary

1. Since the 1997 publication "Flora of Hiroshima Prefecture, Japan", a significant number of new vascular plant records have been compiled for Hiroshima Prefecture, SW Japan.
2. Based on previous literature, herbarium specimens and our recent investigations, an additional 174 vascular plant taxa, including infraspecific taxa, are confirmed for Hiroshima Prefecture. These comprise three species of pteridophytes and 171 species of seed plants.
3. We verified the presence of 37 species of an unconfirmed 157 species in the original publication from localities in the prefecture. References to recent literature reporting on the various species are also given.
4. The species of vascular plants enumerated in the present investigation total 2,771: 306 species of pteridophytes and 2,465 species of seed plants; of which 396 species are non-native.

謝 辞

本調査を行うにあたり、岡山理科大学教授 星野卓二博士、神戸大学教授 角野康郎博士、熊本大学教授 副島顕子博士、国立科学博物館植物研究部研究主幹 門田裕一博士、福島大学准教授 黒沢高秀博士には、一部の標本を同定していただきました。独立行政法人農業環境技術研究所、広島県庄原市立比和科学博物館、千葉県松戸市の江塚昭典博士、愛知県小牧市の松本和夫博士には、貴重な資料を提供していただきました。広島大学名誉教授 関太郎博士からは本稿をまとめるにあたり貴重な助言をいただきました。自生地調査や標本調査及び文献調査には、別に記す多数の方々の協力を得ました。また、英文は Australian Antarctic Division 教授の Rodney D. Seppelt 博士に校閲していただいたものです。お名前を記して感謝の意を表します。

広島県植物誌補遺維管束植物目録

本目録の作成にあたり行った自生地調査や標本調査及び文献調査では、次の方々の協力を得た。

秋山晴曹、上村恭子、大竹邦暁、北本照子、木村菜南美、久保晴盛、桑田健吾、小池周司、近藤芳子、斉藤隆登、佐藤克則、実光紀之、下田路子、白川勝信、菅昭和、関太郎、高杉茂雄、武内一恵、富沢由美子、長谷信二、一橋賢三、平田絃一郎、平原友紀、外間栄信、松村雅文、真鍋節夫、三上幸三、向井誠二、山下容富子、和田秀次（敬称略、順不同）

凡 例

1. 本目録の表記は、広島県植物誌（1997）に従った。ただし、シダ植物と種子植物を一括して維管束植物目録とした。
2. 原則として、標本によって広島県内に生育が確認された種を掲載した。文献に記録があっても標本を引用していない種は、未確認種として末尾に記した。
3. 和名の後ろに、逸出、外来、絶滅危惧指定状況（環境省自然保護局野生生物課（編）2007 および広島県版レッドデータブック見直し検討会（編）2004）などを記載した。
4. 引用した文献のうち、著者名などが長いものは次により略称で記した。

略 称	著者、年号、タイトルなど
高木リスト	広島市植物公園（編）2005. 高木リスト 広島県産高等植物目録.
高野町の種子植物	渡辺泰邦・桑田健吾・桑田武子・浜田展也・西岡秀樹 1998. 広島県高野町の種子植物.
東城町植物誌	広島県東城町植物誌編纂委員会（編） 2004. 広島県東城町植物誌.

広島県植物誌	広島大学理学部附属宮島自然実験所・比婆科学教育振興会（編）1997. 広島県植物誌.
宮島の植物と自然 2007	広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所（坪田博美・向井誠二）（編）2007. 宮島の植物と自然（配布版）. 104 pp. 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所, 廿日市.
宮島の植物と自然 2009	広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所（坪田博美・向井誠二）（編）2009. 宮島の植物と自然. 160 pp. 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所, 廿日市.
湯来町の維管束植物	世羅徹哉・井上尚子・竹内一恵・富沢由美子・吉野由紀夫 2007. 湯来町の維管束植物.
よしわの植物ガイド	よしわまなびの森資料検討委員会植物部会（編）2001. よしわの植物ガイド.

5. 証拠標本には、公的機関に保管されている標本を優先し、1997年当時の行政区画ごとに1点を引用した。採集者名または保管場所名は下記の略号で表記し、著者ら以外が同定したものについては、同定者名を付記した。
6. 産地として表記した旧行政区画名と合併後の新しい市町村名との対照表を付した（付表）。

引用標本記号

公的機関の標本庫 hbg：広島市植物公園，HIRO-MY：広島大学植物標本庫（広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所），hmnh-p：比和自然科学博物館，hmn-t：比和自然科学博物館所蔵の東城町植物誌証拠標本，KYO：京都大学，MAK：東京都立大学，OKYA：岡山理科大学，TNS：国立科学博物館，ae：農業環境技術研究所所蔵の江塚昭典標本（広島県内の産地名は不詳） * スモールキャピタルで表した略号は、Herbarium Acronym である（<http://sciweb.nybg.org/science2/IndexHerbariorum.asp>）。

個人が所蔵するもの kk：桑田健吾，km：松井健一，kt：竹田孝雄，mk：窪田正彦，mm：松村雅文，mt：太刀掛優，nh：浜田展也，yy：吉野由紀夫

広島県植物誌補遺 維管束植物目録

LYCOPHYTA ヒカゲノカズラ門 GLOSSOPSIDA 有舌綱

Isoetaceae ミズニラ科

455 *Isoetes sinensis* T.C.Palmer var. *coreana* (Y.H.Chung et H.K.Choi) M.Takamiya, Mitsuo.Watana. et K.Ono オオバシナミズニラ（環境省 EN, 広島県 CR+EN）

Takamiya et al. (1997) によってミズニラ属の再検討が行われた結果、これまで県内でシナミズニラとされていた種は本種とされた。狭義のシナミズニラは広島県では確認されていない。

文献 Takamiya et al. 1997, 松村 1999

標本 西城町 (yy-17774), 三次市 (mm-03-0297; HIRO-MY 所蔵), 甲田町 (hbg-16116; 松村雅文 同定)

PTEROPHYTA シダ門
EUSPOLANGIOSIDA 真囊シダ綱

Ophioglossaceae ハナヤスリ科

790 *Ophioglossum thermale* Kom. ハマハナヤスリ

植物誌作成時に標本を確認できなかったため、未確認種とされた。近年、上村恭子や近藤芳子らの調査で自生が確認されている。

文献 土井 1983, 関ほか 1975

標本 広島市安佐北区 (HIRO-MY-33894), 大竹市 (HIRO-MY-33905)

Pteridaceae イノモトソウ科

2770 *Pteris wallichiana* J.Agardh ナチシダ (広島県 NT)

2001 年 8 月に広島市安佐北区安佐町の谷筋で松村雅文が発見し、県内で初めて報告した (松村 2001)。

文献 高木リスト, 松村 2001

標本 広島市安佐北区 (HIRO-MY-32016)

Aspreniaceae チャセンシダ科

3100 *Asplenium ritoense* Hayata コウザキシダ

豊島で 2009 年に生育が確認された (高杉 2010b)。生育個体数はごくわずかである。本種の自生については 1940 年代から記録があるが、標本が確認されていなかった。また、帝釈峡からも記録があるが、東城町植物誌では誤認の可能性があるとしている。

文献 越智 1948, 河毛 1974, 関ほか 1975, 土井 1983, 東城町植物誌, 高杉 2010b

標本 豊浜町 (hbg-17822)

Dryopteridaceae オシダ科

6040 *Thelypteris japonica* (Baker) Ching f. *viridescens* (Makino) H.Ito アオハリガネワラビ

ハリガネワラビの 1 品種で、従来細分していなかった。県内の分布については、十分に調べられていない。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (kt-1247)

SPERMATOPHYTA 種子植物門
ANGIOSPERMAE 被子植物亜門
DICOTYLEDONEAE 双子葉植物綱
CHORIPETALAE 離弁花亜綱

Fagaceae ブナ科

11870 *Quercus aliena* Blume var. *pellucida* Blume アオナラガシワ

葉の裏面の特徴によって明確に区別される変種であるが、本編では区別して取り上げなかった。

文献 土井 1983, 江塚・松本 1985, 高木リスト, 湯来町の維管束植物

〔標本〕 広島県 (ae-1342), 湯来町 (hbg-14234)

11922 Quercus xmajor Nakai オオバコナラ (植栽)

三原市にある中央森林公園で、ドングリの苗木による緑化が行われた時に植えられたものと考えられる。この時にミズナラも植栽されている。

〔文献〕 吉野 2006b

〔標本〕 本郷町 (yy-19066)

Moraceae クワ科

12610 Humulus lupulus L. var. cordifolius Maxim. ex Franch. et Sav. カラハナソウ

未確認種の扱いであったが江塚・松本が報告した標本の所在が明らかになった。また、窪田 (1998) によって県南部で確認されたほか、東城町でも再発見されている。

〔文献〕 河毛 1974, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 窪田 1998, 広島県植物ノート編集委員会 1999, 東城町植物誌, 高木リスト, 窪田・窪田 2007

〔標本〕 広島県 (ae-4672), 東城町 (hbg-15011), 八千代町 (mk-1010981)

12624 Morus alba L. マグワ (逸出)

養蚕のなごりで、民家近くに見られる。

〔文献〕 江塚・松本 1985, 東城町植物誌

〔標本〕 広島県 (ae-2358), 東城町 (hmn-t-0526)

Urticaceae イラクサ科

13124 Parietaria diffusa Mert. et W.D.J.Koch カベイラクサ (外来・逸出)

南ヨーロッパ原産。ハーブとして栽培されることもあり、日本では1987年に横浜で初めて採集された。県内の初見は2008年で、武内一恵が確認した。

〔標本〕 広島市南区 (hbg-16056; 植村修二 同定)

13250 Pilea kiotensis Ohwi ミヤコミズ (環境省 VU)

これまで県内の記録はなかったが、広島市、蒲刈町、福山市で相次いで発見された。広島市の自生地は狭く個体数も少ないが、蒲刈町では山中の谷沿いから海岸に近い耕作地にまで及び個体数も多い。

〔文献〕 高杉 2010a

〔標本〕 福山市 (hbg-18714), 広島市安佐北区 (hbg-17680), 蒲刈町 (hbg-17710)

Loranthaceae ヤドリギ科

13470 Hyphear tanakae (Franch. et Savat.) Hosok. ホザキヤドリギ

2004年に白川勝信が、本種がヤドリギに混じって生育しているのを確認した。広瀬 (1975) が道後山から報告しているが、標本がなかったため本編では取り上げていない。

〔文献〕 広瀬 1975, 白川 2009

〔標本〕 芸北町 (hbg-17598)

Polygonaceae タデ科

13701 Bistorta tenuicaulis (Bisset et S.Moore) Nakai var. chionophila Yonek. et H.Ohashi オオハルトラノオ

Yonekura & Ohashi (1998) が、根茎や根生葉の形態によりハルトラノオから分離した変種。富山以西の日本海側と広島県に分布するとし、広島県産の資料として井波 (1985) の図を引用している。現在、ハルトラノオは県西部だけでなく、県東部の福山市北部から東城町にかけての広い範囲で生育が確認されているので、県内の植物が全て本変種に分類されるかどうかは検討を要する。

文献 Yonekura & Ohashi 1998, 吉野 1999a

13890 Persicaria foliosa (H.Lindb.) Kitag. var. nikaii (Makino) H.Hara サイコクヌカボ (環境省 VU, 広島県 VU)

標本が確認されなかったため本編では取り上げられていないが、江塚・松本 (1985) が報告した標本の所在が明らかになった。また、東城町の干上がったため池で生育しているのを確認した。

文献 井波 1985, 江塚・松本 1985, 東城町植物誌, 高木リスト, 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004

標本 広島県 (ae-981), 東城町 (yy-17748)

14271 Persicaria capitata (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross ヒメツルソバ (逸出)

中国南部〜ヒマラヤ原産。明治中期に観賞用として導入されたものが逸出し、しばしば石垣やコンクリート壁などに生える。

文献 吉野ほか 2007, 一橋ほか 2009

標本 広島市東区 (km-11604), 広島市西区 (HIRO-MY-33245), 広島市佐伯区 (hbg-17184)

14360 Reynoutria sachalinensis (F.Schmidt) Nakai オオイタドリ (外来)

これまで県内では記録されていなかったが、戸河内町で 2006 年頃から生育が知られており、世羅町でも 2009 年に自生状態のものを確認した。2 生育地ともに道路工事を行った場所なので、のり面緑化工事に伴って移入されたものと考えられる。

標本 世羅町 (hbg-17650), 戸河内町 (hbg-17642)

14470 Rumex madaio Makino マダイオウ

江塚・松本 (1985) が報告した証拠標本は、農業環境技術研究所に保管されていることがわかった。一方、加計町の温井ダム建設に伴う調査でノダイオウとされた植物が本種であることが、井上・林 (2000) によって明らかにされた。温井ダム建設のために消滅した自生地は、保全のため移植されている。

文献 土井 1983, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 井上・林 2000, 東城町植物誌, 高木リスト

標本 広島県 (ae-1418)

Basellaceae ツルムラサキ科

14624 Boussingaultia cordifolia Ten. アカザカズラ (外来)

太刀掛優と久藤広志が 2000 年 11 月に大崎町で確認した。南アメリカ原産の外来植物で広島県では初めての記録であった。2008 年には広島市西区で、山下容富子が自生状態で生育しているのを確認した。

文献 太刀掛 2001, 太刀掛・久藤 2006, 吉野ほか 2007

標本 大崎町 (mt-21473), 広島市西区 (hbg-17597)

Caryophyllaceae ナデシコ科

14794 *Dianthus barbatus* L. アメリカナデシコ (逸出)

別名ビジョナデシコまたはヒゲナデシコ。ロシア南部原産種を交配した園芸品種で、観賞用に栽培されたものが逸出したと考えられる。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-0700)

14908 *Lychnis coronaria* (L.) Desr. スイセンノウ (逸出)

南ヨーロッパ原産の多年草だが、花壇装飾用に1年草として栽培されることが多い。乾燥に強く強健なため、以前から逸出していたと思われる。

文献 江塚・松本 1985, 東城町植物誌

標本 広島県 (ae-2437), 東城町 (hmn-t-0707)

Amaranthaceae ヒユ科

16010 *Amaranthus deflexus* L. ハイビユ (外来)

熱帯アメリカ原産の1年草。世界中に広がっており、日本には明治以降に帰化したとされるが県内で確認されたのは比較的最近である。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmnh-p-23161)

16060 *Amaranthus palmeri* S.Watson オオホナガアオゲイトウ (外来)

江塚・松本 (1985) が報告した標本の所在が明らかになったほか、三良坂町で生育が確認された。

文献 江塚・松本 1985, 桑田 2002, 吉野ほか 2007

標本 広島県 (ae-2758), 三良坂町 (HIRO-MY-32019)

Lauraceae クスノキ科

16560 *Lindera citriodora* (Siebold et Zucc.) Hemsl. アオモジ (逸出)

沿岸部と島嶼部に見られる。吉野ほか (2007) は栽培逸出とし、久保ほか (2008) は生育個体の性比や生育地の過去の植生などを調べた結果、本来の自生ではないと考えられるとしている。

文献 吉野ほか 2007, 久保ほか 2008

標本 黒瀬町 (yy-21654), 呉市 (HIRO-MY-23392)

16660 *Lindera umbellata* Thunb. var. *lancea* Momiy. ヒメクロモジ

本編では未確認種とされたが、江塚・松本 (1985) が記録した標本の所在が確認された。

文献 江塚・松本 1985, 広島県植物誌

標本 広島県 (ae-3850)

16802 *Neolitsea sericea* Koidz. f. *xanthocarpa* Okuyama キミノシロダモ

果実が熟して黄色くなるシロダモの品種で、希に自生する。湯来町で標本が採取されているほか、宮島では自生株が撮影されている (宮島の植物と自然 2007, 2009)。

文献 土井 1983, 湯来町の維管束植物, 宮島の植物と自然 2007, 2009

標本 広島市佐伯区 (hbg-12988)

Ranunculaceae キンポウゲ科

17240 *Aconitum pterocaula* Koidz. アズマレイジンソウ

県内には、レイジンソウ（吉和村）とアズマレイジンソウ（東城町）の記録がある。吉和村の植物について、門田裕一はフジレイジンソウ (*A. × fudjisanense* Nakai) の1型かも知れないが詳細な検討を要するとしている(窪田・藤井 2007)。門田は、東城町の植物を調査していないようであるが、花の形態的特徴は吉和村のものと類似しており、県内の種については今後研究が必要であると思われるので、ここではまとめてアズマレイジンソウとしておく。

〔文献〕 渡辺ほか 1998, よしわの植物ガイド（レイジンソウとして）、東城町植物誌、窪田・藤井 2007

〔標本〕 東城町 (hbg-15165), 吉和村 (hbg-15010)

17422 *Adonis multiflora* Nishikawa et Koji Ito ミチノクフクジュソウ（環境省 NT）

帝釈峡とその周辺部に生育するフクジュソウが本種である可能性が高いことは、改訂・広島県 RDB で指摘されていた。その後、Kaneko et al. (2005) もそのことを報告している。

〔文献〕 東城町植物誌、広島県版レッドデータブック見直し検討会（編）2004, Kaneko et al. 2005, 池田ほか 2006

〔標本〕 東城町 (hmn-t-0865)

18100 *Clematis williamsii* A.Gray シロバナハンショウヅル

関東地方南部から近畿地方南部にかけての太平洋岸と四国、九州に分布し、石灰岩地を好むとされる。広島県内では、2007年に初めて自生を確認した。

〔文献〕 世羅 2009

〔標本〕 瀬戸田町 (hbg-15173)

18650 *Thalictrum aquilegifolium* L. var. *intermedium* Nakai カラマツソウ

高木哲雄は戦前に美古登山（比婆山）で本種を記録している。また、土井（1983）も報告しているが、標本がないため未確認種扱いとした。近年、東城町や西城町で確認された。

〔文献〕 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト, 窪田・窪田 2005, 東城町植物誌

〔標本〕 東城町 (hmn-t-0976), 西城町 (hbg-15958)

18660 *Thalictrum aquilegifolium* L. var. *sibiricum* Regel et Tiling マンセンカラマツ

カラマツソウとの区別は微細だが、雌蕊の数とそう果の形で区別して記録する。

〔文献〕 窪田・窪田 2002, 2005

〔標本〕 三次市 (hbg-18705), 豊栄町 (yy-21028)

18690 *Thalictrum filamentosum* var. *tenurum* (H.Boissieu) Ohwi ミヤマカラマツ

土井（1983）が三段峡から、山下（1976）が帝釈峡から報告していたが、本編では未確認種とした。その後、高木哲雄が帝釈峡と広島市の福王寺や南原峡で記録していたことがわかったが、標本は確認されなかった。2006年に簡賀村で上村恭子が発見し、生育を確認することができた。

〔文献〕 河毛 1974, 土井 1983, 山下 1976, 広島県植物誌, 渡辺ほか 1998, 高木リスト

〔標本〕 簡賀村 (yy-19374)

18725 *Thalictrum kubotae* Kadota タイシャクカラマツ（環境省 EN）

従来から帝釈峡とその周辺部にはカラマツソウ属の不明な種があることがわかっており、東城町植物誌で浜田らは、今後検討が必要としながらもイワカラマツとして報告した。この植物を、Kadota（2005）が新種とし

て記載したものである。

文献 Kadota 2005, 窪田・窪田 2007, 2009

標本 帝釈峡 (TNS-748330; 正基準標本)

18790 *Thalictrum sekimotoanum* Honda イワカラマツ (環境省 VU)

県内には、アキカラマツに似ているが全草に腺毛が多く、独特の臭気があり、6月下旬頃から開花するカラマツソウ属植物が生育している。1生育地の中で、個体によっては崖から懸垂するものから路肩部分に直立するものまであることや、開花期に2～3か月の違いがあるなど、今後検討の必要な点もあるが、ここではイワカラマツとしておく。この型のものは、がく片がかなり遅くまで残る点でタイシャクカラマツと一致するが、開花期が遅く植物体が大いなど異なる点もある。本編でニオイカラマツとされた植物との関係も含め詳細に調査する必要がある。

文献 東城町植物誌

標本 三次市 (hbg-17608)

Thalictrum sp. シロカネカラマツ (仮称)

県内には、分類学的な取り扱いが不明と考えられるカラマツソウ属植物が存在している。小池周司が発見したこの植物は、がく片が開花中落下しないことや葯隔がわずかながら突出することなどでシキンカラマツに類似しているが、がく片の色や心皮の数などの形態が異なっている。分布域もシキンカラマツとはかなり隔たっていることから、新分類群の可能性が高い。ここでは、発見者の命名による和名で記録する。

標本 東城町 (hbg-17655)

Paeoniaceae ボタン科

20382 *Paeonia obovata* Maxim. var. *glabra* Makino ケナシベニバナヤマシャクヤク

本編では、軽微な差で区別される変種や品種は取り上げなかったことと、現在確認されている本変種の生育地が耕作跡地の植林地なので植栽された可能性があるということから掲載されなかった。しかし、この生育地にはスズムシバナなど比較的自生度の高い場所に自生する植物が多く見られ、また本変種も自生状態で生育している。

文献 井波 1988

標本 広島市安佐北区 (hbg-15396)

Droseraceae モウセンゴケ科

21210 *Aldrovanda vesiculosa* L. ムジナモ (環境省 CR) (移入)

2004年に三次市のため池で桑田健吾が生育を確認した。しかし、この生育地のムジナモは、地元の園芸業者が販売目的で増殖させるために移入したものであることが確認された。このため池にはオーストラリア原産のデンジソウも見られた。

文献 桑田 2006, 橋本 2006

標本 三次市 (yy-20813)

Papaveraceae ケシ科

21450 *Corydalis ophiocarpa* Hook.f. et Thomson ヤマキケマン

県内での自生記録はあったが、標本が確認されなかったため未確認種とした。高木哲雄が三段峡で戦前に採集した標本が2004年に発見され(高木-2186; HIRO-MY所蔵)、さらに現在生育している場所も確認された。

文献 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト, 高杉 2009

標本 戸河内町 (hbg-17584)

21480 *Corydalis racemosa* (Thunb.) Pers. ホザキケマン

本種は四国, 九州, 台湾, 中国に分布するとされるが, 2007 年 5 月に富沢由美子が呉市で発見した。中国地方では初めての記録となる。

標本 呉市 (hbg-14909)

21510 *Corydalis tashiroi* Makino シマキケマン

九州から琉球に分布するとされるが, 広島市の沿岸部でわずかに生育していることが, 数年前から知られていた。発生株数や生育個体の大きさなどは年によって異なっているようだが, ほぼ継続して同じ場所に見られる。県内では初めての記録である。

標本 広島市南区 (hbg-18682)

Capparaceae フウチョウソウ科

21605 *Cleome rutidosperma* DC. アフリカフウチョウソウ (外来)

熱帯アフリカ原産で, アジアやオーストラリアで野生化している。日本では 1999 年に神戸市で採集されたのが初見である。県内では, 2005 年 8 月に初めて生育を確認した。その後個体数の増減は見られないようである。

文献 世羅 2009

標本 広島市安芸区 (hbg-13532)

21612 *Gynandropsis gynandra* Briq. フウチョウソウ (逸出)

観賞用に栽培されたものの逸出と思われる。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-1172)

Brassicaceae アブラナ科

21870 *Cardamine arakiana* Koidz. オオマルバコンロンソウ (環境省 EN)

県東部の限られた谷筋に見られるが多くはない。本種はこれまでマルバコンロンソウと混同されていたと思われる。

標本 福山市 (yy-20406)

21880 *Cardamine dentipetala* Matsum. var. *dentipetala* オオケタネツケバナ

本編ではニシノオオタネツケバナ (var. *longifructa* (Ohwi) Hiyama) の別名とした。本変種に該当すると思われる標本を引用して掲載するが, 県内の本種については検討を要する。

文献 高木リスト

標本 戸河内町 (yy-19238)

21905 *Cardamine hirsuta* L. ミチタネツケバナ (外来)

耕作地周辺に見られる。近年になって生育が確認されたが, 県内では広く分布しているようである。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-1213), 神石町 (yy-18272), 福山市 (HIRO-MY-32088), 世羅町 (HIRO-MY-36099), 三原市

(HIRO-MY-32014), 向原町(HIRO-MY-33833), 加計町(HIRO-MY-32086), 筒賀村(hbg-14887), 湯来町(HIRO-MY-24605), 大野町(HIRO-MY-26609)

22216 *Erophila verna* (L.) Chevall. ヒメナズナ (外来)

地中海地方原産で、日本では北海道と本州に帰化している。2007年に山下容富子らが生育を確認した。県内では初めての報告である。

〔標本〕 佐伯町 (hbg-14840)

Hamamelidaceae マンサク科

22580 *Hamamelis japonica* Siebold et Zucc. マンサク

本編では、県内産のものはすべてアテツマンサクの範疇であろうとした。しかし、形態変異が大きく、がくが赤紫色のものはマンサクとする見解もある。現在これらについて、遺伝子レベルの研究が進行中である。

〔文献〕 土井 1983, 江塚・松本 1985, 高木リスト

〔標本〕 広島県 (ae-1219), 呉市 (HIRO-MY-35389; 関太郎 同定)

Crassulaceae ベンケイソウ科

22830 *Orostachys iwarenge* (Makino) Makino var. *boehmeri* (Makino) Hara コモチレンゲ (環境省 VU)

戸河内町の民家の石垣に自生状態で生育していることは、1990年代初めから知られていた。その後北広島町でも同様の環境に生育していることが分かった。植栽した記録などは確認されていないが、戦前にこれらの栽培ブームがあったので、栽培品が逸出した可能性が高い。

〔文献〕 井上ほか 2002

〔標本〕 戸河内町 (hbg-12219)

Saxifragaceae ユキノシタ科

23440 *Chrysosplenium echinus* Maxim. イワネコノメソウ

チシマネコノメソウによく似るが、葉の鋸歯の形態や、花時の根生葉の有無などで区別される。県西部のブナ林内を流れる谷川沿いや湧水があるような湿潤な環境に生育しているが希である。

〔文献〕 高杉 2009

〔標本〕 吉和村 (hbg-17579)

23470 *Chrysosplenium flagelliferum* F.Schmidt ツルネコノメソウ

本編や高野町の種子植物では未確認種扱いであった。江塚らが記録した山野や新市産の証拠標本の所在は確認されなかったが、高杉茂雄、小池周司によって2産地が確認された。

〔文献〕 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 高野町の種子植物, 高木リスト, 世羅 2009

〔標本〕 君田町 (hbg-17580), 戸河内町 (hbg-15625)

23520 *Chrysosplenium kamtschaticum* Fisch. チシマネコノメソウ

本編には掲載されなかったが、県内産の資料を用いて細胞遺伝学的な研究がなされていた (Funamoto & Tanaka 1989)。茎葉の状態によってミチノクネコノメソウ (var. *aomorense* (Franch.) Hara) を別変種にする場合があるが、明確には区別できないという見解もある (Wakabayashi 2001)。

〔文献〕 Funamoto & Tanaka 1989, 世羅 2009

〔標本〕 吉和村 (hbg-15713), 戸河内町 (hbg-17570; ミチノクネコノメソウ型)

23720 *Deutzia crenata* Siebold et Zucc. var. *nakaiana* (Engl.) Hara コウツギ

本種は比較的高地や石灰岩地を好み、紀伊半島以西、四国、九州に分布する。県内の自生記録としては、真鍋節夫が2006年にホームページで紹介したのが初見であるが、その後県西部の戸河内町の山中でも生育を確認した。

標本 東城町 (hbg-17672), 戸河内町 (hbg-18710)

Rosaceae バラ科**25550 *Potentilla centigrana* Maxim. ヒメヘビイチゴ**

これまでに山県郡大朝町や呉市野呂山、安芸郡熊野町などから報告があるが、いずれも標本が残されていない。キジムシロ属の他の種を誤同定していた可能性がある。本種は北方性の種であり中国地方では希である。2004年に県北の湿地で生育が確認された。本種の本州における分布の西限である。

文献 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト, 池田・吉野 2005, 世羅 2009

標本 芸北町 (yy-18200), 戸河内町 (hbg-15922)

26040 *Prunus jamasakura* Siebold ex Koidz. f. *pubescens* (Makino) Ohwi ウスゲヤマザクラ

本編ではヤマザクラの形態変異として取り上げなかったが、下記標本を引用して記録する。

文献 江塚・松本 1985, 土井 1983, 湯来町の維管束植物

標本 広島県 (ae-2212), 湯来町 (hbg-13390), 吉和村 (hbg-14745)

26940 *Rubus* × *ohmineanus* Koidz. オオミネキイチゴ (自然交雑種)

ハスノハイチゴとモミジイチゴ (広義) の自然交雑種と推定され、両種の混生地で希に見られる。別名マルヤマイチゴ (*R. maruyamae* Naruh.)。

文献 世羅 2009

標本 吉和村 (hbg-15059)

26960 *Rubus mesogaeus* Focke クロイチゴ

芸北地区、備北地区、帝釈や藤尾から報告があったが標本が確認されなかったため未確認種扱いであった。近年、西中国山地で自生を確認した。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト

標本 戸河内町 (hbg-17616), 吉和村 (hbg-17625)

27000 *Rubus microphyllus* L.f. var. *subcrataegifolius* (H.Lév. et Vaniot) Ohwi ミヤマニガイチゴ

河毛 (1974) が藤尾から報告していたが、標本が確認できなかったため本編では取り上げなかった。1999年に佐藤克則が県北東部で生育しているのを確認した。

文献 河毛 1974, 高木リスト

標本 西城町 (yy-17495)

27110 *Rubus oldhamii* Miq. サナギイチゴ

本州、四国、九州に分布する希な種で、中国地方では山口県と島根県から報告がある。県内では高木哲雄が三段峡で記録し、土井 (1983) もこれを引用している。標本が確認されていなかったが、今回生育を確認した。

文献 土井 1983, 高木リスト

標本 戸河内町 (hbg-17588)

27650 *Sorbus commixta* Hedl. var. *commixta* ナナカマド

葉裏などに褐色の毛が密生していない型を本種とした。また、県内からツシマナナカマド [*S. commixta* var. *wilfordii* (Koehne) Sugim.] が報告されている (江塚・松本 1985; ae-3942) が, Iketani & Ohashi (2001) は, この変種を区別していない。

文献 土井 1983, 東城町植物誌, 高木リスト, 渡辺ほか 1998

標本 芸北町 (HIRO-MY-25662), 戸河内町 (hbg-15452)

27912 *Spiraea cantoniensis* Lour. コデマリ (逸出)

中国中南部原産の落葉低木。観賞用に庭に植栽される。山地の集落跡などで野生化していることがある。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-1595)

28130 *Spiraea prunifolia* Siebold et Zucc. シジミバナ (逸出)

コデマリと同じ中国原産の観賞用樹。

文献 江塚・松本 1985, 東城町植物誌, 高木リスト

標本 広島県 (ae-696), 東城町 (hmn-t-1606)

Fabaceae マメ科

28925 *Indigofera bungeana* Walp. トウコマツナギ (外来)

道路法面緑化用に吹き付けられた種子によって移入されたと考えられる中国原産の植物。在来のコマツナギと同種とする見解もあるが高さ 3 m に達する。県内では芦田川のダム湖付近で 1999 年に採集された標本があるが, 本種と確認されたのは 2007 年である。

文献 太刀掛・久藤 2007

標本 甲山町 (yy-16948), 倉橋町 (mt-23746)

30090 *Vicia venosa* (Willd.) Maxim. var. *cuspidata* Maxim. f. *minor* (Nakai) Ohwi ヒメヨツバハギ

エビラフジとは小葉の先端の形で区別される。江塚・松本 (1985) が新市から報告しており, 標本は, *V. deflexa* Nakai var. *minor* Murata の学名を付し, 農業環境技術研究所に保管されている。

文献 江塚・松本 1985

標本 広島県 (ae-1421)

Oxalidaceae カタバミ科

30410 *Oxalis fontana* Bunge エゾタチカタバミ

本種は温帯域の林縁にはえるやや希な種。従って, 江塚・松本 (1985) が本種とし, 福山中心部や新市に普通と記録したものはオッタチカタバミ (*O. dillenii* Jacq.) の可能性がある。吉和村や湯来町に自生するものは, 自然度の高い山中の林縁に生えている。

文献 江塚・松本 1985, 湯来町の維管束植物

標本 広島県 (ae-1904), 吉和村 (yy-19443), 湯来町 (hbg-14174)

Geraniaceae フウロソウ科

30465 *Geranium dissectum* L. オトメフウロ (外来)

ヨーロッパ原産。日本では 1950 年に関東で初めて採集されている。県内では, 2009 年に確認された。

標本 三良坂町 (hbg-17581)

30550 *Geranium robertianum* L. ヒメフウロ

北半球に広く分布するが、国内の自生地は近畿と四国（剣山）の石灰岩地域に限られるとされる。土井（1983）は、東城町で記録しているが、本編では未確認種とした。2007年に東城町の道路沿いにある石灰岩の崖地で生育しているのが確認されたが、近くにはカエデ類を植栽した場所もあり、本来の自生かどうか不明である。

文献 土井 1983, 広島県植物誌

標本 東城町 (hbg-16035)

Euphorbiaceae トウダイグサ科**30990 *Euphorbia adenochlora* Morren et Dence. ノウルシ（環境省 NT）**

橋本ほか（1980）が福山で記録しているが標本がなかったため本編では未確認種としていた。2010年に菅昭和が三次市の江の川河川敷に生育しているのを発見した。本州最西端の産地と思われる。

文献 橋本ほか 1980

標本 三次市 (hbg-18683)

31130 *Euphorbia pilulifera* L. シマニシキソウ

日本の近畿以西、台湾、さらに熱帯地方に広く分布するとされる。岡山県では外来種として記録されているが、広島県内にはこれまで生育の記録はなかった。2008年に武内一恵が生育を確認した。

標本 内海町 (HIRO-MY-29301)

Polygaraceae ヒメハギ科**32180 *Polygala tatarinowii* Regel ヒナノキンチャク（環境省 EN）**

石灰岩地に生育する小形の1年草。県内の自生地は、倉敷市立自然史博物館の狩山俊悟が発見し、吉野らが調査を行った。広島県のRDB種に追加すべき種である。

文献 高木リスト, 吉野ほか 2004, 窪田・窪田 2008

標本 神石町 (yy-18169)

Aceraceae カエデ科**32640 *Acer mono* Maxim. var. *mayrii* (Schwer.) Koidz.ex Nemoto アカイトヤ**

広島県内では生育が知られていなかったが、備北地区のブナ帯に自生しているのが確認された。

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-1942)

32750 *Acer palmatum* Thunb. var. *amoenum* (Carrière.) Ohwi f. *palmatipartitum* (Koidz.) Sugim. フカギレオオモミジ

本編では、品種レベルの種内変異なので取り上げられなかったが、下記の標本を引用する。なお、Ogata (1999) は、*A. amoenum* Carrière. f. *palmatipartitum* (Koidz.) Ogata の学名を採用している。

文献 湯来町の維管束植物

標本 湯来町 (hbg-13327)

Aquifoliaceae モチノキ科**33590 *Ilex rugosa* F.Schmidt ツルツゲ**

松井が2003年に北広島町阿佐山の海拔930 m付近で生育を確認した。Horikawa (1972)によると近畿地方以北と四国に分布する匍匐性の低木である。

文献 松井 2004

標本 芸北町 (yy-18968; 武内一恵 採集)

Celastraceae ニシキギ科

33720 *Celastrus orbiculatus* Thunb. var. *papillosus* (Nakai ex Hara) Ohwi オニツルウメモドキ

寒冷地に生育するツル植物で、広島県では江塚・松本 (1985) や原 (2002) の報告がある。また、吉野も芸北町八幡で確認している。これまでツルウメモドキと区別されていなかったようで、今後県内ではブナ林域で確認される可能性が高い。

文献 江塚・松本 1985, 原 2002

標本 西城町 (km-10832), 芸北町 (yy-18235), 吉和村 (yy-18066)

34301 *Tripterygium regelii* Sprague et Takeda var. *occidentale* Yamazaki サイコククロヅル

山崎 (1993) が日本と朝鮮半島, 中国東北部のクロヅルを研究し, 本州西部, 四国, 九州, 朝鮮半島, 中国東北部に生育するクロヅルを新変種のサイコククロヅルとしたものである。

文献 山崎 1993, 吉野 1999a

Malvaceae アオイ科

35425 *Pavonia hastata* Cav. ヤノネボンテンカ (逸出)

南アメリカ原産。観賞用に導入されたが, 沿岸部の暖地では逸出し, 野生化しているところも見受けられる。

標本 倉橋町 (km-11393), 広島市佐伯区 (HIRO-MY-27480), 大野町 (HIRO-MY-25531)

Violaceae スミレ科

36414 *Viola sororia* Willd. 'Snow Princess' アメリカスミレサイシン 'スノープリンセス' (逸出)

アメリカ原産のアメリカスミレサイシンの白花園芸品種。在来のスミレサイシンと同様に根茎が肥厚する。花が大きく美しいのでしばしば栽培され, 郊外では野生化している場所もみられる。

文献 一橋ほか 2009

標本 広島市佐伯区 (hbg-17152)

36470 *Viola fauriana* W.Becker var. *rhizomata* (Nakai) E.Maek. et T.Hashim. ツルタチツボスミレ

ツボスミレもストロンを伸ばすので花がない時期は区別しにくい。そのためこれまで本種が存在が見過ごされていたものと思われる。

標本 西城町 (yy-18721)

36533 *Viola grypceras* A.Grey var. *ripensis* N.Yamada et Okamoto ケイリュウタチツボスミレ

山田ほか (1996) によって記載された新変種。溪流の増水時に冠水するような岩の上に生育する。上記論文には広島県の産地として福山市山野の小田川が示されている。その後、浜田らが庄原市東城町小奴可などから報告している (東城町植物誌)。

文献 山田ほか 1996, 東城町植物誌

標本 東城町 (nh-2920), 福山市 (yy-20410), 戸河内町 (km-11398)

36772 *Viola patrinii* Ging. var. *angustifolia* Regel ホソバシロスミレ (環境省 VU)

中国山地 (西中国山地を含む) にある, 海拔 1,000 m 前後の草原に生育しているが個体数は非常に少ない.

文献 土井 1983, 南 1995

標本 佐伯町 (山口県立博物館所蔵), 戸河内町 (hbg-18684)

36942 *Viola teshioensis* Miyabe et Tatew. エゾアオイスミレ

アオイスミレに似て毛が多く, マルバケスミレの別名がある. 葉先が鋭形で, 匍匐枝を普通は出さず, 冬期は完全に地上部が枯れるなどの点で異なる. 日本では, 本州中部の山地から北海道にかけて分布するとされていたが, 県北東部のブナ帯で生育が確認された (東城町植物誌).

文献 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-2282)

36990 *Viola variegata* Fisch. ゲンジスミレ

東城町植物誌にあるように, これまで数例の報告があるが証拠標本が確認されていなかった. 2009 年に近藤芳子が東城町で自生地を発見した.

文献 井波 1985, 東城町植物誌, 高木リスト

標本 東城町 (hbg-17569)

Onagraceae アカバナ科**38163 *Oenothera grandis* (Britton) Smyth** オオキレハマツヨイグサ (外来)

本種は, 花の大きさや色の違いによりコマツヨイグサと区別されている (別名オオバナコマツヨイグサ). 全国的に急速に分布を拡大しており, 県下では 2000 年に太刀掛優が呉市で採集している.

文献 太刀掛 2006

標本 呉市 (mt-20797)

38181 *Oenothera macrocarpa* Nutt. ミズーリマツヨイグサ (逸出)

東京周辺で逸出が報告されている. 県内では 2009 年に武内一恵が発見し, 植村修二の同定で本種と確認された.

標本 福山市 (hbg-17591; 植村修二 同定)

Araliaceae ウコギ科**38735 *Panax japonicus* C.A.Mey. var. *angustatus* Hara** ホソバチクセツニンジン

トチバニンジンの小葉が細く重鋸歯があることで区別される.

文献 伊藤 1986, 松井 1999

標本 広島市安佐北区 (km-9939)

38742 *Tetrapanax papyriferum* K.Koch カミヤツデ (逸出)

台湾・中国南西部原産の常緑または落葉低木. 関東以南で栽培されており, 野生化しているのが知られていた. 広島県では 1999 年に広島市似島で, また 2005 年に江田島で野生化しているのを確認した. その他, 広島市東区や廿日市市の沿岸部などでも自生状態の群生が認められている.

標本 沖美町 (yy-19114)

Apiaceae セリ科

38825 *Angelica cartilaginomarginata* (Makino ex Y.Yabe) Nakai var. *matsumurae* (H.Boissieu) Kitag. コウライヒメノダケ

ヒメノダケとは、小葉の形で区別できるとされるが、区別しない場合もある (Ohba 1999).

文献 窪田・窪田 2004b

標本 庄原市 (HIRO-MY-27514)

38910 *Angelica genuflexa* Nutt. オオバセンキュウ

江塚・松本 (1985) は湯来町に産するとしているが、標本は収蔵されていなかった (江塚 1994). 一方、東城町植物誌では標本を引用して記録されている. しかし、県内の本種については、ヒュウガセンキュウとの関係を含め今後十分な比較検討が必要と思われる.

文献 江塚・松本 1985, 東城町植物誌

標本 東城町 (yy-17750)

39190 *Bupleurum longiradiatum* Turcz. var. *elatus* (Koso-Polj.) Kitag. ホタルサイコ

広島県植物誌では取り上げなかったが、高木哲雄が戦前に福富町鷹巣山で記録していた (高木リスト). 近年、福富町に近い場所で生育が確認された. 調査した個体の中には、草丈が 1.8 m に達するものがあるが、この場合も小花柄は花期で 2 ~ 3 mm, 果期で 4 mm と短く、本種の範疇と考えられる.

文献 窪田・窪田 2001b, 高木リスト

標本 豊栄町 (hbg-15896)

39750 *Pleurospermum camtschaticum* Hoffm. オオカサモチ (広島県 VU)

本種はこれまで本州中部以北に産するとされていた種である. 県東北部で生育が確認されたことは、注目される.

文献 三上 2002, 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004, 東城町植物誌

標本 西城町 (nh-3424)

GAMOPETALAE 合弁花亜綱

Ericaceae ツツジ科

41730 *Rhododendron nudipes* Nakai ssp. *niphophilum* T.Yamaz. ユキグニミツバツツジ

Yamazaki (1996) によって秋田県以南の日本海側の山地に生育することが明らかになった. 県内では、佐藤克則らによって西城町で生育が確認され、さらに大万木山にも生育するようで、県北東部の脊梁部に生育すると思われる. ダイセンミツバツツジとの中間的なものもある.

標本 西城町 (yy-17634)

Primulaceae サクラソウ科

42730 *Anagallis arvensis* L. f. *coerulea* (Schreb.) Baumg. ルリハコベ

基本品種のアカバナルリハコベは、沿岸部に希に帰化しているとされる. 本品種が在来種かどうかは定説がないが、広島県の沿岸部に生育していることは確かである.

文献 土井 1983, 三上 2002, 高木リスト

Apocynaceae キョウチクトウ科

45220 *Trachelospermum jasminoides* (Lindl.) Lem. var. *pubescens* Makino ケテイカズラ

本編では土井 (1983) を引用し、未確認種としたが、江塚・松本 (1985) が福山市で記録した標本の所在が明らかになった。また、2002 年に関太郎が芦田川の中流部で生育を確認し、その後総領町、三次市、三原市などで確認されている。

文献 江塚・松本 1985, 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト

標本 広島県 (ae-1900), 総領町 (hbg-17666), 三次市 (HIRO-MY-32005), 福山市 (yy-17597), 三原市 (yy-18431)

45232 *Vinca major* L. ツルニチニチソウ (逸出)

南ヨーロッパ原産で、園芸植物としてもたらされ、現在では各地で野生化している。生育が旺盛なことに加え、花を觀賞するために意図的に残されていることもあるようで、在来種を脅かす存在になっている。吉野は 1978 年に東広島市八本松の人家付近で採集しているが本編では取り上げていない。

文献 江塚・松本 1985, 東城町植物誌, 湯来町の維管束植物, 一橋ほか 2009

標本 東城町 (hmn-t-2765), 東広島市 (yy-3611), 広島市佐伯区 (hbg-16991)

Asclepiadaceae ガガイモ科

45550 *Cynanchum nipponicum* Matsum. var. *rotundifolium* (Honda) Murata マルバカモメヅル

タチカモメヅルの変種で、茎は基部から蔓状になり、葉が丸みを帯びることで区別される。村田 (1981) は本州の産地として広島県を挙げ、土井 (1983) が広島市三滝で、窪田らは豊栄町と三次市で記録している。

文献 村田 1981, 土井 1983, 窪田・窪田 2001b, 2007

標本 東城町 (hbg-17709)

45565 *Cynanchum paniculatum* (Bunge) Kitag. var. *latifolia* (Makino) Hara ヒロハスズサイコ

スズサイコの葉は、幅が 15 mm 以下の線状楕円形で茎に沿って斜上するのに対し、本変種の葉は、長楕円状披針形で幅が 15–25 mm と広く、茎の下部ではほぼ水平に開出する。大井 (1978), 村田 (1981), Yamazaki (1993) では、葉幅が 15 mm 以上あるものは取り上げられていないが、北村ほか (1958) は本変種を認めている。また、米倉浩司・梶田忠 (2003-) は、ヒロハノスズサイコとして *Vincetoxicum pycnostelma* Kitag. f. *latifolium* (Makino) Kitag. の学名を採用している。県内では東城町の石灰岩が露出している山すその斜面で生育を確認した。山口県の秋吉台でも記録されている。

標本 東城町 (hbg-17660)

Rubiaceae アカネ科

45950 *Damnacanthus macrophyllus* Siebold var. *giganteus* (Makino) Koidz. ナガバジュズネノキ (広島県 NT)

土井 (1983) により湯来町恵下から報告されているが標本はなく、現況は不明である。2002 年に河内町で確認された後、広島市でも生育が確認された。

文献 土井 1983, 広島県植物誌, 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004, 湯来町の維管束植物

標本 河内町 (HIRO-MY-32090), 広島市安佐北区 (hbg-18685), 広島市佐伯区 (hbg-15084)

46010 *Galium kamtschaticum* Steller エゾノヨツバムグラ

本編ではオオバノヨツバムグラの1型ではないかとされたが、吉和冠山のブナ林下に生育しているものが本種であることを確認した。北日本に生育する種とされるが、島根県の安蔵寺山でも見られる。

文献 井波 1985, 須田ほか 1991, よしわの植物ガイド

標本 吉和村 (hbg-13850)

46171 *Galium pseudo-asprellum* Makino var. *bingoense* Murata et Ezuka ビンゴムグラ (広島県 DD)

江塚昭典が1982年9月に福山市駅家町服部本郷の山林斜面で採取した標本に基づいて、村田(1992)が新変種として記載した。その他の産地として北海道、山梨、長野、東京、山口、朝鮮の智異山などが記録されている。基準標本の産地は福山市服部本郷である。

文献 村田 1992, 江塚 1994

標本 広島県 (ae-7; 副基準標本), 東城町 (hbg-17637), 福山市 (yy-20280)

46190 *Galium tokyoense* Makino ハナムグラ (環境省 VU)

本州の中部と関東地方に希に産する多年草。土井(1983)は、前川が採集したものを河内(東広島市河内町)産として記録しているが標本を確認できなかった。近年、西城町の湿地で生育が確認された。

文献 土井 1983

標本 西城町 (hbg-17612)

46290 *Galium verum* L. var. *trachycarpum* DC. エゾノカワラマツバ

東城町植物誌で初めて記録された。国道沿いの荒地などに生育している。これまでカワラマツバとして見過ごされてきた可能性がある。

文献 東城町植物誌

標本 西城町 (hbg-15487)

46780 *Pseudopyxis heterophylla* Maxim. シロバナイナモリソウ

関東南部から中部・近畿の太平洋側に分布する日本の固有種。中国地方では斎藤ほか(1997)が初めて北広島町枕と溝口に産することを報告したが、標本は確認できなかった。その後、福富町に産することを、戦前すでに高木哲雄が記録していたことがわかった(高木リスト)。一方2005年に、若木小夜子が湯来町で、吉原礼子が豊平町で自生を発見したほか、2007年のヒコビア観察会では福富町で生育していることが再確認された。

文献 斎藤ほか 1997, 高木リスト, 湯来町の維管束植物

標本 福富町 (yy-20724), 湯来町 (hbg-14990)

46930 *Rubia hexaphylla* (Makino) Makino オオアカネ

林縁に生育する多年生のツル植物。本州(関東北部以南)と九州北部の山地に分布する。広島県では河毛(1974)が田河瀬、土井(1983)が帝釈峡から報告しているが、標本を確認できなかったので未確認種とした。2006年に富沢由美子らによって湯来町で生育が確認された。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト, 湯来町の維管束植物

標本 湯来町 (hbg-14146)

Convolvulaceae ヒルガオ科**47131 *Dichondra repens* Forst. var. *carolinensis* (Michx.) Choisy カロライナアオイゴケ (外来)**

北アメリカ南部原産の帰化植物。本州(関東以西)と四国に希に見られるという。JR芸備線の戸坂駅付近で生育を確認した。広島県植物誌の廿日市市天神のアオイゴケは本種である。

文献 吉野ほか 2007

標本 豊島 (yy-21677), 広島市東区 (yy-18195)

47150 *Ipomoea indica* (Burm.) Merr. ノアサガオ (逸出)

近年‘オーシャンブルー’という園芸品種が観賞用としてよく栽培されている。南方系の種であるが、県内の沿岸部では屋外で越冬するため、民家近くの荒地などに逸出して繁茂している。「緑のカーテン」用の材料として栽培を勧めているが、逸出させないように注意を喚起する必要がある。

47160 *Ipomoea pes-caprae* (L.) Sweet ゲンバイヒルガオ

三上 (2002) が 1991 年に倉橋島で撮影した写真を報告した。近年武内一恵や高杉茂雄らも生育を確認しているが、開花に至らない貧弱な状態であった。山口県でもごく希にあるが定着しないとしており (岡ほか (編) 1972), 本県でも同様と思われる。

文献 三上 2002

Boraginaceae ムラサキ科

47444 *Myosotis arvensis* (L.) Hill ノハラムラサキ (逸出)

園芸品種のワスレナグサに似るが、全体に毛が多く、がく裂片が長く、かぎ状の毛に覆われていることで区別され、観賞用に栽培されるワスレナグサの野生型とされる。人家の庭先に近い林縁に生育しており、栽培品の逸出と考えられる。

標本 吉田町 (HIRO-MY-32085), 広島市安佐北区 (km-11234)

47465 *Omphalodes akiensis* Kadota アキノハイルリソウ

これまで県内でハイルリソウとされたものを、ハイルリソウとは異なる新種として門田裕一が記載した (Kadota 2009a)。葉は光沢があり、基部が明瞭な葉柄となること。花茎は早春の芽出し期から地表を匍匐して 50 cm に達すること。がく筒が短く浅く分裂し、裂片が鈍頭であることなどで区別されるとしている。また、これまで県西部の限られた場所のみで確認されていたが、甲田町、三次市、神石町などでも発見され、さらに鳥取県西南部に及ぶとしている。基準産地は戸河内町 (現安芸太田町) である。

文献 Kadota 2009a

標本 三次市 (hbg-18699), 甲田町 (hbg-17665), 戸河内町 (TNS-737044; 正基準標本)

Verbenaceae クマツヅラ科

47770 *Callicarpa x shirasawana* Makino イヌムラサキシキブ (自然交雑種)

ムラサキシキブとヤブムラサキとの自然雑種と推定される種。湯来町東郷山の調査時に発見された。

文献 井上・関 1999

標本 湯来町 (hbg-9652)

47785 *Verbena litoralis* Kunth ヒメクマツヅラ (外来)

これまで広島県内では生育が確認されていない。太刀掛・中村 (2007) によると本種は北アメリカ原産で第二次大戦後日本に渡来し、関東以西の本州、九州、琉球に帰化している。

文献 世羅 2009

標本 世羅町 (hbg-15425)

Lamiaceae シソ科

48180 *Ajuga yezoensis* Maxim. ex Franch. et Sav. var. *tsukubana* Nakai ツクバキンモンソウ

県内の自生記録はなかったが、2006年に真鍋節夫が発見し、ホームページで紹介した。その後発見場所では生育状況が不明だったが、2010年に付近の林床で生育を確認した。

〔標本〕 甲田町 (hbg-18686)

48521 *Lamium hybridum* Vill. モミジバヒメオドリコソウ (外来, 別名: キレハヒメオドリコソウ)

県内では、2003年に三次市、広島市安佐北区、豊平町で初めて生育が確認された。その後府中市や広島市でも確認されており、沿岸部を除いて広範囲に見られる。

〔文献〕 窪田・窪田 2003, 東城町植物誌, 吉野ほか 2007

〔標本〕 東城町 (hbg-17590), 上下町 (km-10230), 広島市佐伯区 (km-11464)

48540 *Leonurus macranthus* Maxim. キセワタ (環境省 VU)

河毛 (1974) や江塚・松本 (1985) によって報告されていたが、標本がなかったため本編では未確認種とした。その後、三上 (2002) や窪田・窪田 (2004a) などによっても報告され、県内に生育していることが確かめられた。

〔文献〕 河毛 1974, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 三上 2002, 高木リスト, 東城町植物誌, 窪田・窪田 2004a

〔標本〕 東城町 (hbg-13497)

48690 *Mosla chinensis* Maxim. ホソバヤマジソ (環境省 VU)

本種は本州 (中国地方), 九州, 朝鮮, 中国に分布する小型の1年生草本である。広島県では土井 (1983) が西条, 神辺などから、江塚・松本 (1985) が福山市付近から報告しているが、生育状態が不明であったため、本編には書かれていない。今回、江塚の標本が確認されたので取り上げておく。

〔文献〕 江塚・松本 1985, 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト

〔標本〕 広島県 (ae-480)

48720 *Mosla japonica* (Benth.) Maxim. ヤマジソ (環境省 NT)

北海道から九州, 朝鮮南部に分布する小型の1年生草本である。全国的に減少しており、絶滅が危惧されている。県内では佐々木・安藤 (1963) が西中国山地から報告しているが、標本が確認されなかったため本編では取り上げなかった。なお、太刀掛 (1999) が呉市から報告しているほか、似島で2006年に生育を確認した。

〔文献〕 太刀掛 1999, 吉野・関 2009

〔標本〕 広島市南区 (yy-19989)

48835 *Perilla setoyensis* G.Honda セトエゴマ (広島県 DD)

Honda et al. (1996) が新種として記載した種。レモンエゴマやトラノオジソとは花冠が白色、葯が白色から褐色で紫色でないことにより区別される。基準標本の産地は帝釈峡である。

〔文献〕 Honda et al. 1996, 吉野 1999a, 東城町植物誌

〔標本〕 東城町 (hmn-t-2997), 油木町 (hbg-17609), 福山市 (HIRO-MY-24939)

48970 *Rabdosia shikokiana* (Makino) Hara var. *intermedia* (Kudo) Hara タカクマヒキオコシ

須田ほか (1991) が吉和冠山から報告していたが、標本が確認できなかったため未確認種とした。その後、吉和冠山や芸北町八幡などで生育が確認された。東城町でも本変種と考えられる個体が採集されているが、県

北東部にはかなり葉幅が広いものがあり、サンインヒキオコシとの関係を検討する必要があると思われる。

文献 須田ほか 1991, 広島県植物誌

標本 東城町 (hbg-15476), 戸河内町 (hbg-16506), 吉和村 (hbg-15008)

49128 *Salvia* sp. テリハナツノタムラソウ (仮称)

この植物は、これまでに県内で自生が確認されているアキノタムラソウとは明らかに異なるが、現段階では該当する分類群がないため、仮の名を充てているものである。1980年代からその存在が知られていたが、文献上は2009年に初めて記録された。今後の詳細な調査・研究が必要である。

文献 世羅ほか 2009

標本 戸河内町 (hbg-15921)

9200 *Scutellaria amabilis* Hara ヤマジノタツナミソウ

2000年以降、県北東部で生育が確認されている。

文献 窪田・窪田 2001b, 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-3078), 庄原市 (km-10460)

49210 *Scutellaria brachyspica* Nakai et Hara オカタツナミソウ

江塚・松本(1985)は、福山、因島、布野に産するとしており、標本の収蔵先も明らかになったので取り上げるが、現在の生育状況は不明である。

文献 江塚・松本 1985

標本 広島県 (ae-1378)

9270 *Scutellaria kurokawae* Hara イガタツナミソウ

東広島市で生育を確認した。三次市、黒瀬町などからも報告がある。

文献 窪田・窪田 2001b, 2004a, 2005

標本 豊栄町 (hbg-18660), 東広島市 (hbg-17594)

49290 *Scutellaria laeteviolacea* Koidz. var. *discolor* (Hara) Hara ツクシタツナミソウ

Murata & Yamazaki (1993)は、本州の産地として山口、島根、広島の3県をあげている。県西部のブナ帯で、落葉樹林下や林縁に生育しているのを確認した。

文献 窪田・窪田 2004b, 2008

標本 吉和村 (hbg-12690)

49310 *Scutellaria maekawae* Hara ホナガタツナミソウ

広島市西部のアカマツ林下に生育しているが、シソバタツナミとの関係を含め、検討する必要がある。

文献 湯来町の維管束植物

標本 湯来町 (hbg-14122)

49330 *Scutellaria pekinensis* Maxim. var. *transitra* (Makino) Hara ヤマタツナミソウ

江塚・松本(1985)の標本の所在が明らかになった。また、東城町で2009年に生育を確認した。

文献 江塚・松本 1985, 河毛 1974, 広島県植物誌, 高木リスト, 窪田・窪田 2004a

標本 広島県 (ae-1038), 東城町 (hbg-17671)

県内産のタツナミソウ属植物は、一般的な植物図鑑の検索表に当てはまらないものが多いので、今後詳細な検討が必要と思われる。また、本稿では、種の範疇や学名などの扱いを村田(1981)に従ったが、Murata &

Yamazaki (1993) は、イガタツナミをシソバツナミソウの 1 型とし、またツクシタツナミソウを、シソバツナミの変種ではなく独立種として扱うなど、分類学的な定説がない状態であると考えられる。

Solanaceae ナス科

49550 *Physaliastrum savatieri* (Makino) Makino アオホオズキ (環境省 VU)

廿日市市吉和の中津谷川の源流部近くで、2003 年に県内では初めて生育が確認された。また、2008 年には山下容富子らが別の場所でも発見しているが個体数は少ない。

文献 吉野・世羅 2009

標本 吉和村 (yy-18063)

49580 *Physalis chamaesarachoides* Makino ヤマホオズキ (環境省 EN)

関東以西の本州、四国、九州に分布し、湿った林床に希に見られる。中国地方各県で自生記録があったが、広島県では 2007 年に、菅昭和が神石町で初めて本種を発見した。その後、福山市や広島市でも相次いで自生が確認されたが個体数は少なく、開花、着果状況も安定していない。

文献 高木リスト、世羅 2009

標本 神石町 (hbg-15543), 福山市 (hbg-15973), 広島市安佐北区 (hbg-17682), 湯来町 (hbg-15595)

49734 *Solanum memphiticum* Mart. ムラサキイヌホオズキ (外来)

イヌホオズキに似るが、茎が紫色を帯び、まばらに剛毛がある。原産地は南アメリカ。県の沿岸部や島嶼部の荒地に帰化しているが、イヌホオズキほど広がっていない。

文献 江塚・松本 1985

標本 広島県 (ae-2142), 上蒲刈町 (km-10785), 呉市 (hbg-16498), 倉橋町 (km-11307), 広島市佐伯区 (km-11617)

Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

50176 *Linaria genistifolia* (L.) Mill. subsp. *dalmatica* (L.) Maire et Petitm. キバナウンラン (逸出)

ヨーロッパ原産で、観賞用に導入されたものが逸出したと思われる。

文献 窪田・窪田 2002

標本 広島市佐伯区 (km-11399)

50190 *Linaria vulgaris* Mill. ホソバウンラン (逸出)

ユーラシア原産の多年草。大正期に観賞用として輸入されている。県北東部の人工的な草地で確認した。豊栄町からも報告がある。

文献 窪田・窪田 2003

標本 西城町 (yy-17780), 広島市安佐北区 (km-11532)

50195 *Lindernia anagallidea* (Michx.) Pennell ヒメアメリカアゼナ (外来)

干上がった貯水池で、スズメハコベやホシクサ類に混じって生育しているのを確認した。これまで県内からの報告はないが、アメリカアゼナと区別されていない可能性が高い。

標本 大野町 (hbg-16006)

50500 *Microcarpaea minima* (J.Koenigex Retz.) Merr. スズメハコベ (環境省 VU)

土井 (1983) は三段峡から報告しているが標本は確認されていない。2007 年から 2009 年にかけて県北部と南西部で自生が確認された。水田の除草剤使用が減ったことが要因の一つと思われる。

文献 土井 1983, 世羅 2009

標本 庄原市 (hbg-15373), 広島市安佐北区 (hbg-17683), 湯来町 (hbg-17684), 大野町 (hbg-16002)

50501 Mimulus luteus L. ニシキミゾホオズキ (外来)

芸北町荒神原の林道のり面に生育しているのが発見された。当初はオオバミゾホオズキと考えられたが、標本を詳細に検討した結果、南アメリカ原産の帰化植物であることがわかった。

文献 井上ほか 2001

標本 芸北町 (hbg-12218)

51254 Verbascum blattaria L. モウズイカ (外来)

太刀掛 (1982) が上下町から報告している。斉藤らは芸北町の八幡盆地から報告し、窪田らも安佐北区の採石場で確認している。

文献 太刀掛 1982, 斉藤ほか 1997, 窪田・窪田 2001a

51264 Veronica anagallis-aquatica L. オオカワヂシャ (外来)

芦田川や戸河内町の太田川支流の川原で生育が確認されている。戸河内町の生育地は自然度の高い溪谷であるが、上流には養鶏場や牧草地がある。

文献 吉野ほか 2007

標本 甲山町 (HIRO-MY-32031), 戸河内町 (hbg-15928)

Campanulaceae キキョウ科

53900 Adenophora divaricata Franch. et Sav. フクシマシャジン

がく片の形、葉や花序の状態でツリガネニンジンと区別され、本州中部以北、朝鮮、中国に分布するとされる。県北部と中部で生育を確認したものは、がく片の形態は本種の特徴と一致するが、葉や花序の状態には変異があるのでさらに調査する必要があると思われる。

文献 窪田・窪田 2001a, 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-3372), 高野町 (hbg-15887), 豊栄町 (hbg-17813)

54110 Adenophora triphylla (Thunb.) A.DC. var. triphylla サイヨウシャジン

サイヨウシャジンの花型を持つ個体が県内各地で確認されている。しかし、西城町や芸北町ではツリガネニンジンとの中間的な特徴を備えた個体群も観察されており、県内の本種については今後検討する必要がある。

文献 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 東城町植物誌, 高木リスト, 湯来町の維管束植物

標本 広島県 (ae-3466; ナガサキシヤジンとして), 東城町 (hmn-t-3379), 西城町 (km-11491)

Asteraceae キク科

54660 Anaphalis sinica Hance ヤハズハハコ

帝釈峠と上下町岳山で記録があるが (土井 1983), 本編では取り上げられなかった。東城町植物誌では、コンクリート壁に生育していることが報告されているが、その後渡辺健三らが、自然の石灰岩壁に自生しているのを確認した。

文献 土井 1983, 東城町植物誌

標本 東城町 (hbg-17826)

本編では、県内に自生する *Aster ageratoides* (広義) については、北村 (1981) に準拠しながらも、県内に広

く見られる種内倍数性や異数性を踏まえた上、Ito & Soejima (1995) の分類で再検討することが必要とした。その後この課題は解決されていないが、現時点で Ito & Soejima (1995) の分類に従って確認された標本を引用する。これらは、副島彰子が同定したものである。

55140 Aster ageratoides Turcz. var. ageratoides シロヨメナ

〔標本〕 湯来町 (hbg-13681)

55145 Aster ageratoides Turcz. var. intermedius (Soejima) Mot. Ito et Soejima ケシロヨメナ

〔文献〕 井上・関 1999, 湯来町の維管束植物

〔標本〕 東城町 (hbg-17838), 芸北町 (hbg-17842), 筒賀村 (hbg-17839), 湯来町 (hbg-15001)

55210 Aster ovatus (Franch. et Sav.) Mot. Ito et Soejima var. microcephalus (Miq.) Mot. Ito et Soejima センボンギク

これまで県内でホソバコンギク (*Aster ageratoides* subsp. *angustifolius*) とされてきたもの。Ito & Soejima (1995) はシロヨメナ類とは別種とし、ノコンギクの変種としている。

〔標本〕 東城町 (hbg-16038; 副島顕子 同定), 湯来町 (hbg-16052; 副島顕子 同定)

55674 Brea arvense (L.) Kitam. セイヨウトゲアザミ (外来)

北広島町八幡で 2005 年頃から生育が確認されている。

〔文献〕 吉野ほか 2007

55952 Cordus pycnocephalus L. ヒメヒレアザミ (外来)

ヒレアザミに比べ茎の翼がさらに大きい。大崎下島で、2009 年に山下容富子が発見した。県内では初めての記録である。

〔標本〕 豊町 (hbg-17662)

56705 Cirsium akimontanum Kadota ゲイホクアザミ

2009 年に吉和村を基準産地として Kadota (2009b) が記載した新種である。カガノアザミ群の 1 種で、総苞片の粘着体が披針形で顕著に粘着するものから痕跡的に退化して粘着しないものまで変異があるとされる。これまで県内でヒメアザミまたはビッチュウアザミとされてきたものの一部と思われる。

〔文献〕 Kadota 2009b

〔標本〕 吉和村 (TNS-742927; 正基準標本, hbg-17736; 門田裕一 同定)

57000 Cirsium tenue Kitam. ウスパアザミ (環境省 EN)

本編では未確認種としたが、豊松村で生育が再確認された後、広島県東部で比較的広範囲に生育していることが明らかになっている。一方、窪田・窪田 (2004a) が芸北町で記録した標本は確認できなかった。

〔文献〕 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 窪田・窪田 2004a

〔標本〕 広島県 (ae-2063), 豊松村 (hbg-16490; 門田裕一 同定), 油木町 (hbg-16477; 門田裕一 同定)

Cirsium sp. タイシャクアザミ (仮称)

帝釈峡周辺に生育し、これまでテリハアザミとされたものに、門田 (2007) が、熊本県に分布するテリハアザミと区別して仮称を与えたものである (未記載)。熊本県のテリハアザミは花時に根生葉がなく、花が黄白色であるという。また、島根県と広島県にまたがる中国山地の高所には、ヨシノアザミに似て総苞片が 11-12 列と多い個体が生育しているが、これらの分類については検討を要としている。

57515 *Eclipta alba* (L.) Hassk. アメリカタカサブロウ (外来)

瘦果は、長さが2.1–2.5 mmとタカサブロウに比べ短く、熟すと黒褐色になる（タカサブロウは明るい褐色）。熱帯アメリカ原産の種とされ、戦後に帰化したと推定されている。県内に侵入した時期は不明である。

文献 東城町植物誌、吉野ほか 2007

標本 東城町 (hmn-t-3583), 広島市南区 (yy-20000), 広島市西区 (yy-21605)

57902 *Gnaphalium luteo-album* L. セイタカハハコグサ (外来)

2008年から広島市西部、廿日市市や呉市で生育が確認されている。文献では、4–6月が花期とされているのに対して、呉の生育地では11月中旬まで花の痕が残っているので、夏まで開花している可能性がある。セイタカハハコグサは在来ハハコグサと雑種を作るとの報告があり（大場 2003）、広島県でも雑種が存在する可能性がある。

文献 久保ほか 2010

標本 府中市 (HIRO-MY-33848), 呉市 (HIRO-MY-31291), 広島市佐伯区 (hbg-16502), 廿日市市 (hbg-1650)

57922 *Gnaphalium spicatum* Lam. ウラジロチチコグサ (外来)

南アメリカ原産で、2000年頃から沿岸部や島嶼部の攪乱地に急速に広がっている。

文献 松井 2004, 湯来町の維管束植物

標本 江田島町 (km-10421), 倉橋町 (km-11376), 広島市東区 (km-10450), 広島市中区 (km-11147), 宮島町 (HIRO-MY-25375), 大竹市 (HIRO-MY-30298)

58512 *Lapsana communis* L. ナタネタビラコ (外来)

三次市の林道法面に生育しているのを近藤芳子が2008年に確認した。県内では初めての記録である。

標本 君田村 (hbg-15811)

58590 *Leontopodium japonicum* Miq. ウスユキソウ

Kitamura (1937) の報告以後生育情報がなかったが、2004年に上村恭子と山下容富子の2人によって、県北東部の山で約70年ぶりに再発見された。茎葉の特徴で細分すればヤマウスユキソウ (f. *orogenes* (Hand.-Mazz.) Ohwi) またはコウスユキソウ (var. *spatulatum* (Kitam.) Murata) にあたると思われるが、ごく狭い範囲に生育している個体間でも茎葉の形に変異があるので、広義のウスユキソウとしておく。中国地方では広島県にのみ自生し、著しい隔離分布である。個体数が極めて少ないため、保護対策を急ぐ必要がある。

文献 Kitamura 1937, 原・金井 1958, 土井 1983, 高木リスト

標本 東城町 (yy-18499)

59415 *Saussurea kubotae* Kadota タイシャクトウヒレン

2007年に門田裕一が新種として記載したもの (Kadota 2007)。東城町にあるセイタカトウヒレンの集団の中であって、開花期が早く、総苞が倒卵形で片が多いなどの特徴で区別される。

文献 Kadota 2007

標本 東城町 (TNS-761280; 正基準標本)

59750 *Siegesbeckia orientalis* L. ツクシメナモミ

土井 (1983) などの文献に記録があったが、標本がなかったため本編では未確認とした。2000年に松井が上下町で、また2006年に冨沢由美子らが倉橋町鹿島で生育を確認した。

文献 土井 1983, 広島県植物誌

標本 上下町 (km-10226), 蒲刈町 (hbg-17718), 倉橋町 (yy-19100)

59844 Soliva sessilis Ruiz et Pav. メリケントキンソウ (外来)

高さ 5 cm ほどの 1 年草で、そう果に鋭い棘がある。触ると痛いので芝地の厄介な雑草として全国的に広がっており、県内では 2007 年に富沢由美子が生育を確認した。

標本 広島市中区 (yy-21039), 広島市佐伯区 (HIRO-MY-34057)

60085 Taraxacum hideoi Nakai ex Koidz. キビシロタンポポ

県北部の白花のタンポポ類については分類学的位置づけがはっきりしていなかったため、本編では取り上げなかった。本種は福井県以西から中国地方及び九州に分布するとされ、県内では北東部で確認されている。

文献 東城町植物誌, 窪田・窪田 2008

標本 東城町 (hmn-t-3847), 神石町 (yy-18604), 福山市 (km-10923)

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物綱

Alismataceae オモダカ科

60440 Alisma plantago-aquatica L. var. orientale Samuels トウゴクヘラオモダカ (環境省 EN)

これまでに豊栄町, 世羅西町で自生の記録があるが標本を確認できなかった。甲田町の自生地は, 2008 年に近藤芳子が発見したもので, 生育範囲は狭く, ニホンジカに食害されている。

文献 薄葉 1986, 窪田・窪田 2004a

標本 甲田町 (hbg-16065; 角野康郎 同定)

Hydrocharitaceae トチカガミ科

60512 Blyxa alternifolia (Miq.) Hartog セトヤナギスブタ (環境省 EN)

庄原市の水田で 2009 年に, 小池周司と高杉茂雄によって発見され, 角野康郎が本種と確認した。県内では初めて, 中国地方でも島根県に続き 2 例目である。発生しない年もあるようなので継続的に調査する必要がある。

標本 庄原市 (hbg-17688; 角野康郎 同定)

60600 Halophila ovalis (R.Br.) Hook.f. ウミヒルモ (環境省 NT, 広島県 VU)

土井 (1983) によって広島湾や忠海などから報告されていたが, 沿岸部の開発と汚染により消滅したものと考えられていた。2000 年に大石忠義によって早瀬瀬戸で再発見され, その後安芸津町からも報告されている。

文献 土井 1983, 広島県植物誌, 三上 2002, 窪田・窪田 2002, 吉郷 2002, 大柿町海辺の生き物調査団 (編) 2002

標本 安芸津町 (比和町立博物館所蔵), 大柿町 (yy-17518)

60601 Halophila nipponica J.Kuo ヤマトウミヒルモ

Kuo et al. (2006) によって新種記載された。ヤマトウミヒルモは葉の縦横比や葉形, 葉柄が紫紅色を帯びないこと, 葉縁の透明細胞が 4 層程度, 側脈の数が少ないことなどでウミヒルモと区別できる。また, ヤマトウミヒルモは鹿児島県以北に分布するのに対して, ウミヒルモはそれ以南に分布するとされる (Kuo et al. 2006, Uchimura et al. 2006)。広島県内から報告のあるウミヒルモは本種の可能性がある。

文献 Kuo et al. 2006, Uchimura et al. 2006, 坪田ほか 2009

標本 竹原市 (MAK-296963; H. ovalis ウミヒルモとして), 宮島 (HIRO-MY-26001)

Najadaceae イバラモ科

61170 *Najas indica* (Willd.) Cham. サガミトリゲモ (環境省 VU, 広島県 VU)

ため池などの淡水中に生育する 1 年草。最近、西条盆地と庄原市のため池で生育が確認された。

文献 浜田 2003, 下田 2003, 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004

標本 庄原市 (nh-04601), 黒瀬町 (yy-18095; 下田路子 採集)

Liliaceae ユリ科

61515 *Alstroemeria pulchella* L.f. ユリズイセン (逸出)

南アメリカ原産で、アルストロメリアの名で多くの品種が観賞用に栽培されている。沿岸部や島嶼部で、逸出しているのがたまに見受けられる。

標本 向島町 (km-11586), 広島市東区 (km-10393)

61564 *Aspidistra elatior* Blume ハラン (逸出)

山間の集落跡付近や竹林などに生育している。

文献 江塚・松本 1985, 三上 2002

標本 広島県 (ae-3561), 広島市佐伯区 (hbg-17531)

62790 *Lloydia triflora* (Ledeb.) Baker ホソバナアマナ

北海道から九州, ユーラシア大陸東部から北アメリカにかけての広い範囲に分布し, 山地の草原に生える。中国地方ではこれまで島根県から報告があるほか, 高木リストにも記述がある。県内の生育地は, 小池周司が 2006 年に初めて発見した。サクラソウも混生しており, 生育地の保全が望まれる。

文献 高木リスト

標本 西城町 (hbg-15635)

63380 *Smilax riparia* A.DC. var. *ussuriensis* (Regel) Hara et T.Koyama f. *stenophylla* (Hara) T.Koyama ホソバシオデ

以前から認識されていたが, 本編ではシオデに含め, 細分しなかった。今回, 確実な標本を引用して記録する。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 高木リスト, 湯来町の維管束植物

標本 湯来町 (hbg-14147)

63860 *Trillium tschonoskii* Maxim. シロバナエンレイソウ (広島県 NT)

河毛 (1974) や大久保 (1989) に記録があったが, 標本がなかったため本編では未確認種とされた。県北東部では比較的広範囲に生育が確認されているが, 今のところ県西部では確認されていない。自生地によっては, 開花後徐々に花被片が紫色を帯び, ムラサキエンレイソウ (f. *violaceum*) に近い型にあたる個体が混生する。

文献 河毛 1974, 江塚・松本 1985, 吉川 2002, 高木リスト, 東城町植物誌

標本 東城町 (hmn-t-3998), 神石町 (hbg-15641; ムラサキエンレイソウ型), 三和町 (hbg-18688)

Dioscoreaceae ヤマノイモ科

64330 *Dioscorea septemloba* Thunb. キクバドコロ

標本が確認されなかったため未確認種としていた。西中国山地のブナ林に分布している。

文献 土井 1983, 広島県植物誌, 窪田・窪田 2004b, 高木リスト,

標本 戸河内町 (hbg-15455), 吉和村 (hbg-15441)

Brumanniaceae ヒナノシャクジョウ科

64550 *Burmattia championii* Thwaites ヒナノシャクジョウ (広島県 CR+EN)

県内の自生は, 原紺勇一が初めて発見し, 関太郎が同定した (向井 2001)。その後, 主に沿岸部で生育が確認されているが, ほとんどの産地で生育個体数は極めて少ない。以下に引用した標本の産地以外に, 三次市, 安芸郡坂町, 呉市などでも生育が確認されている。

文献 向井ほか 2001, 三上 2002, 和田 2009

標本 広島市安芸区 (hbg-17852), 広島市安佐北区 (hbg-17851), 広島市安佐南区 (yy-21564), 宮島町 (ts-200913; HIRO-MY 所蔵)

64570 *Burmattia cryptopetala* Makino シロシャクジョウ

2007 年 8 月, 北本照子と澤田つや子によって発見された。発見者らはキリシマシャクジョウであろうとしたが, 坪田が本種と確認した。中国地方では唯一の自生地である。個体数が多いが生育範囲は狭く, 植生遷移の進行による環境の変化が生育に悪影響を与えることが危惧される。広島県の RDB 種に追加すべきである。

文献 向井ほか 2007, 宮島の植物と自然 2007, 2009, 坪田・向井 2008

標本 宮島町 (HIRO-MY-27489)

Juncaceae イグサ科

64876 *Juncus* sp. コゴメイ (外来)

1990 年ころから関東以西の沿海地に拡大しているとされるが, 県内では 2009 年に初めて武内一恵が採集した。

標本 福山市 (hbg-17595)

Poaceae イネ科

66000 *Alopecurus pratensis* L. オオスズメノテッポウ (外来)

県西部の林道沿いで確認された。法面緑化の工事で持ち込まれたと思われる。

文献 高木リスト, 世羅 2009, 一橋ほか 2009

標本 吉和村 (hbg-15054), 広島市佐伯区 (hbg-16771)

66260 *Asperella japonica* Hack. イワタケソウ

これまで帝釈に産するという報告があるが標本不明のため未確認種とされた。2009 年に戸河内町の山中で高杉茂雄が発見し, 著者らも生育を確認した。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 広島県植物誌, 東城町植物誌

標本 戸河内町 (hbg-18711)

66280 *Aulacolepis treutleri* (Kuntze) Hack. var. *japonica* (Hack.) Ohwi ヒロハノコヌカグサ

主にブナ林域の明るい林床や溪流沿いに見られる。西中国山地には、比較的広範囲に生育していると思われるが、県東部では確認されていない。

文献 世羅 2009

標本 芸北町 (hbg-15368), 戸河内町 (hbg-13820), 吉和村 (HIRO-MY-32101)

66920 Calamagrostis longiseta Hack. ヒゲノガリヤス

本州に分布し、中部地方以东には多いが近畿地方以西には少なく、山口県阿東町が西南限とされる。県内では、西部のブナ林域の崖地に生育している。

文献 世羅 2009

標本 吉和村 (hbg-15342)

67440 Dichanthelium acuminatum (Sw.) Gould et C.A.Clark ニコゲヌカキビ (外来)

広島市では古い林道沿いの空き地で見られたが、報告例は少ない。

文献 東城町植物誌, 湯来町の維管束植物

標本 東城町 (hmn-t-4112), 西城町 (HIRO-MY-27508), 湯来町 (hbg-13706)

67890 Eragrostis cumingii Nees イトスズメガヤ

日当たりのよい湿地に生育する多年草。兵庫県や岡山、山口県などで報告されており、県内では高木哲雄が戦前に三滝で記録しているが標本は確認されていない。近年、広島市南区似島の南端部の岩場の湿地で生育を確認した。RDB 種としてとりあげている県もある。

文献 高木リスト, 吉野・関 2009

標本 広島市南区 (yy-17184)

68070 Festuca japonica Makino ヤマトボシガラ

標本が確認されなかったため、本編では未確認種としたが、江塚・松本 (1985) の標本所在を確認した。また、2008 年に、君田村で生育が確認された。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 高木リスト

標本 広島県 (ae-3904), 君田村 (yy-21353)

69010 Milium effusum L. イブキヌカボ

本編では標本を確認できなかったため未確認種としたが、2004 年に、宮島自然植物実験所に保管されている戦前の高木哲雄の標本の中に本種を確認した。また、東城町で生育を確認した。

文献 河毛 1974, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 高木リスト

標本 広島県 (ae-3909), 帝釈峡 (高木 1521; HIRO-MY 所蔵), 東城町 (hbg-17673)

69150 Muhlenbergia curviaristata (Ohwi) Ohwi コシノネズミガヤ

本州の温帯林中に生育している。県内では、西部のブナ林域で生育を確認した。

標本 戸河内町 (HIRO-MY-32103), 吉和村 (yy-19753)

69170 Muhlenbergia hakonensis (Hack.) Makino タチネズミガヤ

本編では未確認種としたが、江塚・松本 (1985) の標本所在を確認した。

文献 土井 1983, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 高木リスト

標本 広島県 (ae-2810)

69200 Muhlenbergia ramosa (Hack.) Makino キダチノネズミガヤ

標本が確認できなかったため未確認種としたが、東城町や加計町で生育を確認した。

文献 土井 1983, 広島県植物誌, 東城町植物誌

標本 東城町 (nh-3380), 加計町 (hbg-18400)

69300 Orthoraphium coreanum (Honda) Ohwi var. kengii (Ohwi) Ohwi ヒロハノハネガヤ

県の東部と西部で、スギ植林の林縁に生育しているのを確認したが希である。

文献 土井 1983, 東城町植物誌, 世羅 2009

標本 東城町 (hbg-17653), 戸河内町 (hbg-13813)

69393 Panicum scoparium Lam. ホオキヌカキビ (外来)

県西部で生育の記録がある。

文献 窪田・窪田 2007

標本 湯来町 (HIRO-MY-27507)

70300 Poa hisauchii Honda ヤマミゾイチゴツナギ

江塚・松本 (1985) は福山市山野で記録しており、標本所在を確認した。

文献 江塚・松本 1985

標本 広島県 (ae-2351)

70991 Sasa minensis Sad.Suzuki ミネザサ

ミアケザサと同様に見明長門が発見し、鈴木貞夫が発見場所の山口県美祢市にちなんで命名した。広島、山口、愛媛に産する。

文献 Suzuki 1992, 吉野 1999a

標本 筒賀村 (hbg-18715)

70996 Sasa miakeana Sad.Suzuki ミアケザサ

鈴木貞夫が山口県で発見された植物を新種とし、発見者の故見明長門氏に献名して記載したもの。広島、山口、愛媛に産するとされ、ミネザサに似るが葉裏に毛がない。

文献 Suzuki 1992, 吉野 1999a

71020 Sasa oshidensis Makino et Uchida オオシダザサ

藤田・鈴木 (1981) が、県内新産種として江田島で記録している。

文献 藤田・鈴木 1981

71161 Sasa pulcherrima Koidz. f. hispidula Sad. Suzuki フシゲウツクシザサ

ウツクシザサの節に長毛があるタイプを新品種として記載したもの。愛媛、広島の沿岸部に産する。

文献 Suzuki 1980

標本 三原市 (M. Fujita no. 26)

71500 Sasa veitchii (Carr.) Rehder var. grandifolia (Koidz.) Sad.Suzuki オオザサ

桑田健吾が高野町の調査で発見した。

文献 竹田 1985, 渡辺ほか 1998, 広島県植物ノート編集委員会 1999

標本 高野町 (kk-5930)

72320 Spodiopogon depauperatus Hack. ミヤマアブラスキ

県東部から記録があり、未確認種となっていたが、西城町で生育を確認した。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 広島県植物誌, 高木リスト

標本 西城町 (yy-17766)

Araceae サトイモ科

72940 *Arisaema heterophyllum* Blume マイズルテンナンショウ (環境省 VU)

2003 年に豊栄町で確認され (窪田・窪田 2004a), 長谷信二が東城町で写真を撮影している。また, 2006 年に呉市で外間栄信が群生地を発見したが, この自生地は, 2009 年には採取によって生育数が激減した。現在県内で確認されている生育地はこの 3ヶ所である。全国的にも希少な種であり, 広島県の RDB 種に追加すべきである。

文献 窪田・窪田 2004a

標本 豊栄町 (yy-18098; 窪田正彦 採集), 呉市 (hbg-15026)

73280 *Arisaema undulatifolium* Nakai ssp. *nanbae* (Kitam.) Ohashi et J.Murata タカハシテンナンショウ (環境省 EN, 広島県 NT)

本編ではヒガンマムシグサの項で, 検討すべき種としていた。その後, 開花時期の自生地調査などを行い, 広島県の準絶滅危惧種に選定されている。また, 小林ほか (2008) は中国地方におけるタカハシテンナンショウとヒガンマムシグサの詳細な調査を行っている。

文献 三上 2002, 東城町植物誌, 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004, 小林ほか 2008

標本 東城町 (yy-18116), 福山市 (km-11418)

Cyperaceae カヤツリグサ科

73751 *Carex akiensis* K. Okamoto アキアオスゲ (広島県 DD)

岡本香が 1961 年 5 月 24 日に竹原市大石で採集した標本に基づいて 1965 年に新種として記載した。

文献 Okamoto 1965, Hoshino et al. 2001

標本 竹原市 (ko-4201; 正基準標本, OKAY 所蔵)

73860 *Carex autumnalis* Ohwi オオナキリスゲ

本編では取り上げられなかったが, 高木哲雄が戦前に帝釈峡で記録している。その後も帝釈峡から報告があるほか, 福山市でも生育を確認した。

文献 岡本 1962, Okamoto 1965, 河毛 1974, 土井 1983, 東城町植物誌, 高木リスト

標本 神石町 (hbg-18716), 福山市 (hbg-18681; 高杉茂雄 採集)

73940 *Carex bostrychostigma* Maxim. ヤマジスゲ

ミヤマジュズスゲに似るが, 非常に長い柱頭が宿存し, 全体にイネ科植物を思わせるという特徴がある。ヤマジノスゲと呼ばれることもある。

文献 Okamoto 1965

標本 布野村 (ko-1951; OKAY 所蔵), 安浦町 (ko-1332; OKAY 所蔵), 芸北町 (hbg-18689)

73952 *Carex breviculmis* R.Br. var. *aphanandra* T.Koyama メアオスゲ

星野・正木 (2002) によると, 岡山県では本種をアオスゲと区別せずに報告された例が多い。広島県でも同様な状況であり, 今後は本種の生育記録が増えると思われる。

標本 福山市 (hbg-16350; 星野卓二 同定), 芸北町 (hbg-14338)

73954 *Carex breviculmis* R.Br. var. *lonchophora* (Ohwi) T.Koyama オオアオスゲ

沿岸部の山地で一橋賢三が生育を確認した。メアオスゲと同様にアオスゲと混同されていることが推察される。

標本 広島市佐伯区 (hbg-16330; 星野卓二 同定)

74152 *Carex conica* Boott f. *rubens* Kük. ベニカンスゲ

苞, 鱗片, 果胞などが濃赤色なことでヒメカンスゲと区別されるが, ヒメカンスゲの突然変異型の可能性も指摘されている (星野・正木 2002)。

標本 福山市 (hbg-18690; 星野卓二 同定), 大竹市 (hbg-16316; 星野卓二 同定)

74390 *Carex filipes* Franch. et Sav. var. *arakiana* (Ohwi) Ohwi ヒロハノオオタマツリスゲ

高木哲雄が, 戦前に臥龍山で記録している。近年では, 福岡・黒崎 (1992) によって県北から報告されていたが, 標本を見る機会がなく, 本編にも取り上げなかった。2006 年に芸北町臥龍山の海拔 1,100m 付近のブナ林の林床で生育を確認した。

文献 土井 1983, 福岡・黒崎 1992, 高木リスト

標本 芸北町 (yy-18706)

74505 *Carex geihokuensis* K.Okamoto ゲイホクスゲ (広島県 DD)

岡本香が 1958 年 5 月 24 日に戸河内町三段峡 (現安芸太田町) で採集した標本に基づいて, 1965 年に新種として記載した。基準標本について Hoshino et al. (2001) が調査を行い, 新たに選定基準標本を選定した。

文献 Okamoto 1965, Hoshino et al. 2001

標本 戸河内町 (ko-205; 選定基準標本, OKAY 所蔵)

74755 *Carex jubozanensis* J.Oda et A.Tanaka サンインヒエスゲ

Oda et al. (2003) が新種記載した種で, 福井県から鳥取県の日本海側に生育するとされる。斉藤隆登が 2006 年に広島県で初めて発見した。

文献 Oda et al. 2003, 斉藤 2009

標本 豊平町 (hbg-17699; 星野卓二 同定)

74761 *Carex kamagariensis* K.Okamoto アキイトスゲ (広島県 NT)

岡本香が 1961 年 4 月 28 日に安芸郡蒲刈町 (現呉市蒲刈町) で採集した標本に基づいて 1965 年に新種として記載した。

文献 Okamoto 1965, Hoshino et al. 2001

標本 蒲刈町 (ok-934; 正基準標本, OKAY 所蔵)

74830 *Carex lasiolepis* Franch. アズマスゲ

2009 年 5 月に行われた, 府中市の八田原ダム湖周辺調査の際, 中国地方で初めて発見された。

文献 正木ほか 2010

標本 府中市 (OKAY-22528)

74840 *Carex laticeps* C.B.Clarke オオムギスゲ

福山市周辺で記録されていたが本編には取り上げられなかった。今回の調査で江塚・松本 (1985) の標本所在が明らかになったほか, 三原市や福山市で生育が確認された。

文献 河毛 1974, 土井 1983, 江塚・松本 1985, 高木リスト

標本 広島県 (ae-1252), 福山市 (hbg-18706), 三原市 (hbg-17582)

74885 *Carex leucochlora* Bunge var. *setouchiensis* K.Okamoto セトウチコアオスゲ (広島県 DD)

岡本香が1958年に安芸郡船越町岩滝山(現広島市安芸区)で採集した標本に基づいて1965年に新変種として記載した。岡本はその他の産地として海田町東海田や瀬野川町茶白山, 可部町南原峡などを挙げている(Okamoto 1965)。

文献 Okamoto 1965, Hoshino et al. 2001

標本 広島市安芸区 (ko-425; 選定基準標本, OKAY 所蔵)

75090 *Carex metallica* Lev. フサスゲ

近畿地方以西の本州, 四国, 九州, 朝鮮半島, 中国に分布する。2009年5月, 安芸津町大芝島で一橋賢三が発見した。県内では初めての記録である。

標本 安芸津町 (hbg-17676; 星野卓二 同定)

75430 *Carex parciflora* Boott グレーンスゲ

東北地方から山陰地方の主に日本海側に分布し, 山地の湿った林縁や草原に生育する。広島県ではこれまで知られていなかったが, 斉藤隆登が県北部に生育しているのを確認した。

標本 東城町 (yy-21747)

75510 *Carex persistens* Ohwi キンキカサスゲ

近畿地方以西の本州に分布する。山地の溪流沿いや湿地に生育するやや大型のスゲ。

文献 土井 1983, 井上・関 1999, 高木リスト, 湯来町の維管束植物

標本 広島市佐伯区 (hbg-16917), 豊平町 (yy-21792)

75560 *Carex pisiformis* Boott ホンモンジスゲ

丘陵地の林内に生育する種。本編では未確認種とされた。

文献 Okamoto 1965, 岡本 1975, 広島県植物誌, 吉野 1999c, 高木リスト

標本 吉和村 (ko-785; OKAY 所蔵), 戸河内町 (ko-4094; OKAY 所蔵), 広島市安佐北区 (ko-884; OKAY 所蔵)

75670 *Carex pudica* Honda マメスゲ

土井(1983)が福山に産するとしているが本編では未確認種とした。2007年に斉藤隆登が芸北町で採集し, 自生が確認された。

文献 土井 1983

標本 芸北町 (斉藤 20070512-4; OKAY 所蔵, 星野卓二 同定)

75900 *Carex sachalinensis* F.Schmidt var. *fulva* (Ohwi) Ohwi キイトスゲ

斉藤隆登によって北広島町臥龍山などで生育が確認された(斉藤 2003)。広島県ではこれまで報告がなかった。

文献 斉藤 2003, 芸北町教育委員会 (編) 2004

標本 芸北町 (yy-19315)

75930 *Carex sachalinensis* F. Schmidt var. *sikokiana* (Franch. et Sav.) T.Koyama ベニイトスゲ

近畿地方以西の本州と四国, 九州に分布し, 林床や路傍に生育する。本編には掲載されていないが, 県内に広く分布する。

文献 岡本 1975, 江塚・松本 1985, 井上・関 1999, 吉野 1999c, 東城町植物誌, 湯来町の維管束植物

標本 広島県 (ae-2969), 東城町 (hmn-t-4277), 神石町 (yy-18285), 福山市 (hbg-16337), 戸河内町 (ko-227), 広島市佐伯区 (hbg-10068), 広島市安佐南区 (hbg-9508),

76790 *Eleocharis attenuata* (Franch. et Sav.) Palla セイタカハリイ

東郷山の調査で採集された。

文献 井上・関 1999

標本 湯来町 (hbg-10309)

76950 *Eleocharis parvula* (Roem. et Schult.) Link チャボイ (環境省 VU)

本州西部、四国、九州の塩生湿地に希に生える。県内ではこれまで報告がなかったが、大潮の干潮時にだけ現れる潟湖に生育しているのを確認した (久保ほか 2010)。

文献 久保ほか 2010

標本 宮島町 (HIRO-MY-24857)

77110 *Fimbristylis diphyloides* Makino クロテンツキ

広島県植物誌では未確認種とされたが、江塚・松本 (1985) の標本所在が確認されたほか、県南部や西部の貯水池の干潟で生育しているのを確認した。

文献 土井 1983, 江塚・松本 1985, 広島県植物誌, 高木リスト, 世羅 2009

標本 広島県 (ae-1120), 東広島市 (hbg-16504), 佐伯町 (hbg-16008; 星野卓二 同定)

77290 *Fimbristylis velata* R.Br. メアゼテンツキ

福山市で記録された標本の所在が明らかになった。また、県南部の貯水池の干潟で生育を確認した。

文献 江塚・松本 1985, 世羅 2009

標本 広島県 (ae-386), 黒瀬町 (hbg-16416)

77310 *Fuirena ciliaris* (L.) Roxb. クロタマガヤツリ

橋岡信一が 1931 年に採集した標本が京都大学に保管されていることが近年明らかになった。しかし最近の生育情報はなく、県内の現状は不明である。

文献 橋岡 1931, 高木リスト

標本 福山市蔵王町長池付近 (市村長池湿地) (S. Hashioka, 12 Sep. 1931; KYO 所蔵)

77360 *Machaerina nipponensis* (Ohwi) Ohwi et T.Koyama アンペライ

1999 年に広島市峠島の谷筋の湿地に生育しているのが確認された。広島県ではそれまで報告がなく、広島市では準絶滅危惧種とされている。近年、能美島でも生育が確認された。

文献 広島市環境企画課 (編) 2000, 三上 2002

標本 大柿町 (hbg-18712)

77495 *Schoenoplectus gemmifer* C.Sato, T.Maeda et Uchino ハタベカンガレイ (環境省 VU)

2004 年に新種として発表された (佐藤ほか 2004)。斉藤隆登が北広島町八幡で採集した標本を岡山理科大学の星野卓二が本種と同定している。

文献 佐藤ほか 2004

標本 芸北町 (OKAY-19685)

77591 *Scirpus lacustris* L. オオフトイ

フトイよりも太い根茎をもち、開花期が早く、柱頭が 3 分岐することで区別される (谷城 2007)。低地の沼などで確認されることが多いとされるが、県内では中部の冷涼な場所で、近藤芳子によって確認された。

標本 豊平町 (hbg-17832; 星野卓二 同定)

77802 *Scirpus wichurae* Boeck. f. *wichurae* アイバソウ

本編ではアブラガヤを細分しなかったが、明らかにアイバソウと同定される個体群を確認することができた。

文献 土井 1983, 江塚・松本 1985

標本 広島県 (ae-2533), 吉和村 (yy-19755)

77880 *Scleria rugosa* R.Br. ケシンジユガヤ

2004 年 10 月に松井が広島市で生育を確認したが、きわめて狭い湿地であるため、消滅の危険がある。

文献 菊池ほか 2002

標本 広島市安佐北区 (km-10903; 下田路子 同定)

Orchidaceae ラン科**79140 *Epipogium roseum* (D.Don) Lindl. タシロラン (環境省 NT, 広島県 CR+EN)**

1998 年に松村雅文が広島市の島嶼部で発見した。当時に比べ、発生場所が異なっているが、毎年開花が確認されている。

文献 広島市環境企画課 (編) 2000, 三上 2002, 世羅・石田 2008

標本 広島市南区 (hbg-15456)

79270 *Gastrodia elata* Blume f. *viridis* (Makino) Makino アオテンマ

オニノヤガラのうち、子房や花被片などが青緑色を帯びたものが品種として区別されている。広島県内からは、これまで区別して報告されていないが、標本を引用して記録しておく。

標本 比和町 (hbg-15380)

79530 *Gymnadenia camtschatica* (Cham.) Miyabe et Kudo ノビネチドリ (広島県 CR+EN)

広島県植物誌では未確認種とした。その後、県北東部の海拔 1,000 m 以上の 2 地点で生育が確認された。

文献 広島県植物誌, 三上 2002, 世羅・石田 2008

標本 西城町 (hbg-15458)

79980 *Liparis odorata* (Willd.) Lindl. ササバラン (環境省 EN)

2007 年に世羅台地の草地で 1 個体が発見され、2008 年も開花を確認したが、2009 年には生育を確認できなかった。大きな個体だったので、一時的な発生とは考えにくい。全国的に減少している種で、今後詳細な生育調査が望まれる。

文献 世羅・石田 2008

標本 世羅町 (hbg-15445)

81110 *Vexillabium nakaianum* F.Maek. ハクウンラン

中国地方では島根県隠岐で記録されている。県内では 2005 年に花のない個体を発見したが、翌年 7 月の開花を確認して本種とした。非常に狭い範囲にわずかの個体が認められるが、発見後の調査では、発生数や開花数が年によってかなり異なっていた。また、乱獲される可能性が非常に高い種なので、効果的な保護策を講じる必要がある。

文献 世羅・石田 2008

標本 吉和村 (hbg-13799)

未 確 認 種

以下の種は、おもに 1997 年の本編刊行後に県内の自生が報告された種であるが、今回の調査では標本が確認されなかったため未確認種とした。

18670 *Thalictrum baicalense* Turcz. ハルカラムツ (環境省 VU) : 三上 2002

21740 *Arabis serrata* Franch. et Sav. var. *japonica* (H.Boissieu) Ohwi イワハタザオ : 高木リスト

高木哲雄が戦前に三段峡で記録しているが、現在三段峡ではシコクハタザオしか確認されていない。近年、*Arabis serrata* 内の変種を認めない場合もある (Al-Shehbaz 2006)。

22820 *Orostachys iwarenge* (Makino) Hara イワレンゲ (環境省 VU) : 土井 1983, 比婆科学教育振興会 (編) 1994, 東城町植物誌, 高木リスト

23420 *Chrysosplenium album* Maxim. var. *stamineum* (Franch. et Sav.) Hara ハナネコノメ (別名; ハナネコノメソウ) : 江塚・松本 1985, 三上 2002, 窪田・窪田 2008

三上 (2002) や窪田ら (2008) がハナネコノメとして報告しているが標本による調査は行われていない。県内のシロバナネコノメソウは形態的に変異が大きくハナネコノメとの区別が難しいものもある。このような変異性は Funamoto et al. (1991) が明らかにしている種内倍数性によるものと考えられ、ハナネコノメとの関係についても、細胞遺伝学的な知見を踏まえた再検討が必要と思われる。

23640 *Chrysosplenium rhabdospermum* Maxim. ツクシネコノメソウ : 窪田・窪田 2008

25832 *Potentilla supina* L. オキジムシロ : 三上 2002

29210 *Lespedeza intermixta* Makino ツルメドハギ : 関ほか 1975, 土井 1983

38821 *Angelica minamitanii* T.Yamaz. ヒュウガセンキュウ : 窪田・窪田 2003

42480 *Vaccinium smallii* A.Gray オオバスノキ : 高木リスト

46390 *Hedyotis lindleyana* Hook. var. *glabra* (Honda) Hara オオハシカグサ : 桑田 1997, 広島県植物ノート編集委員会 1999

48070 *Ajuga ciliata* Bunge var. *villosior* A.Gray カイジンドウ (環境省 VU) : 窪田・窪田 2007

48410 *Galeopsis bifida* Boenn. チシマオドリコソウ (外来) : 窪田・窪田 2009

58090 *Inula linariaefolia* Turcz. ホソバオグルマ (環境省 VU) : 窪田・窪田 2004b

62190 *Hosta longipes* (Franch. et Sav.) Matsum. イワギボウシ : 河毛 1974, 渡辺ほか 1998 (未確認), 高木リスト

62540 *Lilium cordatum* (Thunb.) Koidz. var. *glehnii* (F.Schmidt) Woodcock オオウバユリ : 土井 1983, 高木リスト

これまで県内からオオウバユリとして記録報告された例はあるが標本は確認されていない。しかし、西城町や吉和村のウバユリ集団の中では、連続的にオオウバユリに移行するような形態的特徴を持った個体群が観察されている。従って、県内のオオウバユリとウバユリの関係を調査する必要があるが、これらを分類学的に区別しない考え方もある (河野昭一 (監修) 2004)。

65210 *Eriocaulon atrum* Nakai クロイヌノヒゲ (環境省 NT) : 高木リスト

65380 *Eriocaulon miquelianum* Körn. イヌノヒゲ : 河毛 1974, 江塚・松本 1985, 高木リスト

66602 *Bromus carinatus* Hook. ヤクナガイヌムギ (外来) : 太刀掛 1999

80580 *Platanthera mandarinorum* Rehb.f. ハシナガヤマサギソウ : 三上 2002

希産種リスト

次に、本編では引用された標本が1～2点しかなかった種で、今回新たな生育地が確認された種を列記する。各種の末尾の〈 〉で示した地名は、本編に掲載の産地である。

Bistorta tenuicaulis (Bisset et Moore) Nakai ハルトラノオ

油木町 (hbg-15639), 豊松村 (yy-21899), 東城町 (hmn-t-0609), 三和町 (hbg-18702), 戸河内町 (hbg-15335), 筒賀村 (km-8375) 〈吉和冠山〉

Fallopia dentato-alatum (Fr.Schm.) Holub オオツルイタドリ

東城町 (yy-17728), 西城町 (hbg-17893) 〈三和町, 神石町相渡〉

Persicaria foliosa (H.Lindb.) Kitagawa var. *paludicola* (Makino) Hara ヤナギヌカボ

吉和村 (hbg-5070) 〈甲山町東神崎, 東広島市郷曾〉

Persicaria makinoi (Nakai) Nakai オオネバリタデ

広島市佐伯区 (hbg-17177) 〈広島市古川〉

Petrorhagia nanteuilii (Burnat) P.W.Ball et Heywood イヌコモチナデシコ (外来)

広島市西区 (yy-20496), 広島市安佐南区 (yy-21404) 〈呉市大新開, 東広島市原〉

Polycarpon tetraphyllum (L.) L. ヨツバハコベ (外来)

広島市中区 (yy-20519) 〈広島市宇品東〉

Pseudostellaria heterantha (Maxim.) Pax ワチガイソウ

君田村 (hbg-17632) 〈吉和冠山〉

Pseudostellaria heterophylla (Miq.) Pax ワダソウ

東城町 (hbg-17571) 〈甲山町〉

Chenopodium koraiense Nakai イワアカザ

東城町 (HIRO-MY-24948) 〈現状不明〉

Chenopodium stenophyllum (Makino) Koidz. ホソバアカザ

倉橋町 (km-11365) 〈府中町山田〉

Anemone pseudo-altaica Hara キクザキイチゲ

高野町 (hbg-15650) 〈君田村〉

Dichocarpum trachyspermum (Maxim.) W.T.Wang et P.K.Hsiao トウゴクサバノオ

湯来町 (hbg-14129) 〈県東部〉

Berberis amurensis Rupr. var. *japonica* (Regel) Rehd. ヒロハノヘビノボラズ

西城町 (hbg-15513) 〈東城町大飯が辻山, 道後山〉

Diphylleia grayi Fr.Schm. サンカヨウ

吉和村 (hbg-12741) 〈高野町〉

Epimedium × *sasakii* F.Maek. スズフレイカリソウ

庄原市 (yy-12250), 廿日市市 (HIRO-MY-23947; 半田ほか 2008) 〈福富町竹仁, 三次市岩屋寺〉

Epimedium sempervirens Nakai トキワイカリソウ

西城町 (km-10844), 比和町 (km-11236), 吉和村 (km-10380) 〈神之瀬峡, 庄原市盤之谷〉

Sarcandra glaber (Thunb.) Nakai センリョウ

広島市佐伯区 (hbg-15083), 広島市東区 (yy-18192), 能美町 (yy-21052) 〈大竹市前飯谷, 広島市二葉山〉

Fumaria officinalis L. カラクサケマン

蒲刈町 (yy-18032), 倉橋町 (yy-19124), 呉市 (km-11403) 〈広島市似島, 尾道市福地〉

Arabidopsis thaliana (L.) Heynh. シロイヌナズナ

豊平町 (hbg-18299), 湯来町 (hbg-14037), 西城町 (yy-21744) 〈広島市緑井, 府中町石井城〉

Arabis serrata Fr. et Sav. var. *sikokiana* (Nakai) Ohwi シコクハタザオ

戸河内町 (hbg-13505) 〈戸河内町坂根, 吉和冠山〉

- Sisymbrium luteum* (Maxim.) O.E.Schulz キバナハタザオ
東城町 (hbg-14804) 〈帝釈峡〉
- Sisymbrium officinale* (L.) Scop. カキネガラシ (外来)
広島市東区 (km-10936) 〈広島市宇品東, 廿日市市平良山手〉
- Sisymbrium orientale* L. イヌカキネガラシ (外来)
広島市南区 (yy-10735) 〈尾道市坊地, 福山市草戸町〉
- Sedum mexicanum* Britt. メキシコマンネングサ (外来)
広島市安佐南区 (yy-20866), 広島市東区 (yy-20889) 〈熊野町中溝, 広島市久地太田川〉
- Chrysosplenium tosaense* (Makino) Makino タチネコノメソウ
広島市安佐北区 (hbg-15196), 広島市安佐南区 (hbg-15232), 戸河内町 (hbg-15323), 加計町 (hbg-15706), 福山市 (yy-20402) 〈東郷山〉
- Kirengeshoma palmata* Yatabe キレンゲショウマ
吉和村 (yy-18064) 〈戸河内町〉
- Aruncus dioicus* (Walt.) Fernald var. *tenuifolius* (Nakai) Hara ヤマブキショウマ
吉和村 (hbg-3430), 西城町 (yy-15592), 芸北町 (km-10514) 〈高野町金尾峠, 神之瀬峡〉
- Potentilla chinensis* Ser. カワラサイコ
広島市安佐南区 (yy-21406), 広島市中区 (hbg-5469) 〈府中市芦田川〉
- Potentilla cryptotaeniae* Maxim. var. *insularis* Kitagawa ミツモトソウ
東城町 (hbg-15567) 〈比和町, 吉和村〉
- Potentilla dickinsii* Franch. et Sav. イワキンバイ
芸北町 (hbg-15444) 〈西城町〉
- Prunus incisa* Thunb. var. *kinkiensis* (Koidz.) Ohwi キンキマメザクラ
東城町 (yy-15668), 加計町 (km-4595) 〈帝釈峡〉
- Prunus persica* (L.) Batsch モモ
広島市安佐北区 (km-9995) 〈野呂山岩海〉
- Rhodotypos scandens* (Thunb.) Makino シロヤマブキ
三原市 (hbg-17575) 〈福山市, 東城町〉
- Rubus medius* O.Kuntze オオニガイチゴ
呉市 (yy-17216), 広島市南区 (km-9801) 〈宮島〉
- Rubus minusculus* H.Lév. et Vaniot ヒメバライチゴ
筒賀村 (hbg-7026), 湯来町 (hbg-13896) 〈広島市宇賀峡〉
- Kummerowia stipulacea* (Maxim.) Makino マルバヤハズソウ
吉和村 (yy-20257) 〈広島市観音台, 熊野町平谷〉
- Medicago sativa* L. ムラサキウマゴヤシ (外来)
広島市安佐南区 (yy-20542) 〈瀬戸田町〉
- Melilotus officinalis* (L.) Pall. ssp. *albus* (Medik.) H.Ohashi et Tateishi シロバナシナガワハギ (外来)
広島市安佐南区 (yy-20537) 〈生口島, 呉市多賀谷〉
- Melilotus officinalis* (L.) Pall. ssp. *suaveolens* (Ledeb.) H.Ohashi シナガワハギ (外来)
広島市安佐南区 (yy-20539), 府中町 (yy-20845) 〈福山市川谷〉
- Vicia sativa* L. オオヤハズエンドウ (外来)
蒲刈町 (yy-18183), 倉橋町 (km-9556), 広島市安佐北区 (yy-21717) 〈総領町中領家〉
- Vigna angularis* (Willd.) Ohwi et H.Ohashi var. *nipponensis* (Ohwi) Ohwi et H.Ohashi ヤブツルアズキ
湯来町 (hbg-13263) 〈総領町中瀬, 口和町常定〉
- Oxalis pes-caprae* L. オオキバナカタバミ (外来)
尾道市 (km-11583) 〈大崎下島〉

- Erodium cicutarium* L'Hér. オランダフウロ (外来)
広島市東区 (yy-17460) 〈廿日市市〉
- Geranium tripartitum* R.Knuth コフウロ
吉和村 (hbg-15006) 〈比和町福田頭〉
- Geranium wilfordii* Maxim. ミツバフウロ
東城町 (yy-21033) 〈廿日市市泉水峠〉
- Euphorbia pekinensis* Rupr. タカトウダイ
東城町 (hbg-17601), 庄原市 (hbg-18494) 〈三良坂町羽木, 比和町布見川〉
- Euphorbia pseudochamaesyce* Fisch., Mey. et Lallemand. ニシキシソウ (外来)
安芸津町 (hbg-14243) 〈呉市広町, 福山市加茂町〉
- Tithymalus lathyrus* Hill. ホルトソウ (逸出)
広島市安佐北区 (hbg-17661) 〈呉市, 豊島〉
- Salomonina oblongifolia* DC. ヒナノカンザシ
三次市 (yy-21541) 〈東広島市〉
- Acer argutum* Maxim. アサノハカエデ
吉和村 (hbg-14310), 西城町 (yy-12516), 芸北町 (yy-17314) 〈恐羅漢山〉
- Acer diabolicum* Blume ex K.Koch カジカエデ
東城町 (hbg-5329), 湯来町 (hbg-13449) 〈口和町下金田, 三次市山家〉
- Acer nipponicum* Hara テツカエデ
吉和村 (hbg-15082) 〈湯来町天上山, 東郷山〉
- Ilex nipponica* Makino ミヤマウメモドキ
芸北町 (yy-17289), 大朝町 (yy-17688), 河内町 (yy-21492) 〈豊平町志路原, 大和町津久〉
- Euonymus alatus* (Thunb.) Siebold ニシキギ
廿日市市 (yy-12380), 大朝町 (yy-15819) 〈下帝釈峡, 上下町川井〉
- Euonymus alatus* (Thunb.) Siebold var. *rotundatus* (Makino) Hara オオコマユミ
東城町 (km-8013) 〈吉和村中津谷〉
- Euonymus sieboldianus* Blume var. *sanguineus* Nakai カントウマユミ
高野町 (hbg-17720), 吉和村 (yy-19709) 〈広島市宇賀峡, 吉和村もみのき森林公園〉
- Pachysandra terminalis* Siebold et Zucc. フッキソウ
吉和村 (hbg-17633) 〈帝釈峡〉
- Daphne miyabeana* Makino カラスシキミ
戸河内町 (hbg-15332), 芸北町 (yy-17322) 〈文献のみ〉
- Diplomorpha trichotoma* (Thunb.) Nakai キガンピ
吉和村 (yy-19851) 〈福山市金江町, 東城町膝尾〉
- Elaeagnus macrophylla* Thunb. オオバグミ
三原市 (km-11219) 〈内海町当木島, 倉橋町鹿島〉
- Viola obtusa* (Makino) Makino ニオイタチツボスミレ
吉和村 (hbg-17635) 〈広島市宇賀峡〉
- Viola shikokiana* Makino シコクスミレ
戸河内町 (yy-19760) 〈吉和村中津谷, 簡賀村龍頭峡〉
- Viola yezoensis* Maxim. var. *asoana* Hama アソヒカゲスミレ
東城町 (hbg-14923) 〈豊松村魚切溪谷, 三良坂町大谷〉
- Alangium platanifolium* (Siebold et Zucc.) Harms モミジウリノキ
湯来町 (hbg-13760) 〈吉和村冠山, 神之瀬峡〉
- Helwingia japonica* (Thunb.) F.G.Dietr. var. *parvifolia* Yamanaka コバノハナイカダ

- 湯来町 (hbg-12976), 広島市安佐北区 (hbg-15265) 〈広島市魚切ダム, 廿日市市後畑〉
Acanthopanax divaricatus (Siebold et Zucc.) See. ケヤマウコギ
 吉田町 (km-5844) 〈芸北町中祖, 豊平町竜頭山〉
Angelica inaequalis Maxim. ハナビゼリ
 湯来町 (hbg-13269), 吉和村 (hbg-15674), 豊松村 (hbg-17651), 広島市安佐南区 (km-10748) 〈豊平町簾〉
Angelica japonica A.Gray ハマウド
 大竹市 (km-10434), 福山市 (hbg-18116), 倉橋町 (hbg-18701) 〈倉橋島〉
Angelica dahurica (Fisch.) Benth. et Hook.f. ex Franch. et Sav. ヨロイグサ
 広島市安芸区 (hbg-15369) 〈広島市大屋敷〉
Dystaenia ibukiensis (Yabe) Kitagawa セリモドキ
 三次市 (hbg-17645), 吉和村 (km-10390) 〈豊松村魚切溪谷〉
Heracleum nipponicum Kitagawa ハナウド
 比和町 (yy-18163) 〈豊松村天田川〉
Ligustrum ibota Sieb. et Zucc. サイゴクイボタ
 戸河内町 (hbg-17621) 〈帝釈峡〉
Syringa reticulata (Bl.) Hara ハシドイ
 庄原市上川西 (yy-17636) 〈高宮町〉
Swertia pseudochinensis Hara ムラサキセンブリ
 戸河内町 (yy-17850) 〈東城町猫山〉
Diodia virginiana L. メリケナムグラ (外来)
 大和町 (yy-20909) 〈呉市北古新開, 福山市大渡橋〉
Galium paradoxum Maxim. ミヤマムグラ
 吉和村 (hbg-15068) 〈東郷山〉
Galium pogonanthum Franch. et Sav. f. *trichopetalum* (Nakai) Ohwi オヤマムグラ
 福山市 (yy-17542), 瀬戸田町 (yy-20411) 〈帝釈峡, 上下町川井〉
Galium trifloriforme Komar. オククルムムグラ
 吉和村 (hbg-13796), 芸北町 (yy-18213), 戸河内町 (yy-19584) 〈吉和村冠山, 比婆山〉
Galium trifloriforme Komar. var. *nipponicum* (Makino) Nakai クルムムグラ
 吉和村 (hbg-15069), 戸河内町 (hbg-13818), 豊松村 (yy-21917), 比和町 (yy-17800), 芸北町 (yy-18214)
 〈比婆山〉
Omphalodes prolifera Ohwi ハイリリソウ (アキノハイリリソウ *O. akiensis* を含む)
 芸北町 (hbg-15698), 甲田町 (hbg-17665), 三次市 (hbg-18699) 〈文献のみ〉
Verbena brasiliensis Vell. アレチハナガサ (外来)
 広島市佐伯区市 (hbg-17017), 呉市 (yy-20929) 〈広島市太田川ゴルフ場〉
Verbena officinalis L. クマツヅラ
 三原市 (hbg-18387) 〈広島市古川, 福山市慶応〉
Leucosceptrum stellipilum (Miq.) Kitam. et Murata var. *tosaense* (Makino) Kitam. et Murata オオマルバノテンニンソウ
 戸河内町 (yy-9887) 〈吉和村十方林道〉
Lycopus ramosissimus (Makino) Makino ヒメサルダヒコ
 君田町 (hbg-15504), 口和町 (hbg-16031), 黒瀬町 (hbg-16419) 〈宮島〉
Perilla frutescens (L.) Britton var. *hirtella* (Nakai) Makino トラノオジソ
 湯来町 (hbg-13984), 豊浜町 (hbg-18590) 〈宮島〉
Salvia plebeia R.Br. ミゾコウジュ
 広島市東区 (hbg-15938), 三原市 (yy-21760), 広島市安佐北区 (km-9548; 自生地は消滅) 〈呉市小坪峠, 瀬戸田町高根島〉

- Scutellaria strigillosa* Hemsl. ナミキソウ
安浦町 (hbg-17677) 〈宮島〉
- Stachys arvensis* L. ヤブチヨロギ (外来)
廿日市市 (yy-20921) 〈大崎下島, 倉橋島〉
- Stachys riederi* Cham. var. *intermedia* (Kudo) Kitam. イヌゴマ
千代田町 (hbg-13801), 大朝町 (hbg-16365), 吉和村 (yy-20947), 広島市安佐南区 (yy-21412) 〈三次市江の川〉
- Cymbalaria muralis* P. Gaertn., B.Mey. et Scherb. ツタバウンラン (外来)
広島市東区 (yy-17456) 〈廿日市市平良山手, 広島市高須〉
- Deinostema adenocaulon* (Maxim.) T.Yamaz. マルバサワトウガラシ
広島市安佐北区 (hbg-18433), 広島市佐伯区 (hbg-18438), 庄原市 (hbg-18499) 〈口和町永田〉
- Ellisiophyllum pinnatum* (Wall.) Makino キクガラクサ
新市町 (hbg-12774) 〈福山市龍頭峡〉
- Euphrasia insignis* Wettst. ssp. *iinumae* (Takeda) T.Yamaz. var. *kiusiana* (Y.Kimura) T.Yamaz.
キュウシュウコゴメグサ 西城町 (yy-18503) 〈道後山〉
- Euphrasia maximowiczii* Wettst. タチコゴメグサ
高野町 (hbg-15882) 〈比婆山〉
- Lathraea japonica* Miq. var. *miqueliana* (Franch. et Sav.) Ohwi ケヤマウツボ
佐伯町 (hbg-5751), 吉和村 (hbg-4681) 〈帝釈峡〉
- Monochasma sheareri* (S.Moore) Maxim. クチナシグサ
瀬戸田町 (yy-18452) 〈広島市水丸山, 三良坂町灰塚〉
- Parentucellia viscosa* (L.) Caruel セイヨウヒキヨモギ (外来)
広島市安佐南区 (yy-20870), 広島市安佐北区 (km-6651) 〈福山市芦田川〉
- Scrophularia buergeriana* Miq. ゴモノハグサ
東城町 (yy-21925) 〈帝釈峡〉
- Siphonostegia laeta* S.Moore オオヒキヨモギ
三原市 (hbg-17622), 甲山町 (yy-16966), 大柿町 (yy-21535), 東広島市 (km-11580) 〈豊松村仙養山〉
- Lonicera ramosissima* Franch. et Sav. var. *kinkiensis* (Koidz.) Ohwi キンキヒョウタンボク
芸北町 (阿佐山) (km-10523) 〈芸北町 (天狗石山)〉
- Specularia biflora* (Ruiz. et Pav.) Fisch. et C.A.Mey. ヒナキキョウソウ (外来)
広島市中区 (yy-10785) 〈広島市五日市〉
- Anaphalis margaritacea* (L.) Benth. et Hook.f. ssp. *yedoensis* (Franch. et Sav.) Kitam. カワラハハコ
湯来町 (hbg-16020), 吉田町 (hbg-17596) 〈広島市筒瀬, 三良坂町矢田〉
- Aster pilosus* Willd. キダチコンギク (外来)
東広島市 (km-10216) 〈大竹市後飯谷〉
- Carpesium faberi* C.Winkl. コバナガンクビソウ
本郷町 (km-11497), 湯来町 (hbg-13979) 〈福山市大谷池〉
- Cirsium dipsacolepis* (Maxim.) Matsum. モリアザミ
戸河内町 (hbg-17805) 〈呉市灰ヶ峰〉
- Coreopsis lanceolata* L. オオキンケイギク (外来)
府中町 (yy-20851) 〈三良坂町灰塚〉
- Echinops setifer* Iljin ヒゴタイ
比和町 (hbg-17820) 〈総領町〉
- Emilia sonchifolia* (L.) DC. ウスベニニガナ
倉橋町 (yy-17234) 〈呉市小坪, 大崎下島〉

- Eupatorium japonicum* Thunb. フジバカマ
湯来町 (hbg-16018), 加計町 (yy-17844) 〈戸河内町〉
- Gnaphalium purpureum* L. ウスベニチチコグサ (外来)
広島市佐伯区 (hbg-16936), 黒瀬町 (km-10974) 〈熊野町道上〉
- Chrysanthemum leucanthemum* L. フランスギク (外来)
戸河内町 (yy-19429) 〈芸北町八幡〉
- Ligularia stenocephala* (Maxim.) Matsum. et Koidz. メタカラコウ
戸河内町 (hbg-14785) 〈猿政山, 下帝釈〉
- Rudbeckia hirta* L. キヌガサギク (外来)
吉和村 (hbg-6292), 広島市安佐南区 (yy-20873) 〈弥栄峡, 野呂山〉
- Saussurea nipponica* Miq. オオダイトウヒレン
総領町 (hbg-15537) 〈東城町〉
- Vittadinia triloba* DC. ペラペラヨメナ (外来)
広島市佐伯区 (hbg-16978), 広島市東区 (yy-20896) 〈廿日市市住吉〉
- Youngia denticulata* (Houtt.) Kitam. f. *pinnatipartita* (Makino) Kitam. ハナヤクシソウ
広島市佐伯区 (hbg-16968), 能美町 (hbg-18138) 〈湯来町阿弥陀山, 宮島〉
- Blyxa aubertii* L.C.Rich. マルミスブタ
黒瀬町 (km-10707) 〈東広島市市原, 本郷町用倉〉
- Elodea nuttallii* (Planch.) St.John コカナダモ (外来)
広島市安佐南区 (yy-212889) 〈広島市広島城堀〉
- Zannichellia palustris* L. var. *indica* (Cham. ex Morong) Graebn. イトクズモ
安芸津町 (yy-21870) 〈竹原市〉
- Zostera marina* L. アマモ
安芸津町 (yy-21861), 倉橋町 (km-11291) 〈宮島, 内海町当木島〉
- Sciaphila japonica* Makino ホンゴウソウ
呉市 (yy-17523), 福富町 (hbg-18963) 〈野呂山, 宮島〉
- Fritillaria amabilis* Koidz. ホソバナコバイモ
作木村 (hbg-15683) 〈県西部, 県東部〉
- Heloniopsis orientalis* (Thunb.) C.Tanaka var. *flavida* (Nakai) Ohwi シロバナショウジョウバカマ
戸河内町 (hbg-15631), 吉和村 (yy-19179) 〈三良坂町灰塚〉
- Hosta tardiva* Nakai ナンカイギボウシ
加計町 (km-10329) 〈宮島〉
- Polygonatum involucratum* (Franch. et Sav.) Maxim. ワニグチソウ
東城町 (hbg-18603) 〈県東部〉
- Dioscorea nipponica* Makino ウチワドコロ
湯来町 (hbg-13168), 芸北町 (yy-16114), 戸河内町 (yy-19561; 関太郎 同定), 〈吉和村立岩, 西城町熊野〉
- Belamcanda chinensis* (L.) DC. ヒオウギ
三原市 (hbg-17685), 福山市 (yy-22156) 〈呉市白岳〉
- Cocosmia × crocosmiflora* (Lemoine ex Morren) N.E.Brown ヒメヒオウギズイセン (外来)
安浦町 (km-6173), 倉橋町 (km-9878), 広島市佐伯区 (hbg-16738), 吉和村 (yy-20072) 〈三次市神之瀬川〉
- Juncus fauriensis* Buchen. ホソコウガイゼキシヨウ
東城町 (km-10768) 〈芸北町八幡〉
- Juncus krameri* Franch. et Sav. タチコウガイゼキシヨウ
豊栄町 (hbg-15829), 吉田町 (km-10604) 〈福山市川谷, 東広島市馬木〉
- Achnatherum extremiorientale* (H.Hara) Keng ex P.C.Kuo ハネガヤ

- 東城町 (hbg-13867) 〈極楽寺山〉
Aira caryophyllaea L. スカススキ (外来)
 湯来町 (hbg-14192), 広島市佐伯区 (hbg-16804), 吉和村 (yy-19398) 〈廿日市市後畑, 三良坂町沖江〉
Eriochloa villosa (Thunb.) Kunth ナルコビエ
 吉和村 (yy-19726) 〈神辺町川南, 口和町常定〉
Festuca ovina L. var. *coreana* (St. Yves) St. Yves アオウシノケグサ
 広島市佐伯区 (hbg-16756) 〈熊野町平谷, 野呂山〉
Glyceria leptolepis Ohwi ヒロハノドジョウツナギ
 吉和村 (yy-20067) 〈東城町三国山〉
Hemarthria compressa (L.f.) R.Br. コバノウシノシッペイ
 大野町 (hbg-15991) 〈広島市古川, 呉市黒瀬川〉
Lophatherum sinense Rendle トウササクサ
 湯来町 (hbg-13593) 〈廿日市市桜尾〉
Paspalum orbiculare G. Forst.f. スズメノコビエ
 甲山町 (yy-17086) 〈広島市霞町, 東広島市郷曾〉
Paspalum urvillei Steud. タチスズメノヒエ (外来)
 広島市安佐南区 (yy-20878) 〈極楽寺山〉
Phacelurus latifolius (Steud.) Ohwi アイアシ
 倉橋町 (hbg-18714) 〈廿日市市地御前〉
Pseudoraphis ukishiba Ohwi ウキシバ
 東城町 (hbg-18616) 〈東広島市下見〉
Vulpia myuros (L.) K.C. Gmel. var. *megalura* (Nutt.) Rydb. オオナギナタガヤ (外来)
 広島市中区 (km-11104) 〈広島市古川, 呉市広大新開〉
Arisaema ringens (Thunb.) Schott ムサシアブミ
 神石町 (hbg-4628) 〈呉市情島, 福山市山野〉
Arisaema thunbergii Blume ssp. *urashima* Hara ウラシマソウ
 呉市 (hbg-17678), 広島市南区 (hbg-15133), 福山市 (hbg-18697) 〈東郷山〉
Wolffia arrhiza (L.) Wimmer ミジンコウキクサ (外来)
 東広島市 (km-8796), 倉橋町 (yy-20346) 〈文献のみ〉
Sparganium japonicum Rothert ナガエミクリ
 吉田町 (hbg-15398), 東城町 (yy-17754) 〈三原市惣定, 豊栄町〉
Sparganium stenophyllum Maxim. ヒメミクリ
 庄原市 (hbg-17817) 〈東広島市西山, 大朝町新庄〉
Bulbostylis densa (Wall.) Hand.-Mazz. イトハナビテンツキ
 広島市佐伯区 (hbg-16901), 大竹市 (yy-16368), 東広島市 (yy-20996) 〈大朝町, 東広島市郷曾〉
Carex puberula Boott イトアオスゲ
 吉和村 (yy-19401) 〈宮島〉
Carex duvaliana Franch. et Sav. ケスゲ
 瀬戸田町 (hbg-15182), 福山 (hbg-16349; 星野卓二 同定), 神石町 (yy-18605) 〈因島, 帝釈峡〉
Carex fernaldiana Lev. et Van. イトスゲ
 広島市佐伯区 (hbg-16308), 福山市 (hbg-16353; 星野卓二 同定), 吉和村 (yy-17613), 広島市東区 (yy-18640),
 芸北町 (yy-21371), 八千代町 (yy-21718), 豊松村 (yy-21922) 〈三段峡, 滝山峡〉
Carex fibrillosa Franch. et Sav. ハマアオスゲ
 広島市西区 (yy-21750) 〈宮島〉
Carex filipes Franch. et Sav. タマツリスゲ

- 福山市 (hbg-16355; 星野卓二 同定) 〈三良坂町細谷〉
Carex horikawae Okamoto ミセンアオスゲ
 広島市佐伯区 (hbg-16298; 星野卓二 同定), 豊平町 (hbg-16302), 福山市 (hbg-18698; 星野卓二 同定)
 〈宮島〉
Carex mira Kük. サワヒメスゲ
 加計町 (hbg-16305; 星野卓二 同定) 〈広島市南原峡〉
Carex oxyandra (Franch. et Sav.) Kudo ヒメスゲ
 芸北町 (hbg-14835), 加計町 (hbg-16307; 星野卓二 同定), 西城町 (yy-21460) 〈滝山峡〉
Carex planata Franch. et Sav. タカネマスクサ
 西城町 (hbg-15960), 吉田町 (yy-15405) 〈帝釈峡, 総領町木屋〉
Carex rhizopoda Maxim. シラコスゲ
 広島市佐伯区 (hbg-16331; 星野卓二 同定), 豊平町 (hbg-17708; 星野卓二 同定), 芸北町 (yy-19311) 〈吉和冠山, 熊野町土岐山〉
Carex tristachya Thunb. var. *pocilliformis* (Boott) Kük. コップモエギスゲ
 広島市佐伯区 (hbg-16319), 福山市 (hbg-16335) 〈広島市三滝, 熊野町土岐山〉
Eleocharis mamillata H.Lindb. var. *cyclocarpa* Kitag. ヌマハリイ
 芸北町 (hbg-14347), 東城町 (yy-17759) 〈大野町自然観察の森〉
Fimbristylis verrucifera (Maxim.) Makino アオテンツキ
 黒瀬町 (hbg-16418) 〈吉舎町安田, 東広島市寺家〉
Rhynchospora rubra (Lour.) Makino イガクサ
 能美町 (hbg-12745), 広島市南区 (yy-17189) 〈東広島市郷曾, 安浦町日之浦〉
Scirpus yagara Ohwi ウキヤガラ
 大柿町 (yy-21527) 〈三次市八次〉
Calanthe × bicolor Lindl. タカネ
 広島市安佐北区 (hbg-18186), 湯来町 (hbg-18700) 〈県東部〉
Calanthe × ishizuchi イシズチ
 戸河内町 (hbg-15329) 〈県西部〉
Calanthe nipponica Makino キンセイラン
 庄原市西城町 (hbg-11885), 筒賀村 (hbg-11009), 広島市佐伯区 (hbg-15397) 〈県西部〉
Calanthe sieboldii Decne. キエビネ
 甲山町 (hbg-18191), 加計町 (hbg-18185), 吉和村 (hbg-15124) 〈県西部〉
Dactyloctenium aegyptium L.f. イチヨウラン
 芸北町 (hbg-14825), 吉和村 (hbg-14287) 〈県西部〉
Goodyera macrantha Maxim. ベニシユスラン
 豊松村 (hbg-17652) 〈県東部〉
Goodyera pendula Maxim. ツリシユスラン
 吉和村 (hbg-13787) 〈県北西部〉
Lecanorchis hokurikuensis Masam. ホクリクムヨウラン
 世羅町 (hbg-11884), 御調町 (hbg-18695) 〈県北東部〉
Lecanorchis japonica Blume ムヨウラン
 吉田町 (yy-19049), 筒賀村 (hbg-18697) 〈県北部〉
Liparis fujisanensis F.Maek. フガクスズムシソウ
 戸河内町 (hbg-15453), 吉和村 (hbg-15438) 〈文献のみ〉
Listera japonica Blume ヒメフタバラン
 油木町 (hbg-12661), 広島市西区 (hbg-14271), 湯来町 (hbg-15814) 〈県西部〉

- Oberonia japonica* (Maxim.) Makino ヨウラクラン
 筒賀村 (hbg-11004), 戸河内町 (hbg-13826) 〈県西部〉
Platanthera mandarinorum Rehb.f. var. *neglecta* (Schltr.) F.Mack. マイサギソウ
 世羅町 (hbg-15434), 戸河内町 (hbg-15030) 〈文献のみ〉
Taeniophyllum glandulosum Bl. クモラン
 広島市西区 (hbg-18704) 〈県西部〉
Tulotis ussuriensis (Regel) Hara トンボソウ
 東城町 (hbg-12592), 芸北町 (hbg-17691) 〈油木町, 神石郡三和町〉

引用文献

- Al-Shehbaz, I. A., Arai, K. & Ohba, H. 2006. Cruciferae. Iwatsuki, K., Boufford, D. E. & Ohba, H. (eds.) *Flora of Japan* IIa, pp. 454-511. Kodansha, Tokyo.
- 土井美夫 1983. 広島県植物目録. 148 pp. 博新館, 広島県.
- 江塚昭典 1994. 農業環境技術研究所蔵植物標本目録 - 1993 年現在 -. 農業環境技術研究所資料 15: 1-153.
- 江塚昭典・松本和夫 1985. 福山市周辺の植物相. 中国農事試験場報告 E23: 1-107.
- 藤田幹雄・鈴木貞雄 1981. 瀬戸内海諸島におけるササ属の分布. ヒコビア別巻 1: 317-320.
- 福岡誠行・黒崎史平 1992. 本州西部植物地理雑記 10. 頌栄短期大学研究紀要 24: 67-76.
- Funamoto, T., Nakamura, T. & Tanaka, R. 1991. A cytological study of the *Chrysosplenium album* complex. *La Kromosomo* II 62: 2115-2127.
- Funamoto, T. & Tanaka, R. 1989. Karyomorphological studies on the genus *Chrysosplenium* in Japan (3). Five species and four varieties of the glabrous group in section *Chrysosplenium*. *La Kromosomo* II 55-56: 1818-1826.
- 芸北町教育委員会 (編) 2004. フィールドガイド芸北の自然. 153 pp. 芸北町教育委員会, 広島県.
- 浜田展也 2003. 庄原市板橋町でヒロハトリゲモを採集. 比婆科学 210: 37-38.
- 半田信司・関太郎・向井誠二・坪田博美 2008. 宮島におけるイカリソウ属の一種 *Epimedium* sp. の再確認. *Hikobia* 15: 225-230.
- 原寛・金井弘夫 1958. 日本種子植物分布図集, 第 1 集. 100 maps. + 14 pp. 井上書店, 東京.
- 原哲之 (編) 2002. 細見谷と十方山林道. 81 pp. 森と水と土を考える会・日本生物多様性防衛ネットワーク・吉和の自然を考える会, 広島県・京都府.
- 橋本雅巳・藤井茂美・佐道弘之 1980. 福山の自然. 183 pp. 福山市文化財協会, 広島県.
- 橋本卓三 2006. 三次市内のムジナモについての補足. 比婆科学 220: 41.
- 橋岡信一 1931. 福山市近郷植物目録. 24pp. 自刊.
- 比婆科学教育振興会 (編) 1994. 広島県の山野草 - 夏・秋 -. 282 pp. 中国新聞社, 広島県.
- 平井正志・津呂正人・久保中央 2005. 八幡高原におけるアラゲナツハゼの遺伝変異. 高原の自然史 10・11: 91-99.
- 広瀬繁登 1975. 広島県北部の植物雑記 (1). 比婆科学 101: 5-6.
- 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所 (坪田博美・向井誠二) (編) 2007. 宮島の植物と自然 (配布版). 104 pp. 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所, 廿日市市, 広島県.
- 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所 (坪田博美・向井誠二) (編) 2009. 宮島の植物と自然. 160 pp. 広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所, 廿日市市, 広島県.
- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 (編) 1997. 広島県植物誌. 832 pp. 中国新聞社, 広島県.
- 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004. 改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックひろしま 2003 -. 516 pp. 広島県.
- 広島県植物ノート編集委員会 1999. 広島県植物ノート (I) 県初記録等の情報. 比婆科学 189: 45-48.

- 広島県東城町植物誌編纂委員会（編）2004. 広島県東城町植物誌. 558pp. 比婆科学教育振興会, 広島県.
- 広島市環境局環境企画課（編）2000. 広島市の生物－まもりたい生命の営み－. 307 pp. 広島市環境局環境企画課, 広島県.
- 広島市植物公園（編）2004. 高木リスト 広島県産高等植物目録. 広島市植物公園紀要 22-23: 5-129.
- 一橋賢三・北本照子・今村撰・井上尚子・世羅徹哉 2009. 広島市佐伯区五日市河内地区の植物相（1）. 広島市植物公園紀要 27: 25-46.
- Honda, G., Yuba, A., Ito, M. & Tabata, M. 1996. A new species of *Perilla* (Labiatae) from Japan. J. Jap. Bot. 71: 39-43.
- 本城正憲・桑田健吾・鷺谷いづみ・大澤良 2006. 広島県におけるサクラソウ自然個体群の現状および遺伝的多様性. 比婆科学 220: 1-9.
- Hoshino, T., Masaki, T., Ikeda, H. & Toyohara, G. 2001. Typification of six taxa of *Carex* (Cyperaceae) described by Dr. K. Okamoto. Hikobia 13: 591-599.
- 星野卓二・正木智美 2002. 岡山県スゲ属植物図譜. 229 pp. 山陽新聞社, 岡山県.
- 池田博・津坂真智子・兼子信吾・狩山俊悟 2006. ミチノクフクジュソウ（キンボウゲ科）の新産地と核型. 植物地理・分類 54: 65-69.
- 池田博・吉野由紀夫 2005. ヒメヘビイチゴ（*Potentilla centigrana* Maxim.）の新産地と日本における分布. 植物地理・分類研究 53: 75-82.
- Iketani, H. & Ohashi, H. 2001. *Sorbus* L. Iwatsuki, K., Boufford, D. E. & Ohba, H. (eds.) Flora of Japan IIb, pp. 113-114. Kodansha, Tokyo.
- 井波一雄 1985. 広島県植物図撰 III. 100 pls. + 12 pp. 博新館, 広島県.
- 井波一雄 1988. 広島県植物図撰 IV. 100 pls. + 12 pp. 博新館, 広島県.
- 井上尚子・林良之 2000. 温井ダムのツゲ及びマダイオウの栽培について. 広島市植物公園栽培記録 21: 1-2.
- 井上尚子・磯部実・関太郎 2001. 広島県フロラ覚書（1）ニシキミゾホオズキ（新帰化植物）. 植物公園紀要 20: 49-52.
- 井上尚子・松本広樹・永井親雄・石田源次郎 2002. 広島県フロラ覚書（2）コモチレンゲ. 広島市植物公園紀要 21: 43-45.
- 井上尚子・関太郎 1999. 特定地域植生調査（東郷山）第三報 植物相のまとめ. 広島市植物公園紀要 18: 1-57.
- Ito, M. & Soejima, A. 1995. *Aster* L. Iwatsuki, K., Boufford, D.E. & Ohba, H. (eds.) Flora of Japan IIIb, pp.59-73. Kodansha, Tokyo.
- 伊藤之敏 1986. 県民の森でホソバチクセツニンジンを探集. 比婆科学 134: 17-18.
- Kadota, Y. 2005. A new species of *Thalictrum* (Ranunculaceae) from Western Honshu, Japan. J. Jap. Bot. 80: 343-348.
- Kadota, Y. 2007. Systematic Studies of Asian *Saussurea* (Asteraceae) I. *Saussurea kubotae*, a New Species from Western Japan. J. Jap. Bot. 82: 259-265.
- 門田裕一 2007. 日本のアザミ. 国立科学博物館ニュース 458: 4-7.
- Kadota, Y. 2009a. *Omphalodes akiensis* (Boraginaceae), a New Species from Hiroshima Prefecture, Western Japan. J. Jap. Bot. 84: 342-349.
- Kadota, Y. 2009b. Taxonomic studies of *Cirsium* (Asteraceae) in Japan XXI. Four New Species from Honshu, Central Japan. Bull. Nat. Mus. Nat. Sci., Ser. B, 35(4), pp. 189-203.
- Kameyama, Y., Nakagoshi, N. & Nehira, K. 1999. Safe site for seedlings of *Rhododendron metternichii* var. *hondoense*. Plant Species Biol. 14: 237-242.
- Kaneko, S., Isagi, Y. and Nakagoshi, N. 2005. A new locality of *Adonis multiflora* (Ranunculaceae) in Japan. Acta Phytotax. Geobot. 56: 261-263.
- 環境省自然保護局野生生物課（編）2007. 改訂日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドリスト（維管束植物）, http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=9947&hou_id=8648
- 河野昭一（監修）2004. 植物生活史図鑑 I 春の植物 No.1. 112 pp. 北海道大学図書刊行会, 北海道.
- 吉川知之 2002. 神石郡油木町の注目すべき植物. 比婆科学 204: 49-50.

- 菊池亜希良・恩田裕一・中越信和 2002. 湧水湿地の植生配分に及ぼす地下水流動の影響. 植生学会誌 19: 95-111.
- Kitamura, S. 1937. Compositae Japonicae, Pars Prima. Mem. Coll. Sci. Kyoto Imp. Univ., sec. B. 13: 1-421. pls. I-XXXV.
- 北村四郎 1981. キク科. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編) 日本の野生植物Ⅲ 草本 合弁花類, pp. 39-45. 平凡社, 東京.
- 北村四郎・村田源・堀勝 1957. 原色日本植物図鑑 草本編 (I) 合弁花類. 297 pp. + 70 pls. 保育社, 大阪市.
- 小林禎樹・池田博・渡辺邦秋・山本伸子・邑田仁 2008. 中国地方におけるナガバナムシグサ群 (サトイモ科) の地理的分布 - 広島県内でみられるヒガンナムシグサとタカハシテンナンショウの棲み分け -. 分類 8: 149-156.
- 河毛周夫 1974. 南備後植物誌. 107 + 40 pp. 内外印刷, 広島県.
- 久保晴盛・長谷信二・坪田博美 2008. 広島県におけるアオモジ (クスノキ科) の分布と生育環境および侵入生物種としての現状と定着要因. Hikobia 15: 217-224.
- 久保晴盛・武内一恵・向井誠二・坪田博美 2010. チャボイが広島県宮島に産する. 宮島自然植物実験所ニュースレター 15: 10-11.
- 窪田正彦 1998. 広島県南部でのカラハナソウの発見. 比婆科学 188: 41.
- 窪田正彦・窪田美良子 2007. 広島県植物誌資料 (8). 比婆科学 224: 19-23.
- 窪田正彦・窪田美良子 2008. 広島県植物誌資料 (9). 比婆科学 228: 7-13.
- 窪田正彦・窪田美良子 2009. 広島県植物誌資料 (10). 比婆科学 230: 27-31.
- 窪田正彦・藤井英男 2007. 廿日市市のレイジンソウ亜属の植物 (キンポウゲ科). 比婆科学 224: 25-27.
- 窪田雄一・窪田正彦 2001a. 広島県植物誌資料 (1). 比婆科学 198: 45-51.
- 窪田雄一・窪田正彦 2001b. 広島県植物誌資料 (2). 比婆科学 201: 35-40.
- 窪田雄一・窪田正彦 2002. 広島県植物誌資料 (3). 比婆科学 206: 37-43.
- 窪田雄一・窪田正彦 2003. 広島県植物誌資料 (4). 比婆科学 210: 21-27.
- 窪田雄一・窪田正彦 2004a. 広島県植物誌資料 (5). 比婆科学 212: 1-8.
- 窪田雄一・窪田正彦 2004b. 広島県植物誌資料 (6). 比婆科学 214: 17-22.
- 窪田雄一・窪田正彦 2005. 広島県植物誌資料 (7). 比婆科学 217: 1-9.
- Kuo, J. Kanamoto, Z., Iizumi, H. & Mukai, H. 2006. Geagrasses of the genus *Halophila* Thouars (Hydrocharitaceae) from Japan. Acta Phytotax. Geobot. 57: 129-154.
- 桑田健吾 2002. 広島県北にオオホナガアオゲイトウ. 比婆科学 202: 29-30.
- 桑田健吾 2006. 広島県三次市内で見つかったムジナモ. 比婆科学 218: 27-30.
- 桑田武子 1997. 高田郡高宮町でオオハシカグサを発見. 比婆科学 179: 43.
- 正木智美・星野卓二・関太郎 2010. 中国地方新産アズマスケ. すげの会ニュース 21: 4.
- 松井健一 1999. 広島県の植物についての新産地情報. 比婆科学 192: 75-77.
- 松井健一 2004. 広島県の植物についての新産地情報. 比婆科学 212: 23-26.
- 松村雅文 1997. 神之瀬峡周辺のシダ植物. 神之瀬峡の自然 - 総合学術調査報告 -, pp. 69-78. 広島県.
- 松村雅文 1999. 広島県産シダ植物の新産地情報. 比婆科学 192: 73-75.
- 松村雅文 2001. 広島市でナチシダを採集. 比婆科学 201: 42.
- 三上幸三 2002. 植物に寄生して 50 年. 241 pp. 博新館, 広島県.
- 南敦 1995. 羅漢山にホソバシロスミレ. 比婆科学 168: 67.
- 向井誠二・原紺勇一・関太郎・豊原源太郎 2001. 広島県におけるヒナノシャクジョウ (*Burmannia championii* Thwaites) の発見とその生態学的意義. Hikobia 13: 605-609.
- 向井誠二・坪田博美・澤田つや子・北本照子・吉野由紀夫・関太郎 2007. 宮島におけるシロシャクジョウ *Burmannia cryptopetala* Makino の発見. Hikobia 15: 61-66.
- 向井誠二・坪田博美・中原美保・関太郎・豊原源太郎・出口博則 1999. 広島県におけるモロコシソウ (*Lysimachia sikokiana* Miq.) の現状とその保護について. Hikobia 13: 31-34.

- 村田源 1981. ガガイモ科. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編) 日本の野生植物Ⅲ 草本 合弁花類, pp.39-45. 平凡社, 東京.
- 村田源 1992. 植物分類雑記 21. 植物分類・地理 43: 147-153.
- Murata, G. & Yamazaki, T. 1993. Lamiaceae (Labiatae). Iwatsuki, K., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.) Flora of Japan IIIa, pp. 272-321. Kodansha, Tokyo.
- 中越信和・内藤和明 1998. 蒲刈町の維管束植物目録. 蒲刈町誌編集委員会・蒲刈町教育委員会 (編) 蒲刈町誌 自然編 (資料集), pp. 5-47. 蒲刈町, 広島県.
- 越智謚武 1948. 広島県羊歯植物目録. 6 pp. (謄) 広島鯉城高校, 広島県.
- Oda, J., Tanaka, A., Nakai, A. & Nagamasu, H. 2003. *Carex Jubozanensis* (Cyperaceae), a new species from Japan. Acta Phytotax. Geobot. 52: 127-135.
- Ogata, K. 1999. Aceraceae. Iwatsuki, K., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.) Flora of Japan IIc, pp. 60-73. Kodansha, Tokyo.
- Ohba, H. 1999. Umbelliferae. Iwatsuki, K., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.) Flora of Japan IIc, pp. 268-303. Kodansha, Tokyo.
- 大場達之 2003. ハハコグサ属. 千葉県資料研究財団 (編) 千葉県の自然誌別編 4, 千葉県植物誌, pp. 689-691. 千葉県.
- 大井次三郎 1978. 改訂増補新版 日本植物誌 顕花編. 1584 pp. + 19 pls. 至文堂, 東京.
- 岡国夫ほか (編) 1972. 山口県植物誌. 608pp. 山口県植物誌刊行会, 山口県.
- 岡本香 1962. 広島県帝釈峡のスゲ属植物. 比和科学博物館研究報告 5: 30-32.
- Okamoto, K. 1965. Taxonomic study of the Carices in the western Honsyu of Japan. Bull. Okayama Coll. Sci. 1: 1-105.
- 岡本香 1975. 中国地方における高原のスゲ属植物. 岡山理科大学紀要 11: 67-74.
- 大柿町海辺の生き物調査団 (編) 2002. 大柿町海辺の生き物. 216 pp. 大柿町, 広島県.
- 大久保一治 1989. 私の採集した岡山県自生植物目録, 付帰化植物・栽培植物. 347 pp. 岡山花の会, 岡山県.
- 斎藤隆登 2003. 芸北町産スゲ属植物 (1) キイトスゲ. 苅尾 (西中国山地自然史研究会会報) 12: 7.
- 斎藤隆登 2009. 広島県新産サンインヒエスゲ *Carex jubozanensis* Oda et A. Tanaka. 高原の自然史 14: 69-71.
- 斎藤隆登・田丸豊生・暮町昌保 1997. 広島県芸北町の種子植物目録. 高原の自然史 2: 1-43.
- 佐々木好之・安藤久次 1963. 広島県黒打峡・羅漢山 (安芸西部) の植物相と植物群落. ヒコビア 3: 217-236.
- 佐藤千芳・前田哲弥・内野明德 2004. 日本産フトイ属 (カヤツリグサ科) の 1 新種. 植物研究雑誌 79: 23-28.
- 清水孝浩 2003. 日本産スゲ属植物ノート 1. アキイトスゲ *Carex kamagariensis* K. Okamoto. すげの会会報 10: 18-24.
- 関太郎・中西弘樹・鈴木兵二・堀川芳雄 1975. 厳島 (宮島) の維管束植物. 厳島の自然 - 総合学術調査研究報告 -, pp. 221-332. 宮島町, 広島県.
- 関太郎・渡辺泰邦 1997. 神之瀬峡及びその周辺地域の種子植物. 神之瀬峡の自然 - 総合学術調査報告 -, pp. 19-67. 広島県.
- 世羅徹哉 2009. 広島県のフロラ覚書 (5). 広島市植物公園紀要 27: 13-23.
- 世羅徹哉・石田源次郎 2008. 広島県産ラン科植物に関する新知見. 広島市植物公園紀要 26: 53-63.
- 世羅徹哉・井上尚子・武内一恵・富沢由美子・吉野由紀夫 2007. 湯来町の維管束植物. 広島市植物公園紀要 24-25: 15-81.
- 世羅徹哉・高杉茂雄・武内一恵・若木小夜子・吉野由紀夫 2009. アキノタムラソウ亜属の広島県新産種. 広島市植物公園紀要 27: 1-5.
- 下田路子 2003. くろせのため池と植物. 4 pp. 黒瀬町史編さん委員会, 広島県.
- 白川勝信 2009. 花だより. 127pp. 自費出版.
- 須田泰夫・山本昌生・世羅徹哉・原田美佐子・石田源次郎 1991. 吉和冠山の植生調査. 広島市植物公園紀要 13: 17-50.
- Suzuki, S. 1980. New taxa of Bambusaceae in Seto Inland Sea area of Japan. Hikobia 8: 347-349.
- Suzuki, S. 1992. New or noteworthy plants of Japanese Bambusaceae (9). J. Jap. Bot. 67: 286-290.

- 太刀掛優 1982. 広島県の帰化植物. 広島の生物, pp. 113-126. 第一法規, 東京.
- 太刀掛優 1999. 広島県呉市植物誌. 334 pp. 比婆科学教育振興会, 広島県.
- 太刀掛優 2001. アカザカズラを大崎島で記録. 比婆科学 198: 66.
- 太刀掛優 2006. 広島県下のオオキレハマツヨイグサ (オオバナコマツヨイグサ). 比婆科学 220: 39.
- 太刀掛優・久藤広志 2003. 大崎上島の維管束植物. 37 pp. 大崎町自然調査委員会, 広島県.
- 太刀掛優・久藤広志 2006. 呉市豊町三角島のアカザカズラ. 比婆科学 219: 32.
- 太刀掛優・久藤広志 2007. 広島県にトウコマツナギ *Indigofera bungeana* Walpers の記録. 比婆科学 225: 47.
- 太刀掛優・中村慎吾 2007. 改訂増補帰化植物便覧. 676 pp. 比婆科学教育振興会, 広島県.
- Takamiya, M., Watanabe, M. & Ono, K. 1997. Biosystematic studies on the genus *Isoetes* (Isoetaceae) in Japan. IV. Morphology and anatomy of sporophytes, phytogeography and taxonomy. *Acta Phytotax. Geobot.* 48: 89-122.
- 高杉茂雄 2009. 広島県のイワネコノメソウ及びヤマキケマンについて. 比婆科学 230: 39.
- 高杉茂雄 2010a. 広島県におけるミヤコミズの分布について. 比婆科学 233: 67-68.
- 高杉茂雄 2010b. 広島県にコウザキシダが自生. 比婆科学 233: 68-69.
- 竹田孝雄 1985. 広島県のササ (1). 比婆科学 131: 1-11.
- 坪田博美・久保晴盛・向井誠二 2009. 広島県宮島近海で見つかったヤマトウミヒルモ *Halophila nipponica* J.Kuo について. *Hikobia* 15: 339-347.
- 坪田博美・向井誠二 2008. 表紙の植物—シロシャクジョウ—. 宮島自然植物実験所ニュースレター 11: 1, b.
- Uchimura, M., Faye, E. J., Shimada, S., Ogura, G., Inoue, T. & Nakamura, Y. 2006. A taxonomic study of the seagrass genus *Halophila* (Hydrocharitaceae) from Japan: description of a new species *Halophila japonica* sp. nov. and characterization of *H. ovalis* using morphological and molecular data. *Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo, Ser. B* 32: 129-150.
- 薄葉満 1986. トウゴクヘラオモダカについて. 水草研究会報 25: 16-19.
- 和田秀次 2009. 坂町の植生. 坂町史編さん委員会 (編) 坂町史自然編, pp. 317-408. 坂町, 広島県.
- Wakabayashi, M. 2001. *Chrysosplenium* L. Iwatsuki, K., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.) *Flora of Japan* IIb, pp. 58-70. Kodansha, Tokyo.
- 渡辺泰邦・桑田健吾・桑田武子・浜田展也・西岡秀樹 1998. 広島県高野町の種子植物. 比婆科学教育振興会 (編) 広島県高野町の自然誌, pp. 23-134. 高野町, 広島県.
- 山田直樹・鈴木才将・岡本素治 1996. 溪流沿いに生育するタチツボスミレの新変種. 大阪市立自然史博物館 紀要 50: 1-8.
- 山下輝 1976. 広島県帝釈峡の植物. 帝釈峡の自然, pp. 147-188. 帝釈峡の自然刊行会, 広島県.
- 山崎敬 1993. クロヅルについて. 植物研究雑誌 68: 363-366.
- Yamazaki, T. 1993. *Asclepiadaceae*. Iwatsuki, K., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.) *Flora of Japan* IIIa, pp. 168-182. Kodansha, Tokyo.
- Yamazaki, T. 1996. A revision of genus *Rhododendron* in Japan, Taiwan, Korea and Sakhalin. 179 pp. Tsumura Lab., Tokyo.
- 谷城勝弘 2007. カヤツリグサ科入門図鑑. 245 pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 米倉浩司・梶田忠 2003-. BG Plants 和名—学名インデックス (YList), http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html (2010年5月17日).
- Yonekura, K. & Ohashi, H. 1998. Geographical distribution and variation of *Bistorta tenuicaulis* and its new variety from Japan, with special reference to gynodioecy of *B. tenuicaulis* and *B. abukumensis* (Polygonaceae). *J. Jap. Bot.* 73: 1-11.
- 吉郷英範 2002. 安芸津町のウミヒルモ. 比婆科学 201: 48-49.
- 吉野由紀夫 1996. 広島県の維管束植物に関する文献目録. 比婆科学 175: 1-88.
- 吉野由紀夫 1998. 天狗シデの個体群と実生. 広島県天然記念物大朝町の天狗シデ現状調査報告書, pp. 13-34. 大朝町教育委員会, 広島県.
- 吉野由紀夫 1999a. 広島県で新たに報告されている種. 広島県植物ノート (I) 比婆科学 189: 46-47.
- 吉野由紀夫 1999b. 広島県の維管束植物に関する文献目録, 補遺と追加. 比婆科学 191: 25-40.

- 吉野由紀夫 2002a. 広島県の維管束植物に関する文献目録 (3), 補遺と追加. 比婆科学 204: 29-35.
- 吉野由紀夫 2002b. 広島県を基準産地とする維管束植物. 比婆科学 204: 37-47.
- 吉野由紀夫 2004. 広島県の維管束植物に関する文献目録 (4), 補遺と追加 (3). 比婆科学 212: 11-19.
- 吉野由紀夫 2006a. 広島県の維管束植物に関する文献目録 (5), 補遺と追加 (4). 比婆科学 219: 11-20.
- 吉野由紀夫 2006b. 三原市本郷町用倉地区の落葉性のカシ類について. 比婆科学 219: 32.
- 吉野由紀夫 2008. 広島県の維管束植物に関する文献目録 (6), 補遺と追加 (5). 比婆科学 227: 7-16.
- 吉野由紀夫 2010. 広島県の維管束植物に関する文献目録 (7), 補遺と追加 (6). 比婆科学 236: 15-26.
- 吉野由紀夫・関太郎 2009. 広島市似島で確認された湿地植生と注目すべき種. 比婆科学 232: 9-14.
- 吉野由紀夫・世羅徹哉 2009. 広島県のサンカヨウ (*Diphylleia grayi* Fr.Schm.) の新産地とアオホオズキ (*Physaliastrum sabatieri* (Makino) Makino). 広島市植物公園紀要 27: 7-11.
- 吉野由紀夫・太刀掛優・関太郎 2007. 広島県における外来植物の現状とその問題点. 比婆科学 224: 1-8.
- 吉野由紀夫・富沢由美子・長谷信二・吉原礼子 2004. 広島県新産ヒナノキンチャクの生育環境. 比婆科学 212: 38-39.
- 吉野由紀夫・渡辺泰邦 1999. 広島県植物ノート (II), 比婆科学 192: 67-70.
- よしわまなびの森資料検討委員会植物部会 (編) 2001. よしわの植物ガイド. 232 pp. 吉和村, 広島県.

付表 広島県市町村名新旧対照表

1997年当時の 市 町 村 名	合 併 後 の 新市町村名	1997年当時の 市 町 村 名	合 併 後 の 新市町村名	1997年当時の 市 町 村 名	合 併 後 の 新市町村名
安芸津町	東広島市	甲奴町	三次市	廿日市市	廿日市市
因島市	尾道市	西城町	庄原市	東野町	大崎上島町
内海町	福山市	佐伯町	廿日市市	東広島市	東広島市
江田島町	江田島市	作木村	三次市	広島市	広島市
大朝町	北広島町	三和町	神石高原町	比和町	庄原市
大柿町	江田島市	下蒲刈町	呉市	福富町	東広島市
大崎町	大崎上島町	上下町	府中市	福山市	福山市
大野町	廿日市市	庄原市	庄原市	府中市	府中市
沖美町	江田島市	新市町	福山市	布野村	三次市
尾道市	尾道市	神石町	神石高原町	本郷町	三原市
音戸町	呉市	瀬戸田町	尾道市	御調町	尾道市
加計町	安芸太田町	世羅町	世羅町	美土里町	安芸高田市
蒲刈町	呉市	世羅西町	世羅町	三原市	三原市
川尻町	呉市	総領町	庄原市	宮島町	廿日市市
神辺町	福山市	大和町	三原市	三次市	三次市
吉舎町	三次市	高野町	庄原市	三良坂町	三次市
木江町	大崎上島町	高宮町	安芸高田市	三和町	三次市
君田村	三次市	千代田町	北広島町	向島町	尾道市
久井町	三原市	筒賀村	安芸太田町	向原町	安芸高田市
口和町	庄原市	東城町	庄原市	安浦町	呉市
倉橋町	呉市	戸河内町	安芸太田町	八千代町	安芸高田市
呉市	呉市	豊栄町	東広島市	油木町	神石高原町
黒瀬町	東広島市	豊浜町	呉市	湯来町	広島市
芸北町	北広島町	豊平町	北広島町	豊町	呉市
甲山町	世羅町	豊松村	神石高原町	吉田町	安芸高田市
甲田町	安芸高田市	沼隈町	福山市	吉和村	廿日市市
河内町	東広島市	能美町	江田島市		

種子植物和名総索引

掲載頁数が斜体の種は、異名または自生種として取り上げなかったもの。

*: 未確認種。

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ア			アカミタンボ	444		アズマミヤコザサ	484	
アイアシ	517	46	アカメガシワ	234		アズマレイジンソウ		10
アイグロマツ	78		アカメヤナギ	87		アゼオトギリ	172	
アイダクグ	540		アカモノ	310		アゼガヤ	511	
アイナエ	335		アキアオスゲ		34	アゼガヤツリ	541	
アイバソウ		38	アキイトスゲ		35	アゼスゲ	539	
アオイカズラ	476		アキカサスゲ	565*		アゼテンツキ	545	
アオイゴケ	349		アキカラマツ	157, 158	11	アゼトウガラシ	375	
アオイスミレ	280		アキギリ	366, 563*		アゼナ	375	
アオイ科	271	17	アキグミ	277		アゼナルコ	530	
アオウキクサ	526		アギスミレ	284		アセビ	311	
アオウシノケグサ	508	46	アキチョウジ	365		アソヒカゲスミレ	285	42
アオガシ	145		アキツリガネツツジ	311		アタミシノ	494	
アオカモジグサ	497		アキテンナンショウ	524		アツバタツナミソウ	368	
アオガヤツリ	542		アギナシ	447		アツモリソウ	566*	
アオカラムシ	112		アキニレ	106		アテツマンサク	181	
アオキ	293		アキノウナギツカミ	123		アブノメ	373	
アオギリ	272, 274		アキノエノコログサ	521		アブラガヤ	549	38
アオギリ科	272		アキノキリンソウ	441		アブラギリ	232	
アオゲイトウ	136		アキノギンリョウソウ	308		アブラススキ	506	
アオコウガイゼキショウ	474		アキノクサタチバナ	339		アブラチャン	146	
アオゴウソ	536		アキノタムラソウ	366		アブラナ科	175	12
アオスゲ	528, 529		アキノノゲシ	430, 431		アフリカフウチョウソウ		12
アオスズラン	553		アキノハイルリソウ		22, 43	アベマキ	98, 104	
アオタチカモメヅル	339, 340		アキノハハコグサ	425		アボイザサ	490	
アオダモ	332		アキノミチヤナギ	125		アマ科	232	
アオツヅラフジ	161		アキバザサ	480		アマギコアジサイ	188	
アオテンツキ	545	47	アキメヒシバ	505		アマチャヅル	286	
アオテンナンショウ	525		アキヤマミズ	115		アマヅル	269	
アオテンマ		38	アクシバ	320		アマドコロ	463	
アオナラガシワ		6	アケビ	160		アマナ	466	
アオバスゲ	532		アケビ科	160		アマモ	450	45
アオハダ	256		アケボノシュスラン	554		アマモ科	450	
アオビユ	137		アケボノスギ	81		アメリカアサガオ	350	
アオベンケイ	182		アケボノスミレ	283		アメリカアゼナ	375	25
アオホオズキ		25	アケボノソウ	336		アメリカイヌホオズキ	370, 371	
アオミズ	116		アサガオ	350		アメリカキササゲ	380	
アオモジ		9	アサガラ	326, 328		アメリカスズメノヒエ	516	
アオヤギバナ	442		アサクラザンショウ	241		アメリカスミレサイシン		17
アカイタヤ		16	アサザ	338		アメリカセンダングサ	412	
アカガシ	97		アサダ	94		アメリカタカサブロウ		28
アカカタバミ	229		アサツキ	452		アメリカナデシコ		9
アカクロマツ	78		アサノハカエデ	245	42	アメリカネナシカズラ	348, 349	
アカザ	134		アシウスギ	81		アメリカフウロ	230	
アカザカズラ		8	アシカキ	511		アメリカヤマゴボウ	126	
アカザ科	133		アシズリノジギク	421		アヤメ	472	
アカシデ	93		アシボソ	513		アヤメ科	470	
アカシヨウマ	185		アズキナシ	210, 211		アラカシ	99, 100	
アカソ	113		アズサ	91		アラゲアオダモ	332	
アカツメクサ	225		アスナロ	83		アラゲナツハゼ	319	
アカネ	347		アズマイチゲ	151		アラゲネザサ	565*	
アカネスミレ	282		アズマガヤ	501		アラゲハンゴンソウ	436	
アカネ科	341	20	アズマザサ	496		アラゲミツバツツジ	316	
アカバナ	289		アズマシャクナゲ	311		アラゲメヒシバ	505	
アカバナリハコベ	323	19	アズマスゲ		35	アリアケスミレ	279	
アカバナ科	288	18	アズマナルコ	538		アリタソウ	134	
アカマツ	78		アズマネザサ	479, 565*		アリドオシ	342	

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
アリノトウグサ	291		イトアオスゲ	529	46	イネ亜科	497	
アリノトウグサ科	291		イトイヌノハナヒゲ	546		イネ科	478	31
アリマコスズ	485		イトイヌノヒゲ	477		イノコシバ	330	
アレチウリ	286		イトクズモ	450	45	イノコスチ	136	
アレチギシギシ	126		イトザクラ	202		イバラモ	451	
アレチヌスビトハギ	217		イトスゲ	531	46	イバラモ科	451	30
アレチノギク	418		イトススキ	514		イブキ	82	
アレチハナガサ	355	43	イトスズメガヤ		32	イブキザリ	492	
アレチマツヨイグサ	290		イトタヌキモ	384		イブキシモツケ	212, 213	
アレノノギク	426		イトツメクサ	130		イブキジャコウソウ	369	
アワ	521		イトハナビテンツキ	528	46	イブキスミレ	281	
アワガエリ	518		イトモ	450		イブキトラノオ	119	
アワコガネギク	419		イナカギク	408, 409		イブキヌカボ	565*	32
アワゴケ	355		イナコスズ	493		イブキビャクシン	82	
アワゴケ科	355		イナモリソウ	347		イブキボウフウ	304	
アワブキ	251, 253		イヌアワ	520		イボクサ	476	
アワブキ科	251		イヌイ	564*		イボタノキ	333, 334	
アワボスゲ	529		イヌウメモドキ	258		イモカタバミ	229	
アワモリショウマ	562*		イヌエンジュ	222		イヨカズラ	563*	
アンペライ		37	イヌカキネガラシ	181	41	イヨフウロ	231	
イ	473		イヌガシ	145		イラクサ	116	
イイギリ	278		イヌガヤ	84		イラクサ科	110	7
イイギリ科	278		イヌガヤ科	84		イロハカエデ	248	
イガオナモミ	445		イヌガラシ	180		イロハモミジ	248, 250	
イガガヤツリ	542		イヌクイモ	426		イワアカザ	135	40
イガクサ	547	47	イヌクグ	540		イワアカバナ	289	
イガタツナミソウ		24, 25	イヌクテガワザサ	485		イワウメヅル	259	
イガホオズキ	370		イヌクログワイ	543		イワウメ科	306	
イグサ科	472	31	イヌコウジュ	363		イワカガミ	306	
イケマ	339		イヌゴマ	368	44	イワガサ	212	
イシズチ	550	47	イヌコモチナデシコ	130	40	イワカラマツ		10, 11
イシミカワ	122		イヌコリヤナギ	88		イワガラミ	190, 194	
イシモチソウ	173		イヌザクラ	201		イワギボウシ	457	39*
イズセリョウ	322		イヌザンショウ	240, 241		イワキンバイ	199	41
イスノキ	181		イヌシデ	93		イワシデ	94	
イズハハコ	418		イヌショウマ	561*		イワショウブ	465	
イセハナビ	381		イヌセンブリ	336		イワタイゲキ	232	
イソノキ	265		イヌタデ	121		イワタケソウ	501, 564*	31
イソホウキギ	135		イヌタヌキモ	383, 384		イワタバコ	382	
イソマツ科	325		イヌツゲ	255		イワタバコ科	382	
イソヤマテンツキ	545		イヌドウナ	413		イワツクバネウツギ	397	
イタジイ	95		イヌトウバナ	359		イワニガナ	430	
イタチガヤ	519		イヌトクガワザサ	491		イワネコノメソウ		13
イタチササゲ	219		イヌナズナ	179		イワノガリヤス	564*	
イタチハギ	214		イヌヌマトラノオ	563*		イワハタザオ		39*
イタドリ	125		イヌノハナヒゲ	546		イワボタン	187	
イタビカズラ	107		イヌノヒゲ		39*	イワミシノ	495	
イタヤカエデ	247		イヌノフグリ	380		イワヤクシソウ	446	
イチイ	84		イヌハギ	222		イワヨモギ	406	
イチイガシ	99		イヌビエ	506		イワレンゲ		39*
イチイ科	84		イヌビユ	136		インチンナズナ	178	
イチゲスミレ	282		イヌビワ	107, 109		インヨウチク	565*	
イチゴツナギ	519		イヌブナ	96		ウィーピングラブグラス	507	
イチビ	271		イヌホオズキ	371	25	ウエマツソウ	451	
イチヤクソウ	308		イヌホタルイ	547		ウキクサ	526	
イチヤクソウ科	308		イヌマキ	83		ウキクサ科	526	
イチヨウ	77		イヌミヅハコベ	285		ウキシバ	520	46
イチヨウラン	553	47	イヌムギ	502		ウキヤガラ	549	47
イチヨウ科	77		イヌムラサキシキブ		22	ウグイスカグラ	388	
イチリンソウ	151		イヌヤマモモソウ	289		ウコギ	295	
イッショウチザサ	486		イヌヨモギ	406, 407		ウコギ科	294	18

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ウサギアオイ	272		ウリカワ	447		オオアブノメ	373	
ウシオツメクサ	132		ウリクサ	374		オオアブラススキ	522	
ウシクグ	542		ウリノキ	292		オオアレチノギク	418	
ウシクサ	520		ウリノキ科	292		オオアワガエリ	518	
ウシタキソウ	288		ウリハダカエデ	119, 248, 250		オオアワダチソウ	441	
ウシノケグサ	508		ウリ科	286		オオイカリソウ	159	
ウシノシッペイ	509		ウルシ	244		オオイタドリ		8
ウシハコベ	132		ウルシ科	242		オオイタビ	108	
ウスギヨウラク	311, 313		ウロコナズナ	179		オオイタヤメイゲツ	250, 251	
ウスゲクロモジ	144		ウワバミソウ	113		オオイチゴツナギ	519	
ウスゲタマブキ	413		ウワミズザクラ	201		オオイトスゲ	537	
ウスゲヤマザクラ	201	14	ウンゼンザサ	484		オオイヌタデ	121	
ウスノキ	320		ウンゼンツツジ	319		オオイヌノハナヒゲ	547	
ウスバアザミ	564*	27	ウンヌケモドキ	508		オオイヌノフグリ	379	
ウスバサイシン	166		ウンラン	374		オオイワカガミ	306, 307	
ウスバザサ	492		ウンリュウヤナギ	88		オオウシノケグサ	565*	
ウスバヒョウタンボク	388		エイザンスミレ	279		オオウバユリ		39*
ウスベニアセビ	311		エゴノキ	328		オオウラジロノキ	197	
ウスベニチチコグサ	425	45	エゴノキ科	326		オオエノコロ	521	
ウスベニツメクサ	132		エゴマ	364		オオオナモミ	445	
ウスベニニガナ	420	44	エゾアオイスミレ		18	オオカサモチ		19
ウスユキソウ	564*	28	エゾアジサイ	189		オオカナダモ	448	
ウチョウラン	557		エゾアブラガヤ	549		オオカニコウモリ	413	
ウチワドコロ	469	45	エゾエノキ	105		オオカニツリ	500	
ウツギ	187, 188		エゾカモジグサ	498		オオカメノキ	392, 393	
ウツクシザサ	490		エゾカワラナデシコ	129		オオカメツル	341	
ウツボグサ	364		エゾシロネ	362		オオカラスウリ	562*	
ウド	295		エゾスズラン	553		オオカラスノエンドウ	227	
ウドカズラ	267		エゾタチカタバミ		15	オオカワヂシャ		26
ウナギツカミ	120		エゾノカワラマツバ		21	オオキツネノカミソリ	467	
ウバメガシ	101, 102		エゾノギシギシ	126		オオキヌタソウ	347	
ウバユリ	458		エゾノサヤヌカグサ	563*		オオキバナカタバミ	230	41
ウマゴヤシ	223		エゾノヨツバムグラ	342	21	オオキレハマツヨイグサ		18
ウマスゲ	532		エゾミソハギ	287		オオキンケイギク	418	44
ウマノアシガタ	156		エゾムギ	564*		オオクサキビ	516	
ウマノスズクサ	165		エゾヤマザクラ	202		オオクマザサ	483, 484	
ウマノスズクサ科	165		エゾヤマハギ	220		オオクマヤナギ	264	
ウマノチャヒキ	564*		エゾユズリハ	236, 237		オオケタネツケバナ	177	12
ウマノミツバ	304		エチゼンネザサ	481		オオコマユミ	260	42
ウミヒルモ	564*	29	エドヒガン	202		オオサカザサ	496	
ウメガサソウ	308		エナシノ	495		オオザサ		33
ウメバチソウ	191		エナシヒゴクサ	528		オオサンショウソウ	115	
ウメモドキ	257, 258		エニシダ	216		オオシダザサ	489	33
ウラギク	411		エノキ	105		オオシュロソウ	466	
ウラギンツルグミ	277		エノキアオイ	272		オオスズメノカタビラ	519	
ウラゲウコギ	295		エノキグサ	232		オオスズメノテッポウ		31
ウラゲオオトネリコ	332		エノコログサ	521		オオズミ	197	
ウラゲバクチノキ	203		エビガライチゴ	209		オオダイトウヒレン	438	45
ウラシマソウ	525	46	エビスグサ	216		オオタチツボスミレ	281	
ウラジロアカザ	135		エビヅル	268		オオタチヤナギ	87, 88	
ウラジロイカリソウ	159		エビネ	550		オオヂシバリ	428	
ウラジロイチゴ	209		エヒメアヤメ	471		オオチドメ	302	
ウラジロイワガサ	212		エビモ	449		オオツクバネウツギ	387	
ウラジログシ	102		エビラフジ	228	15	オオツクバネガシ	103	
ウラジロチチコグサ		28	エンコウカエデ	247		オオツヅラフジ	162	
ウラジロノキ	212		エンコウソウ	151		オオツルイタドリ	120	40
ウラジロハナヒリノキ	310		エンレイソウ	466		オオツルウメモドキ	259	
ウラジロマタタビ	167		オウギカズラ	356, 357		オオトボシガラ	564*	
ウラジロマツブサ	141		オウレン	154		オオトリゲモ	451	
ウラスギ	81		オオアオスゲ		35	オオナギナタガヤ	523	46
ウリカエデ	246		オオアカネ	563*	21	オオナキリスゲ		34

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
オオナルコユリ	462		オオマルバノテンニンソウ	166, 361	43	オニスゲ	530	
オオナンパンギセル	382		オオマルバノホロシ	371		オニタビラコ	446	
オオニガイチゴ	207	41	オオミネキイチゴ		14	オニツルウメモドキ		17
オオニガナ	430		オオミヤマガマズミ	394		オニドコロ	470	
オオニシキソウ	233		オオムギスゲ		35	オニトダシバ	564*	
オオニワトコ	390		オオモミジ	248		オニナルコスゲ	539	
オオニワホコリ	507		オオモミジガサ	433		オニノガリヤス	503	
オオヌマハリイ	544		オオヤハズエンドウ	227	41	オニノゲシ	442	
オオネズミガヤ	514		オオヤマサギソウ	559		オニノヤガラ	554	
オオネバリタデ	122	40	オオヤマザクラ	202		オニバス	162	
オオバアサガラ	328		オオヤマハコベ	133		オニヒョウタンボク	390	
オオバアズマザサ	565*		オオヤマフスマ	130		オニマツヨイグサ	290	
オオバイカイカリソウ	159		オオヤマレンゲ	139, 140		オニヤブマオ	110	
オオバイヌツゲ	255		オオユウガギク	430		オニユリ	458, 459	
オオバイボタ	333		オオヨモギ	407		オニルリソウ	351	
オオバウマノスズクサ	166		オオルリソウ	351		オヌカザサ	485, 487	
オオバキスミレ	279		オカウコギ	295		オノエヤナギ	89	
オオバギボウシ	457		オカオグルマ	439		オノマンネングサ	184	
オオバクサフジ	227		オカスズメノヒエ	475		オヒシバ	507	
オオバグミ	276	42	オカタツナミソウ		24	オヒョウ	106	
オオバクロモジ	561		オガタマノキ	140		オヒルムシロ	449	
オオバコ	385, 386		オカトラノオ	323		オヘビイチゴ	199	
オオバコナラ		6	オカヒジキ	135		オミナエシ	398	
オオバコ科	385		オカメザサ	497		オミナエシ科	398	
オオバザサ	486		オガルカヤ	504		オモエザサ	489	
オオハシカグサ		39*	オギ	513		オモゴウテンナンショウ	166, 524	
オオバシノ	494		オキジムシロ		39*	オモダカ	447	
オオバジャノヒゲ	461		オキナグサ	154		オモダカ科	447	29
オオバショウマ	152		オギノツメ	381		オモト	463	
オオバスノキ		39*	オククルマムグラ	345	43	オヤブジラミ	305	
オオバセンキュウ		19	オクノカンスゲ	531		オヤママグラ	344	43
オオバタネツケバナ	178		オグラコウホネ	163		オランダガラシ	179	
オオバタンキリマメ	224		オグラセンノウ	129		オランダハッカ	363	
オオバチドメ	302		オグラノフサモ	291		オランダフウロ	230	42
オオバナニガナ	430		オグルマ	427, 428		オランダミミナグサ	128	
オオバヌスビトハギ	217		オケラ	411		カ		
オオバノトンボソウ	558, 560		オシロイバナ	137		カイジンドウ		39*
オオバノヤエムグラ	344		オシロイバナ科	137		カエデ	248	
オオバノヨツバムグラ	342	21	オゼザサ	494		カエデダイモンジソウ	194	
オオバヒョウタンボク	390		オタカラコウ	433		カエデドコロ	469	
オオバブナ	95		オタルスゲ	536		カエデ科	245	16
オオバボダイジュ	271		オッタチカタバミ	230	15	ガガイモ	341	
オオバメギ	158		オトギリソウ	171		ガガイモ科	339	20
オオバヤシャブシ	89, 90, 91, 118		オトギリソウ科	171		ガガブタ	338	
オオバヤドリギ	118		オトコエシ	398		カガミナンプスズ	485	
オオハリソウ	352		オトコオミナエシ	398		カギカズラ	348	
オオハルトラノオ		8	オトコゼリ	157		カキツバタ	471	
オオハンゲ	526		オトコヨウゾメ	392		カキドオシ	360	
オオハンゴンソウ	437		オトコヨモギ	406		カキネガラシ	181	41
オオヒキヨモギ	378	44	オトメフウロ		15	カキノキ	326	
オオヒナノウスツボ	378		オドリコソウ	361		カキノキ科	325	
オオフサモ	291		オナモミ	445		カキラン	553	
オオブタクサ	405		オニイタヤ	247		ガクウツギ	189	
オオフタバムグラ	342		オニイボタ	334		カクレミノ	296	
オオフトイ		37	オニウシノケグサ	508		カゴノキ	141	
オオフユイチゴ	209		オニガヤツリ	542		カザグルマ	153	
オオベニタデ	122		オニグジョウシノ	495		カサスゲ	530	
オオホシクサ	476		オニグルミ	85		カジイチゴ	209	
オオホナガアオゲイトウ		9	オニシバ	523		カジカエデ	246	42
オオマツヨイグサ	290		オニシバリ	274		カシダザサ	492	
オオマルバコンロンソウ		12	オニシモツケ	196		カジノキ	107	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
カシマガヤ	517		カリヤスモドキ	513		キジョラン	341	
カシュウイモ	468		カリワシノ	495		キスゲ	456	
カシワ	99, 100		カロライナアオイゴケ		21	キスミレ	282	
カシワバハグマ	434		カワデシャ	380		キセルアザミ	417	
カズサキヨモギ	407		カワチハギ	221		キセワタ	563*	23
カズノコグサ	501		カワツルモ	450		キダチコンギク	410	44
カスマグサ	227		カワミドリ	356		キダチニンドウ	389	
カスミザクラ	203		カワヤナギ	87, 88		キダチノネズミガヤ	565*	32
カゼクサ	507		カワラアカザ	135		キチジョウソウ	463	
カセンソウ	428		カワラケツメイ	216		キッコウハグマ	404	
カタクリ	454		カワラサイコ	198	41	キツタ	297	
カタバミ	229, 230		カワラスガナ	543		キツネアザミ	426	
カタバミ科	229	15	カワラスゲ	532		キツネガヤ	503	
カツラ	148		カワラナデシコ	129		キツネササゲ	218	
カツラ科	148		カワラニンジン	405	44	キツネノカミソリ	467	
カテンソウ	114		カワラハハコ	405		キツネノボタン	157	
カナクギノキ	142		カワラハンノキ	91, 318		キツネノマゴ	381	
カナビキソウ	118		カワラボウフウ	303		キツネノマゴ科	381	
カナムグラ	108		カワラマツバ	345	21	キツネヤナギ	561*	
カナメモチ	198		カワラヨモギ	405		キツリフネ	253	
カナリークサヨシ	517		カンガレイ	548		キヌガサギク	436	45
カニツリグサ	523		ガンクビソウ	414		キヌタソウ	343, 347	
カニメ	228		カンコノキ	234		キヌヤナギ	88	
カノコソウ	399		カンサイスノキ	320		キハギ	220	
カノツメソウ	305		カンサイタンボボ	444		キハダ	239	
カバノキ科	89		カンザシギボウシ	457		キバナアキギリ	366	
カベイラクサ		7	カンザブロウノキ	331		キバナウンラン		25
ガマ	527		カンスゲ	535		キバナカワラマツバ	345	
ガマズミ	391		カントウマユミ	262	42	キバナニワゼキショウ	472	
カマツカ	200		ガンピ	274		キバナノアマナ	455	
ガマ科	527		カンボク	392, 395		キバナノジギク	420	
カミエビ	161		キイトスゲ		36	キバナノマツバニンジン	232	
カミツレモドキ	405		キイレツチトリモチ	119		キバナハタザオ	180	41
カミヤツデ		18	キエビネ	551	46	キビシモツケ	213	
カモガヤ	505		キオン	564*		キビシロタンボボ		29
カモジグサ	497		キカシグサ	287		キビナワシロイチゴ	209, 210	
カモノハシ	511		キカラスウリ	287		キビノクロウメモドキ	266	
カモメラン	566*		キガンピ	276	42	キビヒトリシズカ	164	
カヤ	84		キキョウ	402		キブシ	285	
カヤツリグサ	542		キキョウソウ	403		キブシ科	285	
カヤツリグサ科	528	34	キキョウ科	400	26	キボウシノ	480	
カヤラン	560		キクアザミ	438		ギボウシラン	556	
カラクサケマン	175	40	ククイモ	426		キミズ	115	
カラクサナズナ	178		キクガラクサ	373	44	キミズモドキ	115	
カラコギカエデ	246		キクザキイチゲ	151	40	キミノシロダモ		9
カラスウリ	286		キクタニギク	419		キミノツルウメモドキ	259	
カラスザンショウ	240		キクノハアオイ	272		キャラボク	84	
カラスシキミ	274	42	キクバドコロ	564*	31	キュウシュウコゴメグサ	373	44
カラスノエンドウ	226, 227		キクバヒヨドリ	422		キュウリグサ	352	
カラスノゴマ	269		キクバヤマボクチ	443		ギョウギシバ	504	
カラスノチャヒキ	503		キクムグラ	343		ギョウジャノミズ	268	
カラスビシャク	526		キクモ	374		ギョウチクトウ科	338	20
カラスムギ	501		キク科	403	26	キヨスミウツボ	382	
カラタチバナ	321		キケマン	174		キヨスミギボウシ	564*	
カラハナソウ	561*	7	キササゲ	380		キランソウ	356	
カラマツ	78		キジカクシ	453		キリ	380	
カラマツソウ	561*	10	ギシギシ	126		キリガミネトウヒレン	438	
カラムシ	112		キシツツジ	318		キリシマザサ	492	
カラムラサキツツジ	312		キジムシロ	199		キリンソウ	184	
カリガネソウ	354		キシウスズメノヒエ	516		キレハイヌガラシ	180	
カリマタガヤ	506		キシヨウブ	471		キレハノブドウ	267	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
キレハヒメオドリコソウ		23	クリ	95		ケシナノキ	270	
キレンゲシヨウマ	166, 190	41	クリオザサ	496		ケシヨウアザミ	416	
キンエノコロ	521		クリンソウ	325		ケシロヨメナ		27
キンキカサスゲ		36	クルマバアカネ	563*		ケシンジュガヤ		38
キンキヒヨウタンボク	389	44	クルマバザクロソウ	127		ケスゲ	531	46
キンキマメザクラ	201	41	クルマバソウ	341		ケスハマソウ	150	
キンケイギク	418		クルマバナ	358, 359		ケタガネソウ	529	
キンゴジカ	272		クルマムグラ	341, 345	43	ケチヂミザサ	515	
キンシバイ	172		クルミ科	85		ケチヨウセンアサガオ	369	
キンセイラン	551	47	グレーンスゲ		36	ケツメクサ	128	
ギンバイソウ	187		クレソン	179		ケツルマサキ	260	
キンボウゲ科	148	10	クロイチゴ	562*	14	ケテイカカズラ	563*	20
キンミズヒキ	195		クロイヌノヒゲ		39*	ケトダシバ	500	
キンラン	551		クロウメモドキ	266		ケナシアオギリ	274	
ギンラン	551		クロウメモドキ科	264		ケナシカシダザサ	489	
ギンリョウソウ	308		クローバー	225		ケナシニオイタチツボスミレ	282	
ギンリョウソウモドキ	308		クログネモチ	258		ケナシヒメムカシヨモギ	422	
ギンレイカ	323		クロカワズスゲ	565*		ケナシベニバナヤマシャクヤク		11
クガイソウ	380		クロカンバ	266		ケナシヤマムグラ	343	
クグヤツリ	540		クロキ	330		ケネザサ	482	
クコ	369		クログワイ	544		ケバйкаウツギ	192	
クサアジサイ	186		クロコヌカグサ	498		ケハネミイヌエンジュ	222	
クサイ	474		クロソヨゴ	258		ケバノカシダザサ	493	
クサイチゴ	207		クロタキカズラ	264		ケハンノキ	90	
クサギ	354		クロタキカズラ科	264		ケフシグロ	131	
クサコアカソ	110		クロタマガヤツリ		37	ケマルバスミレ	280	
クサスギカズラ	453		クロチク	479		ケミヤコザサ	490	
クサスゲ	537		クロヅル	262	17	ケヤキ	106, 118	
クサネム	214		クロテンツキ	565*	37	ケヤブハギ	217	
クサノオウ	174		クロバイ	330		ケヤマウコギ	294	43
クサフジ	226		クロバナヒキオコシ	366		ケヤマウツボ	374	44
クサボケ	196		クロヒトツマツ	79		ケヤマザクラ	203	
クサボタン	153		クロフネサイシン	166		ケヤマハンノキ	90	
クサマオ	112		クロホシクサ	477		ゲンカイツツジ	312	
クサヨシ	517		クロマツ	79		ゲンゲ	215	
クサレダマ	324		クロミノサワフタギ	563*		ゲンジスミレ		18
クシバタンボボ	445		クロモ	448		ゲンノシヨウコ	231	
グジョウシノ	494		クロモジ	144		ケンボナシ	265	
クジラグサ	178		クワイ	447		ケンロクヒサカキ	170	
クズ	224		クワ科	106	7	コアカザ	134	
クスドイゲ	278		クワクサ	107		コアカソ	112	
クスノキ	142		クワモドキ	405		コアジサイ	188	
クスノキ科	141	9	グンバイナズナ	181		コアゼガヤツリ	541	
クソニンジン	405		グンバイヒルガオ		22	コアゼテンツキ	565*	
クチナシ	345		ケアオダモ	332		コアマモ	450	
クチナシグサ	377	44	ケアリタソウ	134		コイカリソウ	159	
クテガワザサ	484, 485		ケイタヤ	247		コイケマ	340	
クヌギ	98		ケイヌノヒゲ	477		コイヌガラシ	180	
クマイザサ	491		ケイヌビエ	506		コイヌノハナヒゲ	547	
クマイチゴ	206		ゲイホクアザミ		27	コイヌノヒゲ	477	
クマガイソウ	552		ゲイホクスゲ		35	コウガイゼキショウ	473	
クマザサ	493		ケイリュウタチツボスミレ		17	コウキクサ	526	
クマシデ	92		ケカマツカ	200		コウキヤガラ	548	
クマツヅラ	355	43	ケカモノハシ	510		コウスユキソウ		28
クマツヅラ科	353	22	ケキツネノボタン	156		コウゾ	107	
クマノミズキ	294		ケクロモジ	144		ゴウソ	534	
クマヤナギ	264		ケグワ	110, 111		コウゾリナ	436	
グミ科	276		ケケンボナシ	265		コウツギ		14
クモキリソウ	556		ケサンカクヅル	269		コウボウ	509	
クモラン	560	48	ケシ	175		コウボウシバ	537	
クララ	225		ケシ科	174	11	コウボウムギ	533	

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
コウホネ	163		コタヌキモ	384		コミヤマミズ	115	
コウマゴヤシ	223		コチヂミザサ	515		コムラサキ	353	
コウモリカズラ	162		コチャルメルソウ	191		コメガヤ	512	
コウヤザサ	501		コツクバネウツギ	386		コメツブウマゴヤシ	223	
コウヤボウキ	434, 436		コツブキンエノコロ	521		コメツブツメクサ	225	
コウヤマキ	81, 82		コップモエギスゲ	539	47	コメナモミ	440	
コウヤミズキ	181		コデマリ	212	15	コメヒシバ	505	
コウライウシノケグサ	564*		コテリハキンバイ	199		コモウセンゴケ	562*	
コウライシバ	523		ゴトウヅル	190, 194		コモチマンネングサ	184	
コウライヒメノダケ		19	コナギ	470		コモチレンゲ		13
コウライヤナギ	561*		コナスビ	324		コヤブタバコ	414	
コウリョウカモジグサ	498		コナミキ	367		コヤブデマリ	392	
コウリンカ	439		コナラ	103, 118		コヤブラン	460	
コオニタビラコ	432		コニシキソウ	233, 234		ゴヨウアケビ	160	
コオニユリ	459		コヌカグサ	498		ゴヨウマツ	78	
コガクウツギ	189		コハウチワカエデ	250		コヨウラクツツジ	563*	
コガシアズマザサ	496		コバギボウシ	457		コリヤナギ	88	
コガシザサ	485		コハクウンボク	328		コンギク	409	
コカナダモ	448	45	コハコベ	132		コンゴウダケ	480	
コガネギク	441		コバナカンアオイ	561*		ゴンズイ	262, 263	
コガネネコノメソウ	187		コバナガンクビソウ	415	44	コンフリー	352	
コガマ	528		コバナノワレモコウ	210		コンロンソウ	178	
コカモメツル	341		コバノイヌザンショウ	241		サ		
コカラスザンショウ	240		コバノウシノシッペイ	509	46	サイカチ	219	
コカラスムギ	501		コバノガマズミ	391		サイゴクイボタ	333	43
コカンスゲ	537		コバノクロウモドク	266		サイコクキツネヤナギ	87	
コガンピ	274		コバノセンダングサ	411		サイコククロヅル		17
ゴキダケ	480		コバノタツナミ	367, 368		サイコクトキワヤブハギ	217	
ゴキヅル	286		コバノチョウセンエノキ	104		サイコクヌカボ		8
コクサギ	238, 239		コバノトネリコ	332		サイゴクミツバツツジ	314	
コ克蘭	557		コバノトンボソウ	559		サイジョウコウホネ	163	
コクワガタ	379		コバノハナイカダ	294	42	サイトウガヤ	503	
コケイラン	557		コバノヒルムシロ	449		サイハイラン	552	
コケオトギリ	172		コバノフユイチゴ	208		ザイフリボク	195	
コケセンボンギク	431		コバノヘクソカズラ	347		サイヨウザサ	492	
コケミズ	561*		コバノミツバツツジ	314, 316		サイヨウシャジン	400, 563*	26
コケリンドウ	563*		コバノヤブムラサキ	354		サカキ	168	
コゴメイ		31	コハリスゲ	532		サカキカズラ	338	
コゴメウツギ	213		コバンソウ	501		サガミトリゲモ		30
コゴメカゼクサ	507		コバンノキ	234		サギゴケ	375	
コゴメガヤツリ	541		コバンモチ	269		サギソウ	555	
コゴメスゲ	529		コヒゲ	473		サクラスミレ	280	
コゴメバオトギリ	173		コヒルガオ	348		サクラソウ	325	
コゴメヤナギ	89		コフウロ	231	42	サクラソウ科	323	19
コシアブラ	295		コブシ	138		サクラタデ	120, 121	
コジイ	95, 96, 118		コブナグサ	500		サクラバハノキ	91, 92	
コシオガマ	377		コブニレ	105		ザクロソウ	127	
コジキイチゴ	209		ゴマギ	392		ザクロソウ科	127	
コシナガワハギ	223		ゴマクサ	372		サケバヒヨドリ	422, 424	
コシノネズミガヤ		32	ゴマシオホシクサ	478		ササエビネ	557	
コシミノナズナ	179		コマツカサススキ	547		ササガヤ	512	
コジュズスゲ	536		コマツナギ	219		ササクサ	512	
コショウノキ	274, 275		コマツヨイグサ	290		ササノハスゲ	536	
コショウハッカ	363		ゴマナ	409		ササバギンラン	552	
コショウ科	164		ゴマノハグサ	378	44	ササバモ	449	
コシロネ	362		ゴマノハグサ科	372, 382	25	ササバラン		38
コシンジュガヤ	549		コマユミ	259, 260		ササユリ	458, 459	
コスズメガヤ	508		コミカンソウ	235		サジオモダカ	564*	
コスミレ	280		コミネカエデ	246		サジガンクビソウ	415	
コセンダングサ	412		コミヤマガマズミ	394		ザゼンソウ	565*	
コタチツボスミレ	279, 282		コミヤマスミレ	281		サツマイナモリ	346	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
サツマスケ	533		シコクハタザオ	176	40	ジュンサイ	162	
サトイモ科	524	34	シコクフウロ	231		シュンラン	552	
サナエタデ	123		シコクママコナ	375, 376		ショウガ科	549	
サナギイチゴ		14	シコタンザサ	493		ショウキラン	560	
サナギスケ	532		シシウド	298, 299		ショウジョウスゲ	528	
サネカズラ	140		シジミバナ		15	ショウジョウバカマ	455	
サビバナナカマド	211		シズイ	548		ショウドシマレンギョウ	331	
サフランモドキ	468		シソ	364		ショウブ	524	
サボンソウ	131		シソ科	356	23	ジョウボウザサ	494	
サヤヌカグサ	511		シソクサ	374		ショカツサイ	180	
サラサドウダン	309		シソバタツナミソウ	368	25	シライトソウ	453	
サラシナショウマ	152		シダミコザサ	491		シラカシ	101	
ザリコミ	192		シダレザクラ	202		シラカバ	92	
サルトリイバラ	464		シダレヤナギ	87, 88		シラガブドウ	562*	
サルナシ	167, 169		シチトウ	542		シラカンバ	92	
サルメンエビネ	550, 551		シデシャジン	402		シラキ	235	
サワアザミ	564*		シナガワハギ	223	41	シラゲガヤ	509	
サワアジサイ	189		シナダレスズメガヤ	507		シラゲヒメジソ	363	
サワオグルマ	439		シナノガキ	325		シラコスゲ	537	47
サワオトギリ	173		シナノキ	270		シラスゲ	530	
サワギキョウ	402		シナノキ科	269		シラタマソウ	131	
サワギク	439		シナレンギョウ	332		シラタマノキ	310	
サワグルミ	86		シバ	523		シラタマホシクサ	564*	
サワシバ	92		シハイスミレ	284		シラネセンキュウ	299	
サワシロギク	410		シバグリ	95		シラヒゲソウ	191	
サワダツ	261		シバズゲ	535		シラヤマギク	410	
サワトウガラシ	372		シバナ	448		シラン	566*	
サワトラノオ	324		シバハギ	217		シリブカガシ	97, 98	
サワハコベ	132		シバムギ	564*		シロイヌナズナ	175	40
サワヒメスゲ	534	47	シブヤザサ	481, 482		シロイヌノヒゲ	478	
サワヒヨドリ	424		シホウチク	497		シロカネカラマツ		11
サワフタギ	329		シマカンギク	420		シロガヤツリ	565*	
サワラ	82		シマキケマン		12	シログワイ	543	
サワリソウ	350		シマズズメノヒエ	516		シロザ	134	
サンインクワガタ	379		シマニシキソウ		16	シロシマカンギク	419	
サンインシロカネソウ	154		シマミソハギ	562*		シロシャクジョウ		31
サンインヒエスゲ		35	シモツケ	212		シロダモ	118, 145	
サンインヒキオコシ	366	24	シモツケソウ	197		シロツメクサ	225	
サンカクイ	548		シモバシラ	365		シロテンマ	554	
サンカクヅル	268, 269		シャガ	471		シロネ	361	
サンカヨウ	158	40	シャク	299		シロノウゼン	319	
サンシチソウ	426		シャクジョウソウ	308		シロノセンダングサ	412	
サンジャクバーベナ	355		ジャクチスミレ	280		シロバイ	330	
サンショウ	240, 241		シャクチリソバ	120		シロバナアザミ	416	
リンショウソウ	115		ジャケツイバラ	215		シロバナイナモリソウ		21
サンベサワアザミ	417		ジャコウアオイ	272		シロバナイヌタデ	121	
サンヨウアオイ	166		ジャコウソウ	358		シロバナウンゼンツツジ	318	
サンヨウブシ	150		シャシャンボ	319		シロバナエンレイソウ	564*	30
シイモチ	254		ジャンジン	177		シロバナオオイワカガミ	306	
シオガマギク	377		ジャノヒゲ	461		シロバナキツネノマゴ	381	
シオクグ	537		ジャヤナギ	87		シロバナクルマバナ	358	
シオジ	333		ジュウニキランソウ	356		シロバナコバノミツバツツジ	316	
シオデ	464		ジュウニヒトエ	356, 358		シロバナサクラタデ	121	
シオン	410		シュウブンソウ	436		シロバナシナガワハギ	223	41
シカクイ	544		シュウメイギク	150		シロバナショウジョウバカマ	456	45
シカクダケ	497		ジュズスゲ	532		シロバナスミレ	279	
ジガバチソウ	556		ジュズダマ	504		シロバナセンダングサ	412	
シキミ	141		ジュズネノキ	342		シロバナタンポポ	443	
シキミ科	141		シュロ	524		シロバナチョウセンアサガオ	369	
シギンカラマツ	157		シュロガヤツリ	539		シロバナニガナ	428	
シコクスミレ	280, 283	42	シュロソウ	466		シロバナネコノメソウ	186	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
シロバナハナタデ	122		セイタカタウコギ	412		ダイコンドラ	349	
シロバナハマカンギク	419		セイタカトウヒレン	438	28	タイシャクアザミ		27
シロバナハンショウヅル		10	セイタカハハコグサ		28	タイシャクイタヤ	247, 249	
シロバナマンテマ	131		セイタカハリイ		37	タイシャクカモジ	498	
ジロボウエンゴサク	174		セイタカヨシ	518		タイシャクカラマツ		10
シロモジ	146, 148, 166		セイバンモロコシ	522		タイシャククロウメモドキ	266	
シロヤマブキ	204	41	セイヨウアブラナ	177		タイシャクトウヒレン		28
シロヨメナ	408	27	セイヨウカラシナ	177		タイシャクヒョウタンボク	390	
ジングウスゲ	537		セイヨウタンポポ	444		ダイセンオトギリ	171	
ジンジソウ	192		セイヨウトゲアザミ		27	ダイセンクスミレ	279	
シンジュ	241		セイヨウノコギリソウ	403		ダイセンクワガタ	378	
シンジュガヤ	565*		セイヨウハッカ	363		ダイセンゲ	530	
ジンチョウゲ科	274		セイヨウヒキヨモギ	377	44	ダイセンヒョウタンボク	390	
ジンバイソウ	558		セイヨウヒルガオ	348		ダイセンミツバツツジ	314, 315, 317	19
シンパク	82		セイヨウミヤコグサ	222		タイトゴメ	562*	
シンミズヒキ	119		セイヨウヤブイチゴ	206		タイヌビエ	506	
ジンヨウイチヤクソウ	309		セイヨウワサビ	176		タイミンガサ	413	
スイカズラ	387, 389		セキシウ	524		タイミンタチバナ	322	
スイカズラ科	386		セキシウモ	448		ダイモンジソウ	194	
スイセン	468		セッコク	553		タイワンツナソ	270	
スイセンノウ		9	セツツイボタ	334		タイワンヒメクグ	540	
スイバ	125		セツブンソウ	157		タウコギ	412	
スイラン	427		セトウチウンゼンツツジ	318		タカオカエデ	248	
スイレン	162		セトウチコアオスゲ		36	タカオフウロ	231	
スイレン科	162		セトウチコスズ	486, 488		タカクマヒキオコシ	563*	23
スカシタゴボウ	180		セトウチホトギス	465		タカサゴソウ	428	
スギ	79		セトエゴマ		23	タカサゴユリ	458	
スギ科	79		セトガヤ	499		タカサブロウ	420	28
ススキ	513, 514		セトノジギク	420		タカトウダイ	233	42
スズサイコ	340	20	セトヤナギスブタ		29	タカネ	550	47
スズシロソウ	176		ゼニアオイ	272		タガネソウ	538	
スズタケ	496, 497		ゼニバアオイ	272		タカネハンショウヅル	153	
スズフリイカリソウ	159	40	ゼニバサイシン	167		タカネマスキサ	536	47
スズムシバナ	381		セリ	303		タカネマンネングサ	185	
スズメウリ	286		セリバオウレン	154		タカノツメ	296, 297	
スズメガヤ	507		セリモドキ	302	43	タカハシテンナンショウ	525	34
スズメノエンドウ	227		セリ科	298	19	タガラシ	156	
スズメノカタビラ	519		センダイスゲ	538		タキキビ	517	
スズメノコビエ	516	46	センダン	242		タキザワザサ	492	
スズメノチャヒキ	502		センダングサ	411		ダケゼリ	305	
スズメノテッポウ	499		センダン科	242		タケニグサ	175	
スズメノトウガラシ	374		セントウソウ	300		タケ亜科	478	
スズメノヒエ	474, 516		センナリホオズキ	370		タコノアシ	191	
スズメノヤリ	474		センニンソウ	153		タシロラン		38
スズメハコベ		25	センノキ	298		タチイヌノフグリ	379	
スズラン	454		センブリ	337		タチオランダゲンゲ	225	
スダジイ	95		センボンギク		27	タチカメバソウ	352	
スダレヨシ	480		センボンヤリ	432		タチカモジグサ	497	
ステゴビル	453		センリョウ	165	40	タチカモメヅル	339	20
スノキ	320		センリョウ科	164		タチコウガイゼキショウ	473	45
スハマソウ	150		ソウシジュ	214		タチコゴメグサ	373	44
スプタ	448		ソクシンラン	452		タチシオデ	464	
スベリヒユ	127		ソクズ	390		タチスゲ	534	
スベリヒユ科	127		ソテツ	77		タチスズメノヒエ	517	46
ズミ	197		ソテツ科	77		タチチチコグサ	425	
スミレ	281		ソバカズラ	120		タチツボスミレ	279, 280	
スミレサイシン	280, 283		ソバナ	400		タチドコロ	468	
スミレ科	279	17	ソメイヨシノ	203		タチネコノメソウ	187	41
セイコノヨシ	518		ソヨゴ	118, 257		タチネズミガヤ	565*	32
セイタカアワダチソウ	440, 441		タ			タチハコベ	130	
セイタカスズムシ	566*		ダイコンソウ	197		タチフウロ	231	

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
タチモ	291		チャボチヂミザサ	515		ツメクサ	130	
タチャナギ	89		チャルメルソウ	191		ツメレンゲ	182	
タツナミソウ	367, 368		チュウゴクアブラガヤ	549		ツユクサ	475	
タツノヒゲ	505		チュウゴクエノキ	104		ツユクサ科	475	
タデ科	119	8	チュウゴクザサ	493		ツリガネツツジ	311	
タニウツギ	396, 397		チュウゴクボダイジュ	271, 273		ツリガネニンジン	400	26
タニガワコンギク	409		チュウゴクホトトギス	465		ツリシスラン	554	47
タニガワスゲ	531		チョウジガマズミ	391		ツリバナ	262	
タニギキョウ	402		チョウジザクラ	201		ツリフネソウ	253	
タニソバ	122		チョウジソウ	338		ツリフネソウ科	253	
タニタデ	288		チョウジタデ	289		ツルアカミノキ	323	
タヌキマメ	217		チョウセンガリヤス	504		ツルアジサイ	190	
タヌキモ	383, 384		チョウセンキンミズヒキ	195		ツルアズキ	228	
タヌキモ科	383		チョウセンゴミシ	561*		ツルアリドオシ	346	
タネツケバナ	177		チョウセンシモツケ	213		ツルウメモドキ	259	
タブノキ	145		チョウセンヒメツゲ	263		ツルガシワ	339	
タマガヤツリ	541		チョウセンレンギョウ	332		ツルカノコソウ	399	
タマガワホトトギス	564*		ツガ	79, 80		ツルキケマン	562*	
タマコウガイゼキショウ	473		ツクミソウ	562*		ツルキンバイ	200	
タマスダレ	468		ツクシイバラ	204		ツルグミ	276, 277	
タマトリスゲ	531	46	ツクシガシワ	339		ツルコウゾ	561*	
タマミクリ	565*		ツクシクロイヌノヒゲ	477		ツルシキミ	240	
タマミズキ	257		ツクシケカモノハシ	510		ツルソバ	561*	
タムシバ	138, 140		ツクシコゴメグサ	373		ツルタガラシ	176	
タムラソウ	440		ツクシシヤクナゲ	311, 312		ツルタチツボスミレ		17
タラノキ	296		ツクシショウジョウバカマ	456		ツルタデ	120	
タラヨウ	256		ツクシスズメノカタビラ	519		ツルツゲ		16
タンガザサ	484		ツクシタツナミソウ		24, 25	ツルドクダミ	124	
タンキリマメ	224		ツクシトネリコ	332		ツルナ	127	
ダンコウバイ	143, 144		ツクシネコノメソウ		39*	ツルナシカラスノエンドウ	226	
タンゴシノ	494		ツクシハギ	220, 221		ツルナシヤハズエンドウ	226	
ダندانキキョウ	403		ツクシミノボロスゲ	535		ツルナ科	127	
ダンチク	500		ツクシメナモミ	564*	28	ツルニガクサ	369	
ダンドボロギク	420		ツクバキンモンソウ		23	ツルニチニチソウ		20
タンナサワフタギ	329		ツクバナンプスズ	493		ツルニンジン	401	
タンナトリカブト	148, 150		ツクバネ	116, 117		ツルネコノメソウ	562*	13
タンバグリ	95		ツクバネウツギ	387		ツルハコベ	132	
チガヤ	510		ツクバネガシ	103		ツルフジバカマ	226	
チカラシバ	517		ツクバネソウ	461		ツルボ	463	
チクセツニンジン	298		ツゲ	264		ツルマオ	114	
チゴザサ	510		ツゲ科	263		ツルマサキ	260	
チゴユリ	454, 456		ツシマナナカマド	211	15	ツルマメ	219	
ヂシバリ	430		ツシマママコナ	376		ツルマンネングサ	185	
チシマオドリコソウ		39*	ツタ	268		ツルマンリョウ	323	
チシマザサ	486		ツタウルシ	242, 243		ツルムラサキ科		8
チシマネコノメソウ		13	ツタバウンラン	372	44	ツルメドハギ		39*
チシャノキ	351		ツチアケビ	553		ツルヨシ	518	
チダケサシ	185		ツチグリ	562*		ツルリンドウ	337	
チチコグサ	425		ツチトリモチ	118		ツレサギソウ	558	
チチコグサモドキ	425		ツチトリ干子科	118		ツワブキ	424	
チチブフジウツギ	372		ツツジ科	309	19	テイカカズラ	338	
チヂミザサ	515		ツツラフジ	162		テガタチドリ	566*	
チトセカズラ	335		ツツラフジ科	161		テキリスゲ	533	
チドメグサ	302		ツノクサネム	225		テツカエデ	248	42
チドリノキ	245		ツノハシバミ	94		テッポウユリ	459	
チマキザサ	489, 491		ツノミオランダフウロ	230		テマリクサギ	354	
チモシー	518		ツバキ科	168		テリハアザミ	416, 417	27
チャガヤツリ	540		ツブラジイ	95, 96		テリハキンバイ	199	
チャノキ	171		ツボクサ	300		テリハナツノタムラソウ		24
チャボイ		37	ツボスミレ	283	17	テリハノイバラ	205	
チャボガヤ	85		ツボミオオバコ	386		テリミノイヌホオズキ	370, 371	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
デワノタツナミソウ	368		ナガエミクリ	527	46	ナンゴクアオキ	293	
テングシデ	93		ナガトホシクサ	478		ナンゴクウラシマソウ	525	
テンツキ	544		ナガバギシギシ	126		ナンゴククガイソウ	380	
テンニンソウ	361		ナガハグサ	519		ナンテン	160	
トウオオバコ	386		ナガバジャノヒゲ	461		ナンテンハギ	228	
トウギボウシ	457		ナガバジュズネノキ	563*	20	ナンバンカラムシ	110	
トウゴクサバノオ	154	40	ナガバタチツボスミレ	282		ナンバンギセル	382	
トウゴクヘラオモダカ		29	ナガバナワシロイチゴ	209		ナンバンハコベ	128	
トウコマツナギ		15	ナガバノウナギツカミ	121		ニオイイバラ	205	
トウササクサ	512	46	ナガバノコウヤボウキ	434, 435		ニオイカラマツ	157	11
トウダイグサ	232		ナガバノスミレサイシン	562*		ニオイスマレ	282	
トウダイグサ科	232	16	ナガバノヤノネグサ	120		ニオイタチツボスミレ	282	42
ドウダンツツジ	563*		ナガバハエドクソウ	385		ニオウヤブマオ	110	
トウネズミモチ	333		ナガバモミジイチゴ	207		ニガイチゴ	207	
トウバナ	359		ナガバヤクシソウ	446		ニガカシュウ	468	
トガ	79		ナガバヤブマオ	112		ニガキ	242	
トキソウ	559		ナガバヤマザクラ	201		ニガキ科	241	
トキリマメ	224		ナガボノシロワレモコウ	210		ニガクサ	369	
トキワアワダチソウ	441		ナガミノオニシバ	523		ニガナ	428	
トキワイカリソウ	159	40	ナガミノツルキケマン	175		ニコゲヌカキビ		32
トキワガキ	326		ナガミヒナゲシ	175		ニシキギ	259	42
トキワススキ	513		ナギ	84		ニシキギ科	259	17
トキワハゼ	375		ナギナタガヤ	523		ニシキゴロモ	358	
トキンソウ	415		ナギナタコウジュ	360		ニシキソウ	233	42
トクガワザサ	492		ナキリスゲ	533		ニシキミゾホオズキ		26
ドクゼリ	300, 301		ナズナ	177		ニシゴリ	329, 563*	
ドクダミ	164		ナスノユカワザサ	485		ニシノオオタネツケバナ	177	12
ドクダミ科	164		ナス科	369	25	ニシノホンモンジスゲ	538	
ドクムギ	512		ナタネタヒラコ		28	ニシノヤマクワガタ	379	
トゲナシヌザンショウ	241		ナツアサドリ	277, 278		ニシノヤマタイミンガサ	413	
トゲナス	370		ナツエビネ	551		ニシムラキイチゴ	209	
トゲミノキツネノボタン	156		ナツグミ	562*		ニシヨモギ	407	
トケンラン	552		ナツズイセン	468		ニセアカシヤ	224	
トコロ	470		ナツヅタ	268		ニッケイ	142	
トサノモミジガサ	433		ナツツバキ	170		ニッコウザサ	483	
トサムラサキ	354		ナツトウダイ	233		ニッコウネコノメ	187	
ドジョウツナギ	509		ナツノタムラソウ	366		ニッコウバイカウツギ	192	
トダイアカバナ	289		ナツハゼ	319, 320		ニッポンイヌノヒゲ	477	
トダシバ	500		ナツフジ	224		ニラ	453	
トチカガミ	448		ナツボウズ	274		ニリンソウ	150	
トチカガミ科	447	29	ナツメ	267		ニレ科	104	
トチノキ	251, 252		ナデシコ	129		ニワゼキショウ	472	
トチノキ科	251		ナデシコ科	128		ニワトコ	390	
トチバニンジン	298	18	ナナカマド	211	9, 14	ニワフジ	219	
トベラ	195		ナナミノキ	254		ニワホコリ	507	
トベラ科	195		ナナメノキ	254		ヌカキビ	516	
トボシガラ	508		ナニワイバラ	204		ヌカスゲ	534	
トミクサザサ	496		ナベナ	399		ヌカススキ	499	46
トモエソウ	171		ナベワリ	564*		ヌカボ	498	
トヨラクサイチゴ	209		ナミキソウ	368	44	ヌカボシソウ	475	
トラノオジソ	364	23, 43	ナメラダイモンジソウ	194		ヌカボタデ	124	
トラノハナヒゲ	546		ナヨテンマ	554		ヌスビトハギ	218	
トリアシショウマ	185		ナラガシワ	99		ヌマガヤ	514, 515	
トリガタハンショウヅル	154		ナルコスゲ	530		ヌマダイコン	404	
トリゲモ	451		ナルコビエ	508	46	ヌマトラノオ	324	
トロロアオイ	272		ナルコユリ	461		ヌマハリイ	544	47
トンボソウ	560	48	ナワシロイチゴ	208, 209, 210		ヌメリグサ	520	
ナ			ナワシログミ	276, 277		ヌルデ	243	
ナガイモ	468		ナンカイギボウシ	457	45	ネコノチチ	266	
ナガエコナスビ	324		ナンキンナナカマド	211		ネコノメソウ	186	
ナガエノフタバムグラ	345		ナンキンハゼ	236		ネコハギ	221	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ネコヤナギ	88, 318		バアソブ	401		ハナネコノメ		39*
ネコヤマヒゴタイ	438		ハイアオイ	272		ハナネコノメソウ	186	39
ネザサ	479, 480		ハイイヌガヤ	84		ハナハタザオ	179	
ネジキ	310		ハイイヌツゲ	255		ハナビガヤ	512	
ネジバナ	560		バイカイカリソウ	159		ハナビゼキシヨウ	472	
ネズ	83		バイカウツギ	192		ハナビゼリ	299	43
ネズミガヤ	514		バイカオウレン	154		ハナムグラ		21
ネズミサシ	83		バイカツツジ	318		ハナヤクシソウ	446	45
ネズミノオ	522		バイカモ	156		ハネガヤ	497	45
ネズミムギ	511		バイケイソウ	466		ハネミイヌエンジュ	222	
ネズミモチ	333		ハイコヌカグサ	499		ハハコグサ	425	28
ネナシカズラ	349		ハイチゴザサ	510		ハバヤマボクチ	443	
ネバリタデ	124		ハイヌメリ	520		ハマアオスゲ	531	46
ネバリノギラン	451		ハイノキ	330, 331		ハマアカザ	133	
ネムノキ	214		ハイノキ科	329		ハマウツボ	382	
ノアサガオ		22	ハイビユ		9	ハマウツボ科	382	
ノアザミ	416, 417		ハイメドハギ	220		ハマウド	299	43
ノアズキ	218		ハイルリソウ	352	22, 43	ハマエノコロ	522	
ノイバラ	204		ハウチワカエデ	246		ハマエンドウ	220	
ノウゼンカズラ科	380		ハエドクソウ	385		ハマオモト	467	
ノウルシ	562*	16	ハエドクソウ科	385		ハマクサギ	355	
ノガリヤス	503		ハダクレスゲ	565*		ハマクワガタ	563*	
ノカンゾウ	456		ハダワリトボシガラ	508		ハマゴウ	355	
ノギナシセイバンモロコシ	522		ハキダメギク	424		ハマサジ	325	
ノギラン	452		ハクウンボク	328		ハマシオン	411	
ノグサ	547		ハクウンラン		38	ハマスゲ	542	
ノグルミ	86		ハクサンハタザオ	176		ハマゼリ	300	
ノゲイトウ	137		バクチノキ	203		ハマセンダン	562*	
ノゲシ	442		ハグロソウ	381		ハマダイコン	180	
ノゲヌカスゲ	534		ハコネナンブスズ	492		ハマツメクサ	131	
ノコギリソウ	563*		ハコネヒヨドリ	423		ハマナタマメ	216	
ノコンギク	409	27	ハコベ	132		ハマナデシコ	129	
ノササゲ	218		ハシカグサ	345		ハマニガナ	430	
ノジギク	420, 421		ハシドイ	335	43	ハマニンドウ	387	
ノジヤ	399		ハシナガヤマサギソウ		39*	ハマネナシカズラ	348, 349	
ノジスミレ	284		ハシバミ	94		ハマヒエガエリ	520	
ノシラン	461		ハシリドコロ	370		ハマヒサカキ	170	
ノジリボダイジュ	270		ハス	163		ハマビシ	232	
ノスゲ	538		ハスノハイチゴ	208	14	ハマビシ科	232	
ノダケ	298		ハスノハカズラ	162		ハマヒルガオ	348	
ノタヌキモ	383, 384		ハゼ	243		ハマボウ	562*	
ノチドメ	302		ハゼノキ	243		ハマボウフウ	302	
ノテンツキ	544		ハダカホオズキ	372		ハマボス	324	
ノニガナ	430		ハタガヤ	528		ハママツナ	135	
ノハカタカラクサ	476		ハタザオ	176		ハマヨモギ	406	
ノハナショウブ	471		ハタベカンガレイ		37	ハヤトウリ	286	
ノハラガラシ	180		ハチク	479		ハラン		30
ノハラツメクサ	131		ハッカ	363		バラ科	195	14
ノハラナデシコ	129		バッコヤナギ	87		ハリアサガオ	350	
ノハラムラサキ		22	ハナイカダ	294		ハリイ	543	
ノビネチドリ	566*	38	ハナイバナ	351		ハリエンジュ	224	
ノビル	452		ハナウド	302	43	ハリガネスゲ	563*	
ノブキ	403		ハナカタバミ	229		ハリギリ	298	
ノブドウ	267		ハナヅノツクバネウツギ	386		ハリコウガイゼキシヨウ	474	
ノボロギク	439		ハナダイコン	180		バリバリノキ	561	
ノミノツヅリ	128		ハナタツナミソウ	367		ハリビユ	137	
ノミノフスマ	132		ハナタデ	121, 122		ハルガヤ	500	
ノヤナギ	89		ハナツクバネウツギ	386		ハルカラマツ		39*
ノラニンジン	300		ハナナズナ	176		ハルザキヤマガラシ	176	
ノリウツギ	189		ハナニガナ	430		ハルジオン	422	
ハ			ハナヌカスギ	499		ハルシャギク	418	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ハルタデ	124		ヒナノシャクジョウ		31	ヒメテンツキ	544	
ハルトラノオ	120	8, 40	ヒナノシャクジョウ科		31	ヒメテンマ	554	
ハルニレ	105		ヒナラン	550		ヒメドコロ	469	
ハルノタムラソウ	366		ビナンカズラ	140		ヒメトラノオ	378	
ハルノノゲシ	442		ヒノキ	81, 116		ヒメナズナ		13
ハンカイソウ	433		ヒノキバヤドリギ	118		ヒメナツトウダイ	233	
ハンゲ	526		ヒノキ科	81		ヒメナベワリ	467	
ハンゲシヨウ	164		ヒメアオキ	293		ヒメナミキ	367	
ハンゴンソウ	439		ヒメアオスゲ	529		ヒメニラ	452	
ハンショウヅル	153, 155		ヒメアカバナ	562*		ヒメノガリヤス	504	
バンジンガンクビソウ	415		ヒメアギスミレ	284		ヒメノダケ	298	19
ハンノキ	90, 91		ヒメアザミ	415, 416, 417	27	ヒメノヤガラ	555	
ヒイラギ	334		ヒメアシボソ	513		ヒメハギ	242	
ヒイラギソウ	563*		ヒメアブラススキ	504		ヒメハギ科	242	16
ヒエガエリ	520		ヒメアメリカアゼナ		25	ヒメバライチゴ	207	41
ヒオウギ	470	45	ヒメアリドオシ	342		ヒメヒオウギズイセン	470	45
ヒカゲイノコズチ	136		ヒメイタビ	108		ヒメヒゴタイ	438	
ヒカゲスゲ	533		ヒメイヌノハナヒゲ	546		ヒメビシ	288	
ヒカゲスミレ	285		ヒメイヌビエ	507		ヒメヒレアザミ		27
ヒカゲミツバ	305		ヒメウキクサ	526		ヒメフウロ	562*	16
ヒガンバナ	467		ヒメウコギ	295		ヒメフタバラン	557	47
ヒガンバナ科	467		ヒメウス	151		ヒメヘビイチゴ	562*	14
ヒガンマムシグサ	525	34	ヒメウツギ	188		ヒメホタルイ	548	
ヒキオコシ	365		ヒメウワバミソウ	113		ヒメマツバボタン	128	
ヒキヨモギ	378		ヒメオトギリ	172		ヒメミカンソウ	235	
ヒゲガヤ	504		ヒメオドリコソウ	361		ヒメミクリ	527	46
ヒゲナガスズメノチャヒキ	503		ヒメカジイチゴ	207		ヒメミソハギ	287	
ヒゲノガリヤス		32	ヒメカナリークサヨシ	517		ヒメミヤマスミレ	562*	
ヒゴアオキ	293		ヒメガマ	527		ヒメムカシヨモギ	422	
ヒゴクサ	533		ヒメカンアオイ	167		ヒメモエギスゲ	539	
ヒゴスミレ	283		ヒメガンクビソウ	415, 431		ヒメモチ	256	
ヒゴタイ	420	44	ヒメカンスゲ	529	35	ヒメモロコシ	522	
ヒゴビャクゼン	339		ヒメキブシ	285		ヒメヤシャブシ	90	
ヒサカキ	118, 170		ヒメキンミズヒキ	195		ヒメヤナギ	89	
ヒシ	288		ヒメクグ	540		ヒメヤブラン	459	
ヒシュウザサ	495		ヒメクマツヅラ		22	ヒメヤマツツジ	314, 315	
ヒシ科	288		ヒメクロモジ	561*	9	ヒメユズリハ	236, 238	
ヒツジグサ	163		ヒメコウガイゼキショウ	472		ヒメユリ	458	
ビッチュウアザミ	415	27	ヒメコウゾ	106		ヒメヨツバハギ		15
ビッチュウフウロ	231		ヒメゴウソ	536		ヒメヨツバムグラ	342, 344	
ビッチュウミヤコザサ	490, 491		ヒメコウホネ	163		ヒメヨモギ	406	
ビッチュウヤマハギ	222		ヒメコヌカグサ	498		ヒメレンゲ	185	
ヒツキアザミ	564*		ヒメコバンソウ	502		ビャクシン	82	
ヒデリコ	545		ヒメコマツ	78		ビャクダン科	116	
ヒトツバハギ	236		ヒメザゼンソウ	526		ビャクブ科	467	
ヒトツバヨモギ	407		ヒメサルダヒコ	362	43	ヒュウガセンキュウ		19, 39*
ヒトツボクロ	560		ヒメシオン	563*		ヒユ科	136	9
ヒトツマツ	79		ヒメジソ	363		ヒヨドリジョウゴ	371	
ヒトモトススキ	539		ヒメシャガ	471		ヒヨドリバナ	422	
ヒトリシズカ	164, 165		ヒメジョオン	442		ヒラドツツジ	318	
ヒナウチワカエデ	250, 251		ヒメシラスゲ	534		ヒルガオ	348	
ヒナガヤツリ	541		ヒメシロネ	362		ヒルガオ科	348	21
ヒナギキョウ	403		ヒメスイバ	125		ヒルザキツクミソウ	290	
ヒナギキョウソウ	403	44	ヒメスゲ	536	47	ヒルムシロ	449	
ヒナザサ	504		ヒメスズタケ	495		ヒルムシロ科	449	
ヒナスミレ	283		ヒメスミレ	281		ヒレアザミ	414	
ヒナタイノコズチ	136		ヒメタイヌビエ	506		ヒレタゴボウ	562*	
ヒナチドリ	557		ヒメタデ	120		ヒレハリソウ	352	
ヒナノウスツボ	378		ヒメタヌキモ	384		ヒロウザサ	481	
ヒナノカンザシ	242	42	ヒメチドメ	303		ビロードイチゴ	206	
ヒナノキンチャク		16	ヒメツルソバ		8	ビロードスゲ	531	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ピロードミヤコザサ	483		フジナデシコ	129		ホコガタアカザ	134	
ピロードモウズイカ	379		フシネハナカタバミ	229		ホザキキケマン		12
ヒロシマウツボ	382		フジバカマ	423	45	ホザキノフサモ	291	
ヒロシマエバヤマザクラ	201		フジレイジンソウ		10	ホザキノミミカキグサ	883, 884	
ヒロハアオダモ	332		ブタクサ	404		ホザキヤドリギ		7
ヒロハアマナ	466		ブタナ	427		ホシアサガオ	350	
ヒロハイヌノヒゲ	478		フタバアオイ	166		ホシクサ	476	
ヒロハスズサイコ		20	フタバムグラ	345		ホシクサ科	476	
ヒロハツリバナ	261		フタリシズカ	165		ホシナシサワヒヨドリ	424	
ヒロハテンナンショウ	524		フッキソウ	264	42	ホソアオゲイトウ	136	
ヒロハノウシノケグサ	509		フデクサ	533		ホソイ	474	
ヒロハノオオタマツリスゲ		35	フデリンドウ	336		ホソエカエデ	562*	
ヒロハノコウガイゼキショウ	473		フトイ	548		ホソコウガイゼキショウ	473	45
ヒロハノコヌカグサ		31	ブドウ科	267		ホソバアカザ	135	40
ヒロハノドジョウツナギ	509	46	フトヒルムシロ	449		ホソバアキノノゲシ	431	
ヒロハノハネガヤ		33	フトボナギナタコウジュ	360		ホソバイヌビワ	107	
ヒロハノヘビノボラス	158	40	ブナ	95, 97, 118		ホソバウマノスズクサ	166	
ヒロハホウキギク	410		フナバラソウ	339		ホソバウンラン		25
ヒロハマツナ	135		ブナ科	95	6	ホソバオグルマ	428	39*
ヒロハヤマヨモギ	408		フモトスミレ	562*		ホソバガンクビソウ	414	
ビワ	196		フユアオイ	272		ホソバコンギク	409	27
ビンゴヌカスゲ	534		フユイチゴ	206		ホソバシオデ	464	30
ビンゴムグラ		21	フユザンショウ	240		ホソバシロソウ	466	
ヒンジガヤツリ	545		フユツタ	297		ホソバシロスミレ		18
フウチョウソウ		12	フラサバソウ	379		ホソバスズタケ	497	
フウチョウソウ科		12	フランスギク	433	45	ホソバタゴボウ	562*	
フウトウカズラ	164		ヘクソカズラ	341, 346, 347		ホソバタバ	145	
フウラン	557		ベニイトスゲ		36	ホソバチクセツニンジン	298	18
フウリンウメモドキ	255		ベニオグラコウホネ	163		ホソバナコバイモ	455	45
フウロケマン	174		ベニカタバミ	229		ホソバナガナ	430	
フウロソウ科	230	15	ベニカヤラン	559		ホソバノアマナ		30
フカギレオオモミジ		16	ベニカンスゲ		35	ホソバノイブキシモツケ	213	
フガクスズムシソウ	556	47	ベニシュスラン	554	47	ホソバノウナギツカミ	123	
フキ	435		ベニドウドン	309		ホソバノカラスノエンドウ	226	
フキヤミツバ	304		ベニバナセンブリ	335		ホソバノセイタカギク	432	
フクシマシャジン		26	ベニバナボロギク	418		ホソバノセンダングサ	563*	
フクジュソウ	150		ベニバナヤマシャクヤク	167		ホソバノハマアカザ	133	
フクド	406		ベニヒサカキ	170		ホソバノヤマハハコ	405	
フゲシザサ	484, 493		ベニマンサク	181, 183		ホソバノヨツバヒヨドリ	423	
フサザクラ	146, 149		ヘビイチゴ	196		ホソバノヨツバムグラ	344	
フサザクラ科	146		ヘビノボラス	561*		ホソバノロクオンソウ	339	
フサジュンサイ	162		ヘラオオバコ	386		ホソバヒカゲスゲ	532	
フサスグリ	192		ヘラオモダカ	447		ホソバヒメトラノオ	378	
フサスゲ		36	ヘラノキ	562*		ホソバヒメミソハギ	287	
フサツクバネ	116		ヘラバヒメジョオン	422, 442		ホソバママコナ	377	
フサナキリスゲ	538		ペラペラヨメナ	445	45	ホソバミズヒキモ	449	
フサフジウツギ	372		ベンケイソウ	182		ホソバヤハズエンドウ	226	
フサモ	562*		ベンケイソウ科	182	13	ホソバヤマジソ	563*	23
フジ	228		ベンケイナズナ	179		ホソムギ	511	
フジウツギ科	372		ホウキギク	410		ボダイジュ	271	
フジカンゾウ	217		ホウチャクソウ	454		ホタルイ	547	
フジキ	216		ボウムギ	511		ホタルカズラ	351	
フシグロ	131		ホウライカズラ	335		ホタルサイコ		19
フシグロセンノウ	129		ホウライチク	478		ホタルブクロ	401	
フシゲアオイザサ	490		ホウロクイチゴ	209		ボタンツル	152	
フシゲウツクシザサ		33	ホオキヌカキビ		33	ボタンネコノメソウ	186	
フシゲクマイザサ	491		ホオズキ	370		ボタンボウフウ	303	
フシゲサトチマキ	489		ホオノキ	137		ボタン科	167	11
フシゲミヤコザサ	489		ホガエリガヤ	503		ホッスモ	451	
フシダカフウロ	231		ホクチアザミ	437		ホツツジ	319	
フジツツジ	315		ホクリクムヨウラン	556	46	ホテイアオイ	470	

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ホテイチク	478		マメカミツレ	418		ミズアオイ科	470	
ホドイモ	215		マメグミ	276		ミズオオバコ	448	
ホトケノザ	360		マメグンバイナズナ	179		ミズオトギリ	173	
ホトトギス	564*		マメスゲ	565*	36	ミズガヤツリ	543	
ホナガイヌビユ	137		マメダオシ	348		ミズキ	293	
ホナガタツナミソウ		24	マメツタラン	550		ミズギク	427	
ホルトソウ	233	42	マメ科	214	15	ミズギボウシ	457	
ホルトノキ	269, 270		マユミ	262		ミズキ科	293	
ホルトノキ科	269		マルバアオダモ	332		ミズタガラシ	178	
ホロマンザサ	486		マルバアカザ	134, 135		ミズタビラコ	352	
ホロムイソウ科	448		マルバアキグミ	277		ミズタマソウ	288	
ホンゴウソウ	451	45	マルバアサガオ	350		ミズチドリ	558	
ホンゴウソウ科	451		マルバアメリカアサガオ	350		ミズトンボ	555	
ホンシャクナゲ	311		マルバイチャクソウ	309		ミズナラ	100, 101, 118	
ボントクタデ	123		マルバウツギ	188		ミズハコベ	356	
ホンモンジスゲ	565*	36	マルバオモダカ	447		ミズハナビ	543	
マ			マルバカモメヅル	340	20	ミズヒキ	119	
マアザミ	417		マルバグミ	276		ミズヒキモ	564*	
マイサギソウ	558	48	マルバケスミレ		18	ミズマツバ	288	
マイヅルソウ	461		マルバコンロンソウ	178	12	ミスミソウ	150	
マイヅルテンナンショウ		34	マルバサウトウガラシ	372	44	ミズメ	91	
マキエハギ	222		マルバサンキライ	465		ミズユキノシタ	289	
マキノスミレ	284		マルバシャリンバイ	204		ミズリーマツヨイグサ		18
マキ科	83		マルバジュズネノキ	342		ミセンアオスゲ	532	47
マグワ		7	マルバスミレ	280		ミゾイチゴツナギ	518	
マコモ	523		マルバツユクサ	475		ミゾカクシ	402	
マサキ	260		マルバツルグミ	277		ミゾコウジュ	367	43
マシカクイ	544		マルバヌスビトハギ	217		ミゾソバ	124	
マスカサ	531		マルバノキ	181		ミソナオシ	217	
マダイオウ	561*	8	マルバノホロシ	371		ミソハギ	287	
マダケ	479		マルバハギ	221		ミソハギ科	287	
マタタビ	168		マルバフユイチゴ	208		ミゾハコベ	285	
マタタビ科	167		マルバマンサク	182		ミゾハコベ科	285	
マチン科	335		マルバマンネングサ	184, 185		ミゾホオズキ	377	
マツカサススキ	548		マルバヤナギ	87		ミチシバ	512	
マツカゼソウ	238		マルバヤハズソウ	219	41	ミチタネツケバナ		12
マツグミ	118		マルバヤブマオ	561*		ミチノクネコノメソウ		13
マツナ	135		マルバルコウ	349		ミチノクフクジュソウ		10
マツバイ	543		マルミスブタ	447	45	ミチヤナギ	125	
マツバウンラン	374		マルミノヤマゴボウ	127		ミツガシワ	337	
マツバスゲ	528		マルヤマイチゴ		14	ミツガシワ科	337	
マツバゼリ	299		マンサク	181	13	ミツデカエデ	245	
マツバニンジン	232		マンサク科	181	13	ミツデコトジソウ	366	
マツバハルシャギク	426		マンシュウボダイジュ	271, 272		ミツバ	300	
マツブサ	141		マンセンカラマツ		10	ミツバアケビ	161	
マツブサ科	140		マンテマ	131		ミツバウツギ	263	
マツムシソウ	399		マンリョウ	321		ミツバウツギ科	262	
マツムシソウ科	399		ミアケザサ		33	ミツバオランダフウロ	230	
マツモ	164		ミカエリソウ	361		ミツバツチグサ	199	
マツモ科	164		ミカヅキグサ	546		ミツバフウロ	231	42
マツヨイグサ	291		ミカワザサ	489		ミツバベンケイソウ	182	
マツラン	559		ミカワシオガマ	377		ミツマタ	276	
マツ科	77		ミカワシンジュガヤ	549		ミツモトソウ	198	41
マテバシイ	97		ミカワタヌキモ	384		ミドリハコベ	133	
マネキグサ	360		ミカン科	238		ミドリヨウラク	462	
マネキシンジュガヤ	549		ミクリ	527		ミナカミザサ	491	
ママコナ	376		ミクリ科	527		ミネカエデ	562*	
ママコノシリヌグイ	123		ミコシギク	432		ミネザサ		33
マムシグサ	525		ミシマサイコ	300		ミノゴメ	501	
マメアサガオ	350		ミジンコウキクサ	527	46	ミノボロ	565*	
マメガキ	326		ミズ	115		ミノボロスゲ	565*	

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ミハルザサ	483		ミヤマヨメナ	433		メリケンカルカヤ	499	
ミミカキグサ	383		ミョウガ	549		メリケントキンソウ		29
ミミズバイ	329		ムカゴイラクサ	114		メリケンムグラ	342	43
ミミナグサ	128		ムカゴソウ	555		モウズイカ		26
ミヤガラシ	180		ムカゴツヅリ	519		モウセンゴケ	173	
ミヤギザサ	495		ムカゴニンジン	305		モウセンゴケ科	173	11
ミヤギノハギ	222		ムギクサ	510		モウソウチク	479	
ミヤコアオイ	166		ムギラン	550		モエギスゲ	539	
ミヤコアザミ	437		ムク	104		モガシ	269, 270	
ミヤコイバラ	205		ムクゲ	272		モガミザサ	494	
ミヤコオトギリ	562*		ムクゲチャヒキ	502		モクセイ科	331	
ミヤコグサ	222		ムクノキ	104		モクレン科	137	
ミヤコザサ	486, 489		ムクロジ	251		モジズリ	560	
ミヤコミズ		7	ムクロジ科	251		モチツツジ	318	
ミヤコワスレ	434		ムサシアブミ	524	46	モチノキ	255	
ミヤジマカエデ	248		ムシカリ	392		モチノキ科	254	16
ミヤジマシモツケ	212		ムシクサ	379		モッコク	171	
ミヤジマナツトウダイ	233		ムシトリナデシコ	131		モミ	77	
ミヤジマママコナ	375		ムジナモ		11	モミジイチゴ	207	14
ミヤマアキノキリンソウ	441, 442		ムツオレグサ	509		モミジウリノキ	292	42
ミヤマアブラスキ	565*	33	ムベ	161		モミジガサ	413	
ミヤマイボタ	334		ムヨウラン	556	47	モミジカラスウリ	287	
ミヤマイラクサ	114		ムラクモアザミ	417		モミジハグマ	404	
ミヤマウグイスカグラ	388		ムラサキ	351		モミジバヒメオドリコソウ		23
ミヤマウズラ	555		ムラサキイヌホオズキ		25	モミラン	559	
ミヤマウメモドキ	257	42	ムラサキウマゴヤシ	223	41	モメンヅル	215	
ミヤマカタバミ	230		ムラサキエノコロ	521		モモ	202	41
ミヤマガマズミ	391, 394		ムラサキカタバミ	229		モリアザミ	416	44
ミヤマカラマツ	561*	10	ムラサキケマン	174		モリイバラ	204	
ミヤマカンスゲ	535		ムラサキサギゴケ	375		モリシマアカシア	214	
ミヤマキケマン	175		ムラサキシキブ	353	22	モロコシソウ	324	
ミヤマクマザサ	484		ムラサキセンブリ	337	43	モロヘイヤ	270	
ミヤマクロモジ	144		ムラサキツメクサ	225		モンツキウマゴヤシ	223	
ミヤマクワガタ	378		ムラサキニガナ	431		ヤ		
ミヤマザサ	491, 492		ムラサキネズミノオ	522		ヤエムグラ	344	
ミヤマササガヤ	513		ムラサキマユミ	261		ヤクシソウ	445	
ミヤマシキミ	239, 240		ムラサキミミカキグサ	384		ヤクシマオオバコ	386	
ミヤマシグレ	394		ムラサキ科	350	22	ヤクシマコナスビ	324	
ミヤマシラスゲ	529		ムロ	83		ヤクシマホツツジ	563*	
ミヤマタゴボウ	323		ムロノキ	83		ヤクナガイヌムギ		39*
ミヤマタニソバ	120		メアオスゲ		34	ヤグルマソウ	192	
ミヤマタニタデ	288		メアゼテンツキ		37	ヤシャダケ	497	
ミヤマチドメ	303		メオニグジョウシノ	495		ヤシャビシャク	192, 193	
ミヤマツチトリモチ	119		メガルカヤ	522		ヤシャブシ	89	
ミヤマトウバナ	359		メギ	158		ヤシ科	524	
ミヤマトサミズキ	181		メキシコマンネングサ	184	41	ヤスオカザサ	481	
ミヤマドジョウツナギ	565*		メギ科	158		ヤダケ	482	
ミヤマナルコユリ	462		メグスリノキ	247		ヤチカワズスゲ	535	
ミヤマニガイチゴ		14	メタカラコウ	433	45	ヤチシャジン	400	
ミヤマニガウリ	286		メダケ	482		ヤチスゲ	565*	
ミヤマニワトコ	390		メタセコイア	81		ヤッコソウ科	118	
ミヤマヌカボシソウ	564*		メダラ	296		ヤツデ	297	
ミヤマハコベ	133		メツクバネウツギ	387		ヤドリギ	118	
ミヤマハハソ	252		メドハギ	220		ヤドリギ科	118	7
ミヤマビャクシン	82		メナモミ	440		ヤナギアザミ	564*	
ミヤマフユイチゴ	206		メノマンネングサ	184		ヤナギイノコズチ	136	
ミヤマママコナ	376		メハジキ	361		ヤナギイボタ	334	
ミヤマミズ	561*		メヒシバ	505		ヤナギスブタ	448	
ミヤマムグラ	343	43	メマツヨイグサ	290, 291		ヤナギタデ	121	
ミヤマヤブタバコ	415		メヤブマオ	112		ヤナギタンポポ	427, 429	
ミヤマヤブニンジン	562*		メリケンガヤツリ	541		ヤナギヌカボ	121	40

和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和名	本編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ヤナギハナガサ	355, 426		ヤマゴボウ科	126		ヤマモガシ科	116	
ヤナギバヒメジョオン	442		ヤマサギソウ	558		ヤマモミジ	248	
ヤナギモ	449		ヤマザクラ	201		ヤマモモ	85	
ヤナギ科	86		ヤマザトタンポポ	444		ヤマモモ科	85	
ヤノネグサ	122		ヤマシグレ	394		ヤマヤナギ	89	
ヤノネボンテンカ		17	ヤマジスゲ		34	ヤマユリ	564*	
ヤハズエンドウ	226		ヤマジソ		23	ヤマヨモギ	407	
ヤハズソウ	219		ヤマジノギク	426		ヤマラッキョウ	452	
ヤハズハハコ		26	ヤマジノタツナミソウ		24	ヤマリンゴ	197	
ヤヒコザサ	493, 494		ヤマジノホトトギス	465		ヤマルリソウ	352	
ヤブイヌゴマ	368		ヤマシヤクヤク	167		ヤラメスゲ	534	
ヤブイバラ	205		ヤマシロギク	408		ヤリハリイ	565*	
ヤブウツギ	396		ヤマスズメノヒエ	475		ヤワラスゲ	539	
ヤブガラシ	267		ヤマゼリ	303, 304		ユウゲショウ	290	
ヤブカンゾウ	456		ヤマタイミンガサ	413		ユウシュンラン	551	
ヤブコウジ	321		ヤマタツナミソウ	563*	24	ユウスゲ	456	
ヤブコウジ科	321		ヤマタネツケバナ	178		ユカワザサ	485	
ヤブザサ	495		ヤマチドメ	302		ユキグニミツバツツジ		19
ヤブサンザシ	192		ヤマツツジ	314, 315, 316		ユキザサ	463	
ヤブジラミ	305		ヤマテクリスゲ	531		ユキノシタ	194	
ヤブスゲ	537		ヤマトアオダモ	332		ユキノシタ科	185	13
ヤブタデ	122		ヤマトウバナ	359		ユキムラザサ	483	
ヤブタバコ	414		ヤマトウミヒルモ		29	ユキモチソウ	565*	
ヤブタバコ	432		ヤマトキシソウ	559		ユキヤナギ	213	
ヤブチョロギ	368	44	ヤマトキホコリ	113		ユキワリイチゲ	150	
ヤブツバキ	168		ヤマトボシガラ	564*	32	ユクノキ	216	
ヤブツルアズキ	228	41	ヤマトホシクサ	477		ユゲネザサ	481	
ヤブデマリ	392		ヤマトミクリ	527		ユズリハ	236, 237	
ヤブニッケイ	142		ヤマトレンギョウ	331		ユズリハ科	236	
ヤブニンジン	303		ヤマナシ	197, 203		ユモトマユミ	262	
ヤブハギ	218		ヤマナラシ	86		ユリシノ	565*	
ヤブヘビイチゴ	196		ヤマニガナ	431		ユリズイセン		30
ヤブマオ	110		ヤマニンジン	303		ユリワサビ	179	
ヤブマメ	214		ヤマヌカボ	498		ユリ科	451	30
ヤブミョウガ	476		ヤマネコノメソウ	186		ヨウシュチヨウセンアサガオ	369	
ヤブムラサキ	353, 354	22	ヤマノイモ	469		ヨウシュハッカ	362	
ヤブラン	460		ヤマノイモ科	468	31	ヨウシュヤマゴボウ	126	
ヤブレガサ	443		ヤマハギ	220, 221		ヨウラクラン	557	48
ヤマアイ	234, 235		ヤマハコベ	133		ヨグソミネバリ	91	
ヤマアジサイ	188, 189, 190		ヤマハゼ	244		ヨコグラノキ	264	
ヤマアゼスゲ	532		ヤマハタザオ	176		ヨシ	518	
ヤマアワ	503		ヤマハッカ	364		ヨシナガマムシグサ	525	
ヤマイ	545		ヤマハンノキ	90		ヨシノアザミ	417	27
ヤマイバラ	205		ヤマヒョウタンボク	389		ヨシノヤナギ	561*	
ヤマウグイスカグラ	388		ヤマビワ	252		ヨツバハギ	227	
ヤマウコギ	295		ヤマブキ	197, 198		ヨツバハコベ	130	40
ヤマウスユキソウ		28	ヤマブキショウマ	196	41	ヨツバヒヨドリ	423	
ヤマウツボ	373		ヤマブキシソウ	175		ヨツバムグラ	344	
ヤマウルシ	244		ヤマフジ	228		ヨブスマソウ	413	
ヤマエンゴサク	174		ヤマブドウ	268		ヨメナ	430	
ヤマオダマキ	151		ヤマボウシ	293		ヨモギ	407, 408	
ヤマガキ	326		ヤマホオズキ		25	ヨロイグサ	298	43
ヤマカシュウ	464		ヤマボクチ	564*		ラ		
ヤマカモジグサ	501, 502		ヤマホタルブクロ	401		ラジノクローバー	225	
ヤマキケマン	562*	11	ヤマホトトギス	465		ラショウモンカズラ	362	
ヤマグルマ	146, 147		ヤマホロシ	371		ラセイタソウ	561*	
ヤマクルマバナ	359		ヤマミズ	115		ラン科	550	38
ヤマグルマ科	146		ヤマミゾイチゴツナギ		33	リュウキュウマメガキ	325, 326, 327	
ヤマグワ	108		ヤマミゾソバ	124		リュウキンカ	151	
ヤマコウバシ	143		ヤマムグラ	343		リュウゼツサイ	430	
ヤマゴボウ	127		ヤマモガシ	116		リュウノウギク	419	

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
リュウノヒゲ	461		ルリニワゼキショウ	472		レンリソウ	220	
リュウノヒゲモ	450		ルリハコベ		19	ロクオンソウ	339	
リュウブ	307		ルリハッカ	563*		ワ		
リュウブ科	307		ルリミノウシコロシ	329		ワサビ	179	
リンドウ	336		ルリミノキ	346		ワセオバナ	520	
リンドウ科	335		レイゾンソウ		10	ワタゲカマツカ	200	
リンボク	203		レモンエゴマ	364	23	ワダソウ	130	40
ルイヨウショウマ	150		レンギョウ	332		ワタナ	418	
ルイヨウボタン	158		レンゲソウ	215		ワチガイソウ	130	40
ルコウソウ	350		レンゲツツジ	312		ワニグチソウ	462	45
ルベシベザサ	489		レンブクソウ	397		ワルナスビ	370	
ルリソウ	563*		レンブクソウ科	397		ワレモコウ	210	

シダ植物和名総索引

掲載頁数が斜体の種は、異名または自生種として取り上げなかったもの。

*: 未確認種。

和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁	和 名	本 編 掲載頁	補遺版 掲載頁
ア			ウラジロ	572		キノクニベニシダ	590	
アイアスカイノデ	595		ウラジロ科	572, 611		ギフベニシダ	590	
アイキジノオ	579		ウラボシノコギリシダ	582		キヨスミイノデ	602	
アイツヤナシイノデ	601		ウラボシ科	606, 612		キヨスミオオクジャク	591	
アイトキワトラノオ	606		エゾヒカゲノカズラ	568		キヨスミコケシノブ	573	
アイノコクマワラビ	601		エゾヒメクラマゴケ	611*		キヨスミヒメワラビ	587	
アオガネシダ	605		エダウチホングウシダ	575		キヨタキシダ	586	
アオネカズラ	606		エビガラシダ	574		クサソテツ	593	
アオハリガネワラビ		6	エンシュウベニシダ	590		クジャクシダ	574, 579	
アオホラゴケ	572		オウレンシダ	574, 575		クジャクフモトシダ	577	
アカウキクサ	609		オオアカウキクサ	610		クマワラビ	590	
アカハナワラビ	571		オオイタチシダ	590		クモノスシダ	605	
アカメイノデ	602		オオカグマ	603		クラガリシダ	606	
アカメクジャク	601		オオカナワラビ	579		クラマゴケ	569	
アキイヌワラビ	598		オオカラクサイヌワラビ	599		クリハラン	608	
アツギノヌカイタチシダマガイ	592		オオキジノオ	578		クルマシダ	605	
アマギイノデ	602		オオキヨスミシダ	597		ケキンモウワラビ	593, 596	
アマクサシダ	576		オオクジャクシダ	589		ゲジゲジシダ	595	
アリサンイヌワラビ	581		オオサトメシダ	599		コウザキシダ	612*	6
イシカグマ	575		オオバシナミズニラ		5	コウヤコケシノブ	573	
イズイヌワラビ	599		オオバショリマ	593		コウヤワラビ	579, 594	
イズヤブソテツ	583		オオハナワラビ	570		コウラボシ	607	
イチョウシダ	605		オオバノアマクサシダ	611*		コガネシダ	598	
イヌイワガネソウ	577		オオバノイノモトソウ	576		コケシノブ	573	
イヌイワデンダ	597		オオバノハチジョウシダ	577		コケシノブ科	572	
イヌガンソク	593		オオヒメワラビ	585		コシダ	572	
イヌケホシダ	582		オオヒメワラビモドキ	585		コセイタカシケシダ	600	
イヌシダ	574		オオフジシダ	575, 576		コタニワタリ	606	
イヌスギナ	610*		オオベニシダ	590		コハシゴシダ	594	
イヌチャセンシダ	605		オオホソバシケシダ	600		コハナヤスリ	570	
イヌドクサ	567		オクタマシダ	604		コバノイシカグマ	574	
イヌナチクジャク	589		オクタマゼンマイ	571		コバノカナワラビ	580, 583	
イヌワラビ	581		オクマワラビ	592		コバノヒノキシダ	605	
イノデ	596		オクヤマワラビ	611*		コヒロハハナヤスリ	570	
イノデモドキ	597		オサンダ	612*		コモチシダ	603, 604	
イノモトソウ	577		オシダ	588		コンテリクラマゴケ	569	
イノモトソウ科	573, 611	6	オシダ科	579, 611	6	サ		
イブキシダ	597		オシャクジデンダ	608		サイゴクイノデ	596	
イヨクジャク	611*		オニイノデ	597		サイゴクベニシダ	588	
イワイタチシダ	591		オニカナワラビ	580		サカゲイノデ	596	
イワオモダカ	608		オニヒカゲワラビ	586		サカゲカタイノデ	602	
イワガネゼンマイ	574		オニヤブソテツ	583		サキモリイヌワラビ	581	
イワガネソウ	574		オンガタイノデ	603		サクライカグマ	590	
イワデンダ	598		カ			サジラン	608	
イワトラノオ	605		カタイノデ	596		サツマシケシダ	600	
イワハリガネワラビ	595		カタイノデモドキ	602		サトメシダ	581	
イワヒトデ	606		カタヒバ	569		サンショウモ	610	
イワヒバ	569		カツモウイノデ	611*		サンショウモ科	609	
イワヒバ科	569, 611		カニクサ	571		シケシダ	584	
イワヒメワラビ	575		カニクサ科	571		シケチシダ	583	
イワヘゴ	587		カネコシダ	611*		シシガシラ	603	
イワヘゴモドキ	601		カミガモシダ	604		シシガシラ科	603, 612	
イワヤシダ	585		カラクサイヌワラビ	581		シシラン	609	
イワヤナギシダ	608		カラクサシダ	576		シシラン科	609	
ウスバミヤマノコギリシダ	586		カラタニイヌワラビ	599		シナミズニラ	570	5
ウスヒメワラビ	579, 587		キジノオンダ	578		シノブ	578	
ウチワゴケ	572		キジノオンダ科	578		シノブカグマ	579	

和名	本編掲載頁	補遺版掲載頁	和名	本編掲載頁	補遺版掲載頁	和名	本編掲載頁	補遺版掲載頁
シノブ科	578		ヌリトラノオ	604		ホソバサトメシダ	599	
シモダカナワラビ	598		ヌリワラビ	586		ホソバシケシダ	584	
シモツケヌリトラノオ	603		ノキシノブ	607		ホソバシヨリマ	594	
ジュウモンジシダ	597		ノコギリシダ	587		ホソバハカタシダ	598	
シラネワラビ	589		ハ			ホソバフモトシケシダ	600	
シロヤマンダ	586		ハイホラゴケ	573		ホテイシダ	607	
スギナ	567, 568		ハカタシダ	580		ホラシノブ	576, 577	
スギラン	567		ハガネイワヘゴ	601		マ		
セイタカシケシダ	585		ハクモウイノデ	584		マツザカシダ	577	
セイタカフモトシケシダ	600		ハコネイノデ	601		マツバラン	567	
セトシシラン	609		ハコネシダ	574		マツバラン科	567	
セフリイノモトソウ	577		ハシゴシダ	594		マメヅタ	606	
ゼンマイ	568, 571		ハツキヌワラビ	599		マルバベニシダ	590	
ゼンマイ科	571		ハナヤスリ科	570, 611	6	マンネンスギ	568	
タ			ハマハナヤスリ	611*	6	ミサキカグマ	588	
タカオイノデ	603		ハリガネワラビ	595		ミズスギ	568	
タカオシケチシダ	583		ハリマイノデ	603		ミズニラ	569	
タカサゴキジノオ	578		ヒカゲノカズラ	568		ミズニラ科	569	5
タカサゴシダ	612*		ヒカゲノカズラ科	567		ミズワラビ	578	
タカノハウラボシ	612*		ヒカゲワラビ	586		ミズワラビ科	578	
タキシシダ	609		ヒサツイヌワラビ	599		ミゾシダ	593, 595	
タチクラムゴケ	569		ヒトツバ	607, 609		ミツイシイノデ	602	
タチシノブ	576		ヒメイタチシダ	591		ミツデウラボシ	606	
タニイヌワラビ	581		ヒメイトラノオ	612*		ミドリカナワラビ	580	
タニヘゴ	592		ヒメウラジロ	574		ミドリヒメワラビ	594	
タマシケシダ	600		ヒメカナワラビ	596, 597		ミヤコイヌワラビ	581	
タマシダ	578		ヒメコケシノブ	573		ミヤコヤブソテツ	584	
チャセンシダ	605		ヒメサジラン	608		ミヤジマシダ	611*	
チャセンシダ科	603, 612	6	ヒメシダ	597		ミヤマイタチシダ	589, 591	
ツクシイワヘゴ	588		ヒメタチクラムゴケ	569		ミヤマウラボシ	612*	
ツクシヤブソテツ	584		ヒメノキシノブ	607		ミヤマクマワラビ	591	
ツクシヤワラシダ	594		ヒメハイホラゴケ	573		ミヤマシケシダ	585	
ツヤナシイノデ	596		ヒメハシゴシダ	594		ミヤマシシガシラ	612*	
ツヤナシイノデモドキ	603		ヒメミゾシダ	593		ミヤマノキシノブ	607	
ツルデンダ	595		ヒメワラビ	594		ミヤマノコギリシダ	586	
デンジソウ	609		ヒモカズラ	569		ミヤマベニシダ	588, 591	
デンジソウ科	609		ヒロウドシダ	608		ミヤマワラビ	595	
テンリュウカナワラビ	598		ヒロハイヌワラビ	582		ムクゲシケシダ	585	
トウゲシバ	567		ヒロハハナヤスリ	570		ムサシシケシダ	600	
トウゴクシダ	589		ヒロハミヤマノコギリシダ	612*		ムラサキベニシダ	591	
ドウリョウイノデ	601		ヒロハヤブソテツ	584		メヤブソテツ	583	
トキワトラノオ	604		フクロシダ	598		ヤ		
トクサ	567		フジシダ	576		ヤシャゼンマイ	571	
トクサ科	567, 610		フタツキジノオ	578		ヤノネシダ	607	
トゲカラクサイヌワラビ	582		フナコシイノデ	601		ヤブソテツ	583	
トラノオシダ	604		フモトシケシダ	585		ヤマイタチシダ	587, 592	
ナ			フモトシダ	575		ヤマイヌワラビ	582	
ナガサキシダ	591		フユノハナワラビ	571		ヤマカライヌワラビ	600	
ナガバノイタチシダ	592		ヘイケイヌワラビ	581		ヤマソテツ	578	
ナガボノナツノハナワラビ	570		ベニシダ	589		ヤマドリゼンマイ	571	
ナカミシシラン	609		ヘビノネゴザ	582		ヤマドリトラノオ	606	
ナチクジャク	588		ヘラシダ	587		ヤマホソバイヌワラビ	599	
ナチシケシダ	585		ホウビシダ	612*		ヤマヤブソテツ	584	
ナチシダ		6	ホウライシダ	573		ヤリノホシケシダ	584	
ナチフモトシケシダ	600		ホクリクイヌワラビ	599		ヤワラシダ	594	
ナツノハナワラビ	570		ホクリクイノデ	601		ラ		
ナメライノデ	602		ホシダ	582		リョウメンシダ	580	
ナライシダ	593		ホソコバカナワラビ	598		ルリデライヌワラビ	582	
ナンカイイタチシダ	592		ホソバイヌワラビ	581		ワ		
ナンゴクナライシダ	593		ホソバカナワラビ	579, 580		ワラビ	576	
ヌカイタチシダモドキ	590		ホソバコケシノブ	572, 573				

名 称	広島市植物公園紀要第 28 号
主 管 課 所 在 地	財団法人広島市動植物園・公園協会植物公園 広島市佐伯区倉重三丁目 495 〒 731-5156 TEL (082) 922-3600
発行年月日	平成 22 年 12 月 10 日
印刷会社名	株式会社 ニシキプリント

広島市植物公園 紀要

第28号

2010

広島市植物公園